

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や仕上げ材の剥離、火災の原因となる場合がありますので、火気や暖房器具を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物をのせたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、開口部を設けた場合は、開口部に重いものをのせたり、足をかけたり、ぶら下がったりなどしないでください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下での使用は避けてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 破損や故障の原因となりますので、本体に落雪や重機による除雪などの強い衝撃を与えないでください。

ご使用上のご注意



- 現場塗装タイプ、片面工場塗装タイプの塗装面は、年に2～3回の水洗いをしてください。
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 現場塗装タイプの場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。

ブロックオンウォール

取付説明書


現場貼付タイプ・現場塗装タイプ・片面工場塗装タイプ

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。



安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は、生地部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
-  **注意** ●正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
- 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームの生地部分が長時間太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがありますので、必ず仕上げ材の施工をしてください。
- ヒートガン等の熱を発する工具を用いないでください。PSパネルの変形や仕上げ材の剥離等の原因になります。
- 【PSパネル仕上仕様について】**
- 規格PSパネル部材は、両面生地の状態で出荷されます。片面に仕上げをできない現場用に、片面塗装済パネル（特注）があります。
- 組立前に現場でPSパネルごとに塗装しないでください。組付け不良の原因になります。片面に仕上できない現場では、片面塗装済みパネル（特注）を使用してください。
- タイル等の貼り材や現場塗装タイプの仕上げ塗材については、各メーカーの使用上の注意事項も確認してください。
- 【接着剤について】**
- 接着剤は当社規格品または、当社指定品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品] オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※
[当社指定品] (変成シリコン系接着剤) コニシ社 MPX-1 / セメダイン社 タイルエースPro

施工上のご注意



注意

■硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合

[当社規格品]貼り物用接着剤セット※

[当社指定品]セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21

※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。

※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。

※ガンタイプ・チューブタイプの接着剤は、小さい部材の貼付けにご使用ください。

●石材、タイル等の固定は接着剤による貼付けのみになります。金物との併用やモルタルによる貼付けはできません。

●石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。

●接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。

●接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

●当社貼り物用接着剤は、コンクリートブロックの吸水性が高い場合や土留めなど水の影響を受けやすい環境においては、セメダイン社のプライマーMP2000を塗布してください。※PS部材には塗らないでください。

【コーキング材について】

●コーキング材は、必ず当社規格品または変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。

[当社規格品]コーキング材セット(ライトグレー)

【汎用プライマーについて】

●現場で塗装仕上をする場合は、必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。

●汎用プライマーは気温5℃以下及び、下地0℃以下での施工を避けてください。

●汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。

●汎用プライマー無で仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。

●汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にもその都度よく攪拌してください。攪拌不足で塗布すると塗ムラの原因になります。

●擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領であ厚みを持たせて均一に塗布してください。薄すぎたりダマにならないようにしてください。

【下地調整材について】

●下地調整材は軽量セメントモルタル(JIS A 6918)を用いてください。

[既調合軽量セメントモルタル(JIS A 6918相当品、旧JASS15M-102)の例]

・ラスカル(レゾナック建材) ・フジモル(富士川建材) ・ベースモルタルB(豊運)

●既調合軽量セメントモルタルは、塗厚5~10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。

●下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。

●下地調整材は平滑に仕上げてください。

●施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じて行ってください。

●軽量セメントモルタルにはモルタル接着増強剤を混入工法で使用してください。

●コンクリートブロック部は、軽量セメントモルタルを施工する前に、吸水調整材の塗布等の適切な下地処理を行ってください。

[吸水調整材・モルタル接着増強材の例]

・NSハイフレックスHF-1000(日本化成) ・ハイモルエマルジョンペタルスEV-300(レゾナック建材)

【仕上げ塗材について】

●仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。

[水性塗材]四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG/

アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)

※上記の当社指定品「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。

必ず上記をお使いください。

※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。

※下地調整材についてもしっかり膜厚(軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。

●仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり、蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。

●部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整材またはコーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

【免責事項】

下記の場合の不具合については、免責とさせていただきます。

●当社指定品以外のご使用・当社指定仕上げパターン以外の施工がなされた場合

●当社ならび材料メーカーの指定する標準施工法から逸脱した施工がなされた場合

●その他、施工上の瑕疵、塗材の自然劣化、天災、事故等、当社の責に帰さない事由による場合

●塗材・下地調整材を塗装して得られる塗膜は、塗装業者様の製品となるため、塗装業者様が仕上がりに責任を負います。

●コンクリートブロックに起因する不具合(コンクリートブロック部の仕上げ材の白華、剥離など)

INDEX

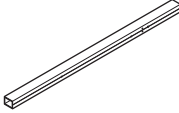
INDEX	1・2
梱包明細表	3～6
本体の組立に必要な工具	7
各部名称・断面図	8～10
●直線仕様	8
●90° コーナー仕様	9
●フリーコーナー仕様	10
基本寸法図	11・12
各部材詳細図	13
施工要点説明(BW柱・PSパネル W08・宅配 BOX)	14
施工要点説明(コンクリートブロック)	15
1.基礎寸法	16～20
1.標準基礎寸法(コンクリート基礎)	16・17
2.型枠状ブロック基礎寸法(型枠状ブロック+コンクリート基礎)	18・19
3.片側土圧基礎寸法(GL高低差)	20
2.基礎工事の施工手順	21
1.根切り・地業	21
2.型枠・鉄筋の配置(コンクリート基礎)	21
3.型枠・鉄筋の配置(型枠状ブロック+コンクリート基礎)	21
4.埋め戻し・コンクリートブロック組積	21
5.片側土圧(GL高低差)の注意事項	21
3.BW柱の建込み前の確認	22
1.電気配線の有無確認	22
2.障害物等の有無確認	22
3.片側埋込み仕様の場合	22
4.BW柱の建込み	22・23
1.BW柱とBW横棧 W12の仮付け	22
2.BW柱の建込み	23
3.BW柱とコンクリートブロックの配置位置	23
5.本体の施工	24～29
1.BWベース材 W12の取付	24・25
2.PSパネル W08の組付(1段目、1列目)	26
3.PSパネル W08の組付(1段目、2列目以降)	26
4.PSパネル W08の組付(2段目)	27
5.BW横棧 W12の組付	27
6.BWパネル固定材の組付	28
7.PSパネル W08・BW横棧 W12・BWパネル固定材の組付(3段目～)	29
6.本体の施工(最終スパンの部材加工)	30・31
1.BWベース材 W12・BW横棧 W12の切詰め加工	30
2.PSパネル W08・PS笠木 W08の切詰め加工	31
7.本体の施工(フリー切詰めの部材加工)	32～35
1.BW柱ピッチの確認	32
2.BWベース材 W12・BW横棧 W12の切詰め加工	33
3.PSパネル W08・PS笠木 W08の切詰め加工・組付	33～35
8.PS笠木 W08・PS端部カバーの取付	36
1.PS笠木 W08の組付	36
2.PS端部カバーの組付	36
9.アルミ笠木取付ベースの取付	37
1.現場手配のアルミ笠木を取り付ける場合	37

INDEX




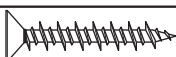
10.90° コーナーの施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉	38
1.コンクリートブロック部の注意	38
2.PSパネル W08の突き当て部の施工	38
11.フリーコーナーの施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉	39・ 40
1.コンクリートブロック部の注意	39
2.鋭角 (60° 以上～90° 未満) の場合	39
3.鋭角 (90° 以上～140° 未満) の場合	40
12.照明・インターホンの配線	41・ 42
1. PF管の取付位置	41
2.BWベース材 W12・ BW横棧 W12への孔加工	41
3.配線用 PF管の取付	41
4.PS/パネル W08からの PF管取出しと照明・ インターホンの取付	42
13.口金ポストの取付	43
1.PSパネル W08の現場加工	43
2. PS口金パネルの取付	43
3. 口金ポストの取付	43
14.壁付けポスト (前入れ・ 前出し) の取付	44
1. 壁付けポスト用取付ベース材の取付	44
2. 壁付けポストの取付	44
15.開口部の現場加工	45～55
1.埋め込みポスト・ 宅配 BOX開口部 (BW補強材による取付)	45～54
1-1.埋め込みポスト・ 宅配 BOX開口部の納まり図	45・ 46
1-2.埋め込みポスト・ 宅配 BOX開口部の取付準備	47・ 48
1-3.埋め込みポスト・ 宅配 BOXの組付	49・ 50
1-4.PS/パネル W08の開口部現場加工	51・ 52
1-5.埋め込みポスト・ 宅配 BOXの開口部位置の移動	53
1-6.BW補強材3段用の場合	54
2. 開き窓開口部	54・ 55
2-1.PS/パネル W08の開口部現場加工	55
16.PSパネル W08の逆向き施工	56
17.PSパネル W08の嵌合 (横方向) の微調整	57
18.片面工場塗装の注意点	57
19.現場塗装仕上げ手順 (現場塗装タイプ)	58～60
1. コーキング材の充填 (目地)	58
2.汎用プライマーの塗布 (PS部分のみ)	58
3.下地調整材・ グラスファイバーネットの施工	59・ 60
4.仕上げ塗材の施工	60
20.現場貼り仕上げ手順 (現場貼付タイプ)	61
1.接着剤による目地埋め、目地テープ貼り	61
2.タイル・ 外壁用シート材等の貼付け方法	61

梱包明細表

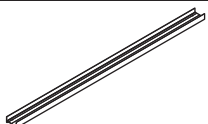



BW柱(1本入)セット

部材名	略図	員数
BW柱		1

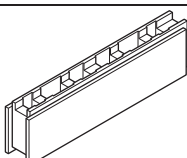
BWベース材W12(1本入)セット

部材名	略図	員数
BWベース材 W12		1
BW横棧・ベース材取付部品		2
φ4×13トラスドリルネジ 生地SUS		8
φ4×45コンクリートビス		1

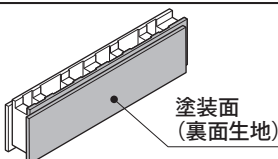
BW横棧W12(1本入)セット

部材名	略図	員数
BW横棧 W12		1
BW横棧・ベース材取付部品		2
BWパネル固定材		2
φ4×13トラスドリルネジ 生地SUS		10

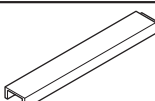
BW用PSパネルW08セット(生地)

部材名	略図	員数
PSパネル W08		1

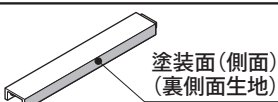
BW用PSパネルW08片面塗装セット

部材名	略図	員数
PSパネル W08(片面塗装)		1

BW用PS笠木W08(1セット入)生地

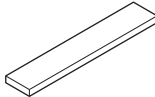
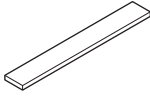
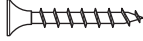
部材名	略図	員数
PS笠木 W08		1

PS笠木W08(1セット入)片面塗装

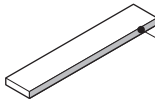
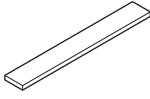
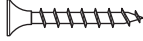
部材名	略図	員数
PS笠木 W08(片面塗装)		1

梱包明細表

BW用PS端部カバーセット(生地)





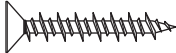
部材名	略図	員数
PS端部カバーA	 120×650×30	2
PS端部カバーB	 90×650×20	2
コーススレッドネジ 45mm		12
取扱・取付説明書		1

BW用PS端部カバー片面塗装セット

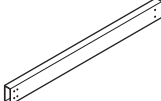




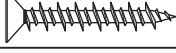
部材名	略図	員数
PS端部カバーA(片面塗装)	 塗装面(側面) 120×650×30	2
PS端部カバーB	 90×650×20	2
コーススレッドネジ 45mm		12
取扱・取付説明書		1

BW補強材セット30×70(2段用)(1本入)セット

※PS端部カバーBは生地です。




部材名	略図	員数
BW補強材2段用	 L=370	2
BW用補強材固定部品A		2
BW用補強材固定部品B		2
φ4×13トラスドリルネジ 生地SUS		20
φ4×45コンクリートビス		4

BW補強材セット30×70(4段用)(1本入)セット

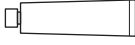


部材名	略図	員数
BW補強材4段用	 L=770	2
BW用補強材固定部品A		2
BW用補強材固定部品B		2
BW横棧・ベース材取付部品		2
φ4×13トラスドリルネジ 生地SUS		30
φ4×45コンクリートビス		4

梱包明細表

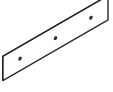
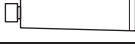



BW笠木取付ベースセット(2個入)セット

部材名	略図	員数
アルミ笠木取付ベース	 80×100×2	2
接着剤	 10ml	1
φ4×75ナベドリルネジ		2

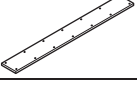
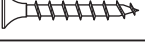
BW口金ポスト用部品セット(1セット入)

部材名	略図	員数
接着剤	 10ml	1
カールプラグ#10×32		4
φ4.1×63丸木ネジ		4

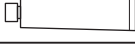
BW壁付けポスト用取付ベース(1セット入)セット

部材名	略図	員数
壁付けポスト用取付ベース材		2
接着剤	 10ml	1
カールプラグ#10×32		6
φ4×45サラダリルネジ		6
φ4×25トラスドリルネジ(ポスト取付用)		6


BW用塞ぎ板セット(開口部現場加工共通部材)

部材名	略図	員数
BW用開口部用塞ぎ板 L=1000		1
コーススレッドネジ L28		18(予備4)

BW用接着剤セット

部材名	略図	員数
BW用接着剤	 120ml	1


BW用貼り物用接着剤セット

部材名	略図	員数
BW用貼り物用接着剤	 2kg	1

BW用汎用プライマー(100ml)・刷毛セット


部材名	略図	員数
BW用汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

BW用汎用プライマーセット(1.5Kg)


部材名	略図	員数
BW用汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

梱包明細表

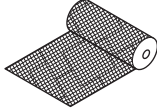
BW用汎用プライマーセット(15Kg)

部材名	略図	員数
BW用汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1


BW用目地テープセット

部材名	略図	員数
BW用目地テープ(巾100)	 100mm×50m	1

BW用グラスファイバーネット


部材名	略図	員数
BW用グラスファイバーネット(1000mm×50m)		1
BW用グラスファイバーネット(1000mm×10m)		1

BW用ローラー刷毛セット(1本入)




部材名	略図	員数
BW用ローラー刷毛セット		1

BW用コーキング材セット(ライトグレー)




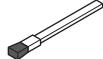
※ハンドルは付属しません

部材名	略図	員数
BW用コーキング材(ノンブリードタイプ)	 333ml	1

BW用補修部材セット

部材名	略図	員数
BW用塗材(100ml)	 100ml	1
ヘラ		1
スポンジ		1

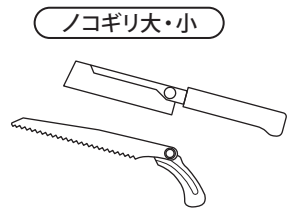
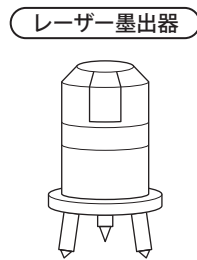
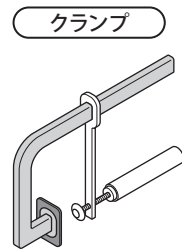
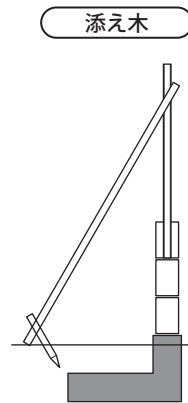
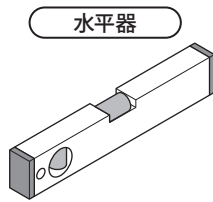
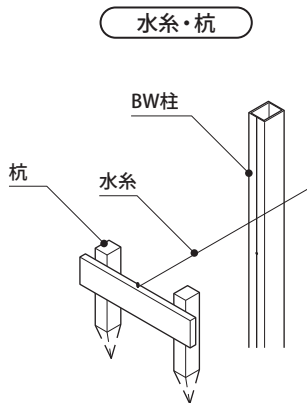
BW用小口補修セット

部材名	略図	員数
BW用プライマー(100ml)	 100ml	1
BW用着色塗料(100ml)	 100ml	1
BW用補修塗料(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

本体の組立に必要な工具

工具の名称と略図（基礎掘削用の器具や工具は除く）

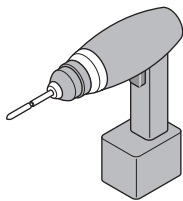
- BW柱のレベル出し・垂直やBWベース材W12の水平をしっかりと出すために杭と水系、水平器またはレーザー墨出器が必要です。また、添え木とクランプでBW柱の固定を行ってください。



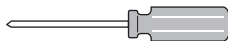
- 本体の組み立てには充電式インパクトドライバーが効率的です。

- 切詰めを行うには切断機とドリルが必要です。

充電式インパクトドライバー



ドライバー (+)



φ3.5・φ5・φ24ドリル

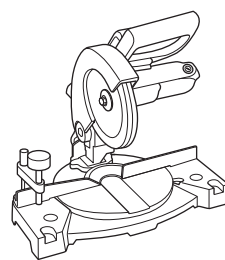


※φ24ドリルは柱内部のPF管配線用

φ3.4コンクリートドリル

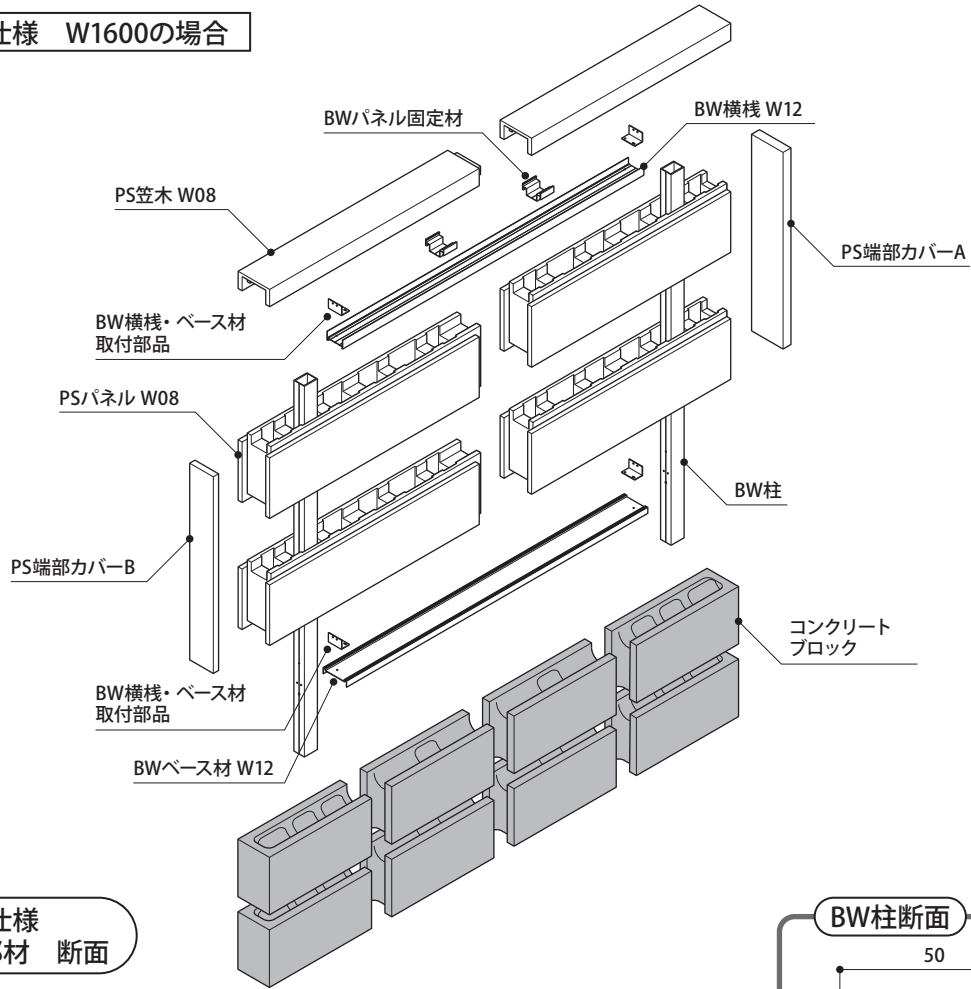


チップソー切断機



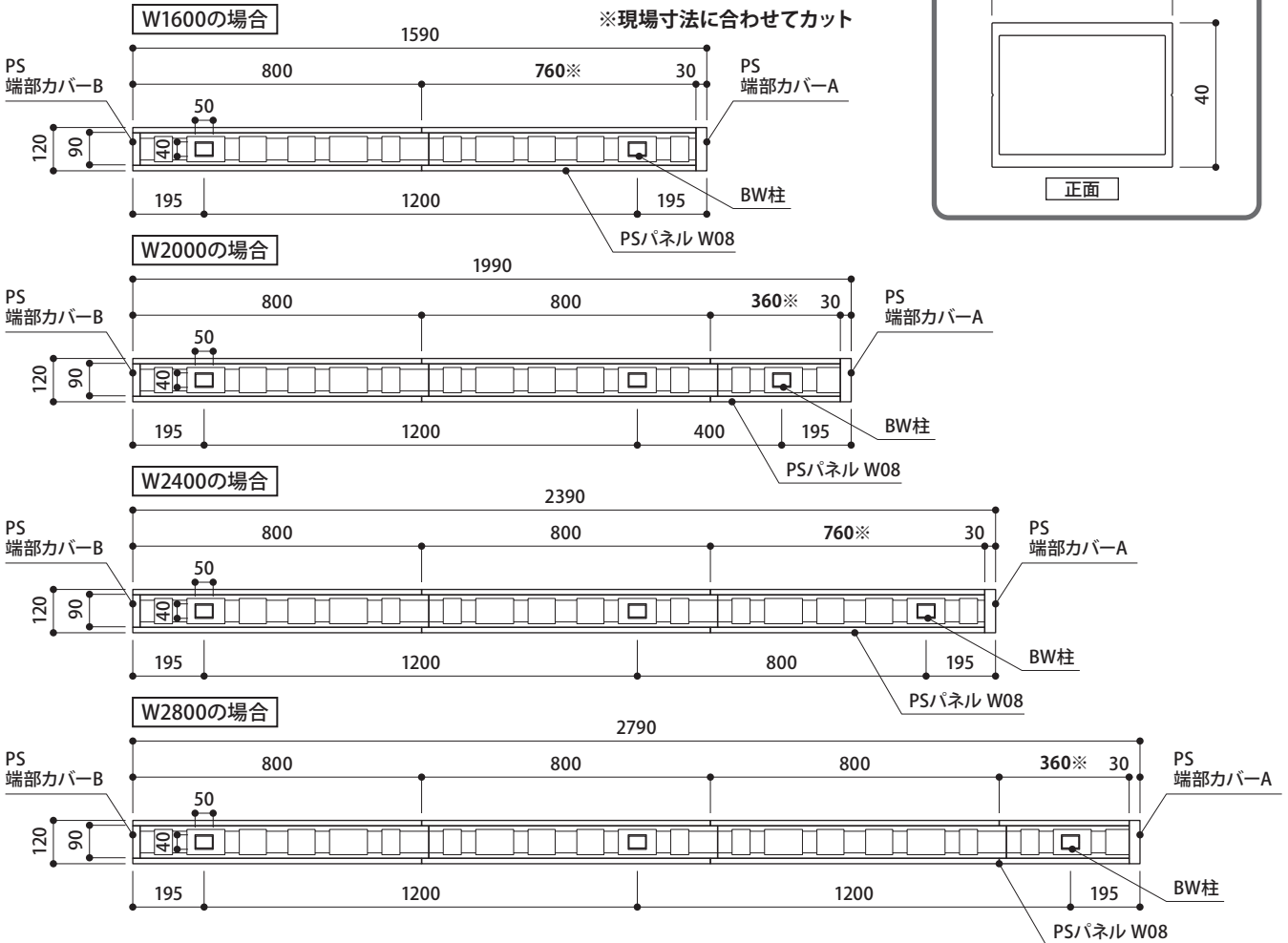
各部名称 直線仕様

直線仕様 W1600の場合



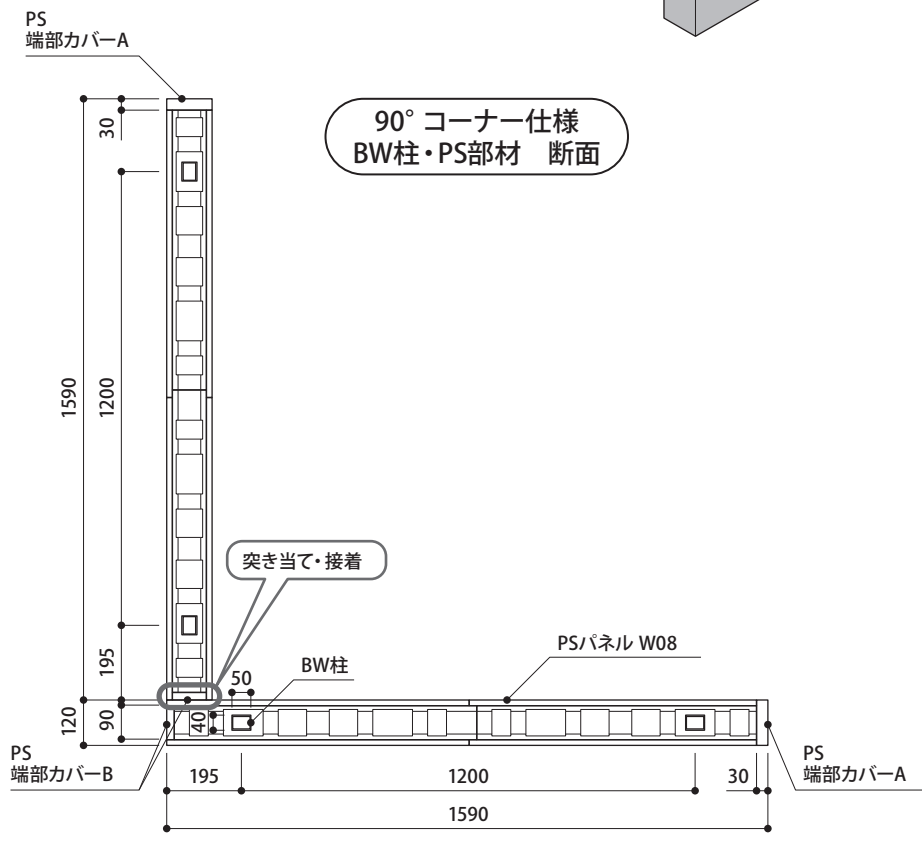
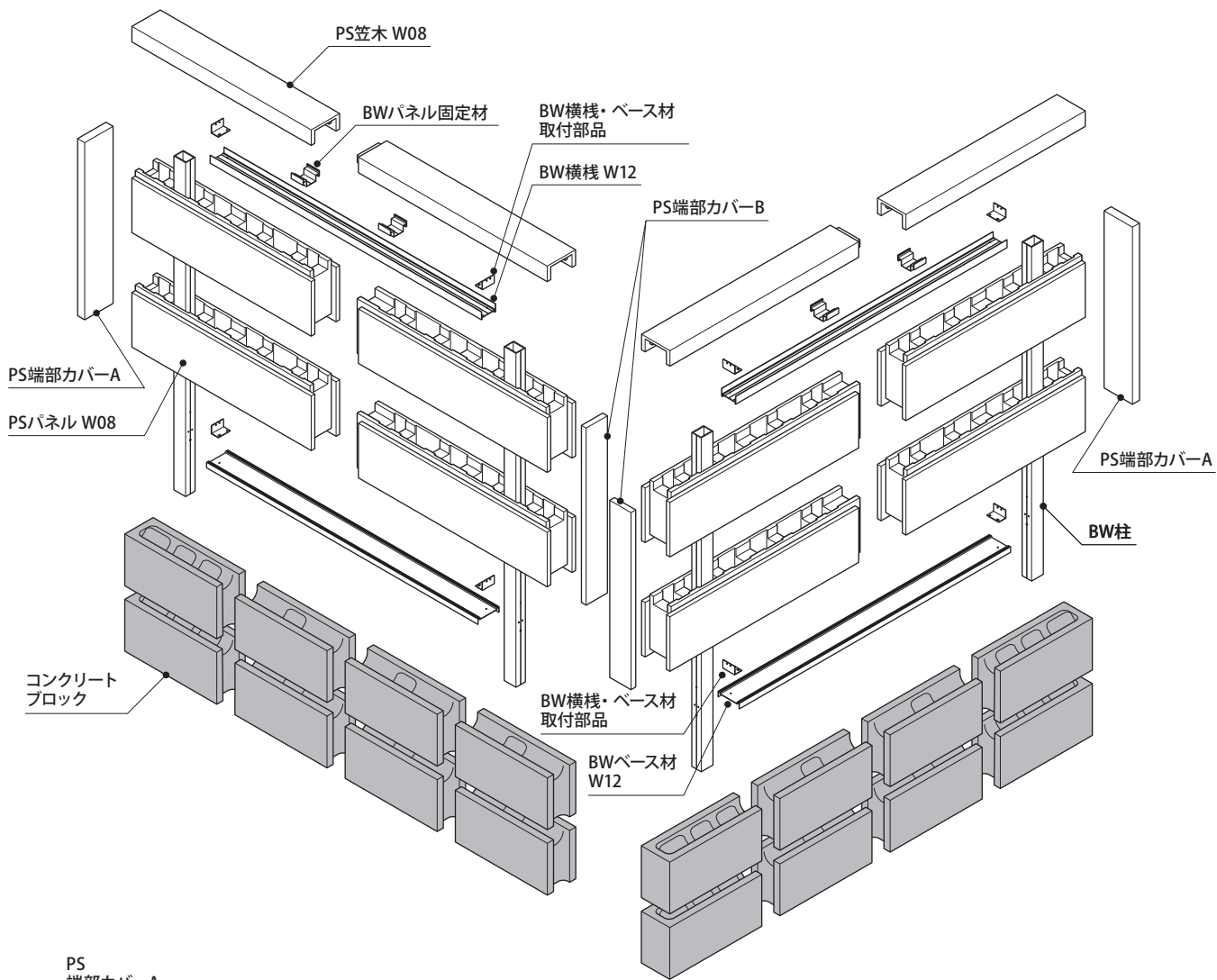
直線仕様
BW柱・PS部材 断面

BW柱断面



各部名称 90° コーナー仕様

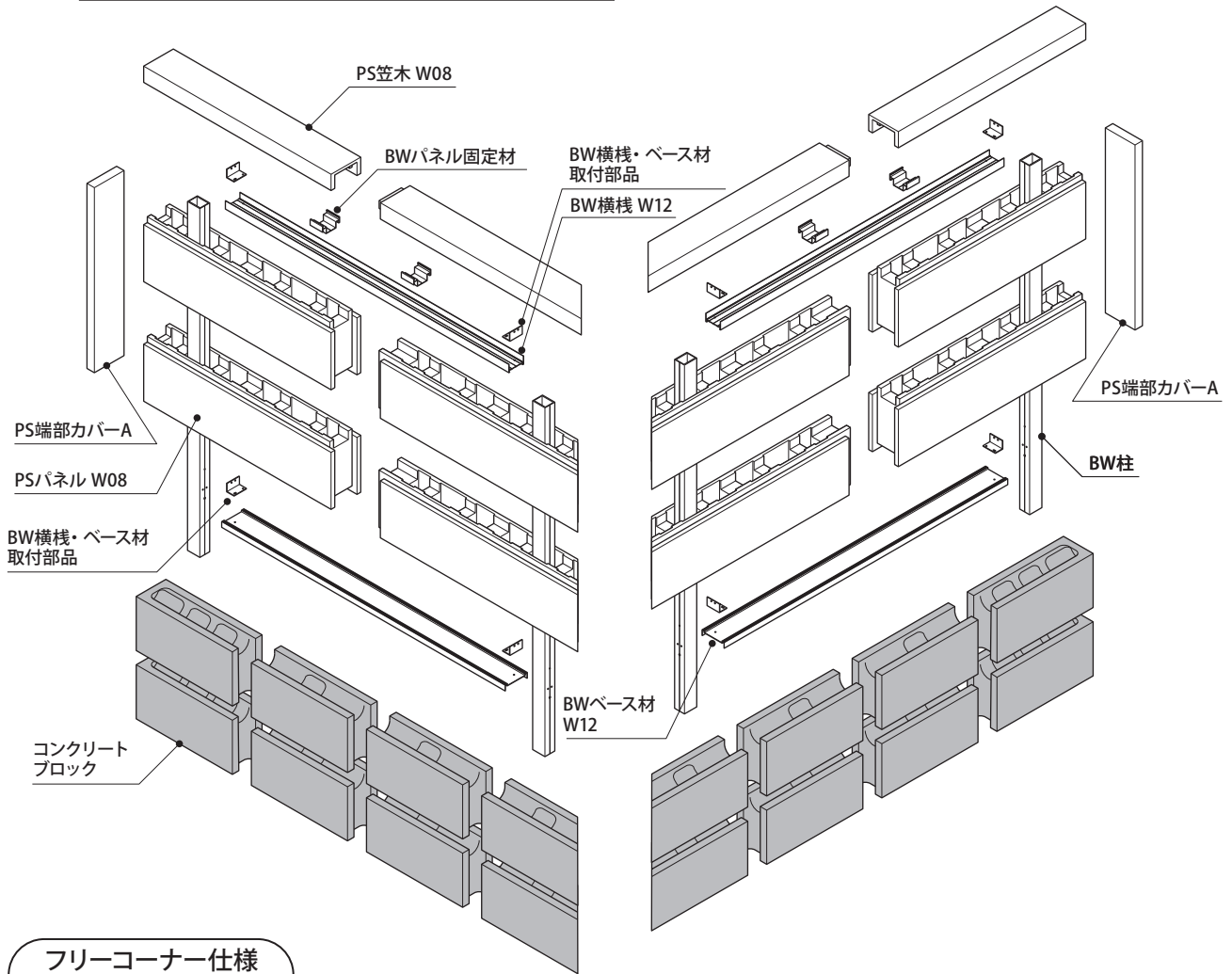
90° コーナー仕様 W1600+W1600の場合



90° コーナー仕様
BW柱・PS部材 断面

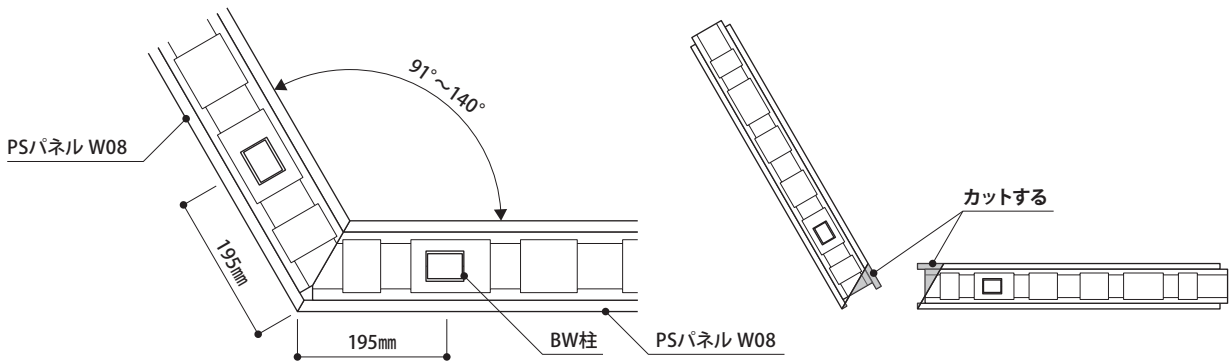
各部名称 フリーコーナー仕様

フリーコーナー仕様 W1600+W1600の場合

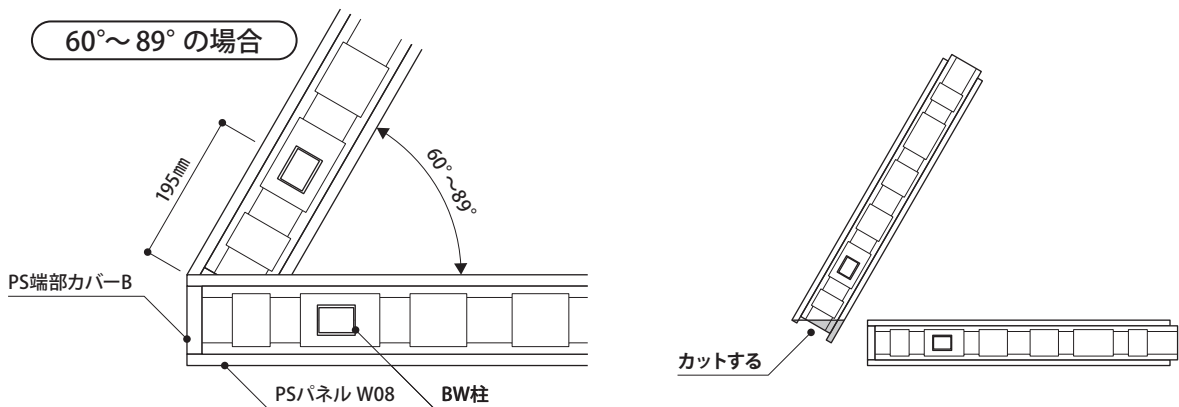


フリーコーナー仕様 BW柱・PS部材 断面

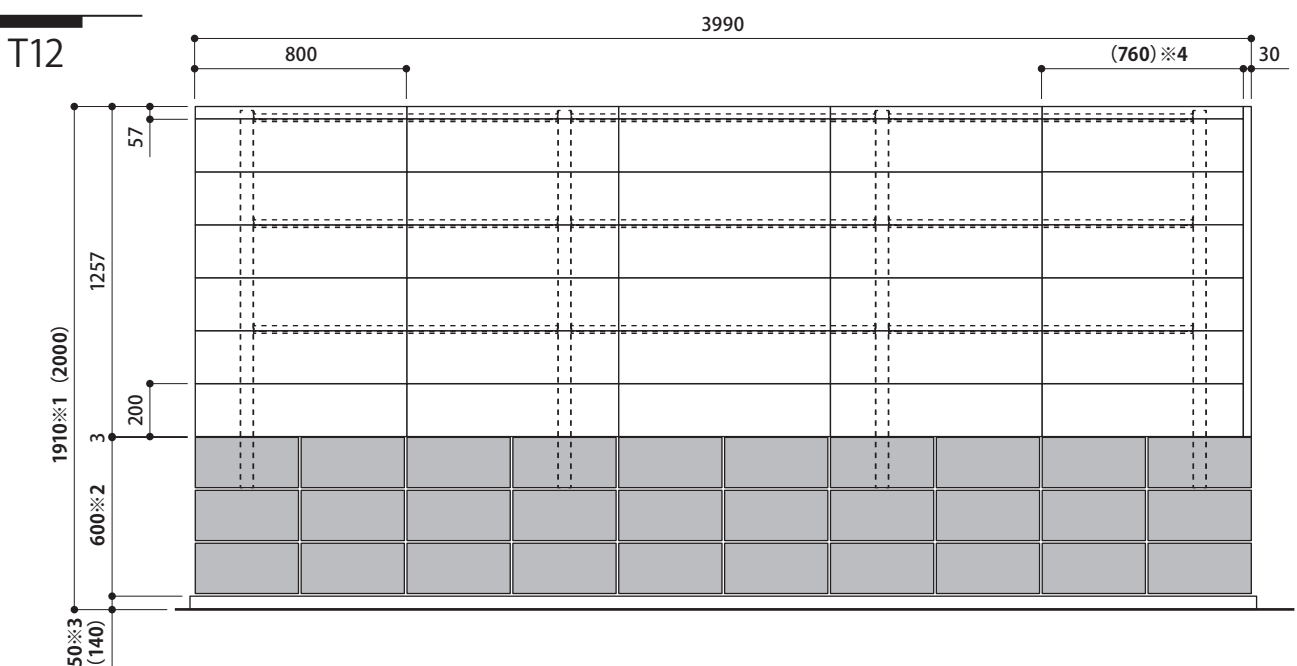
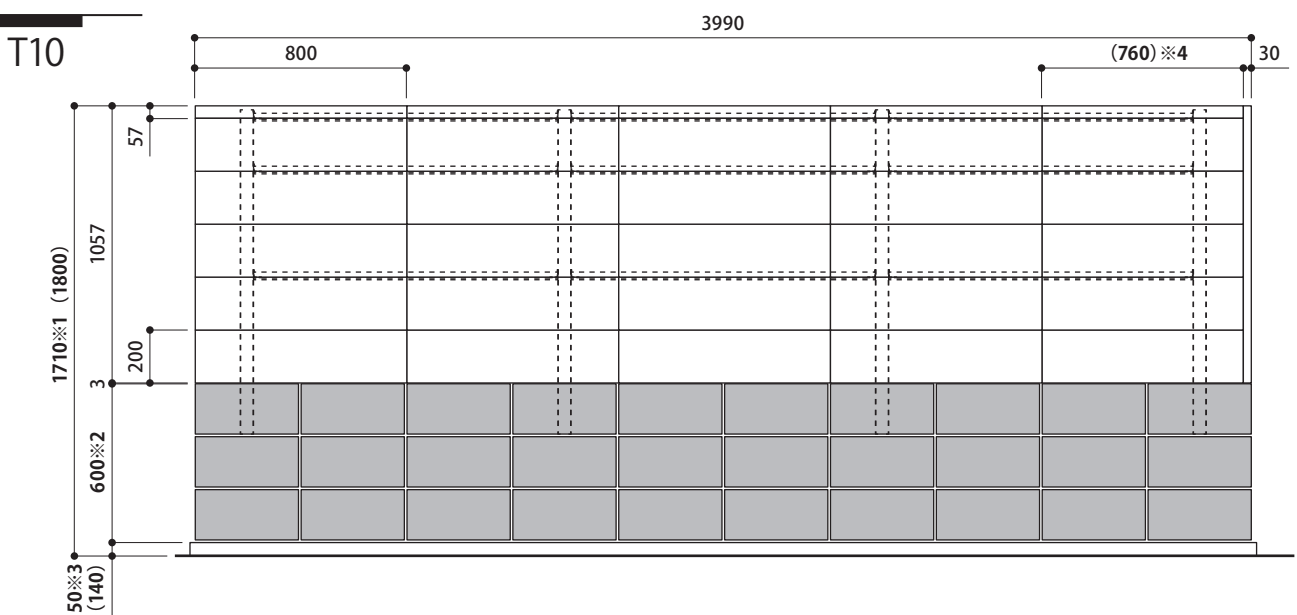
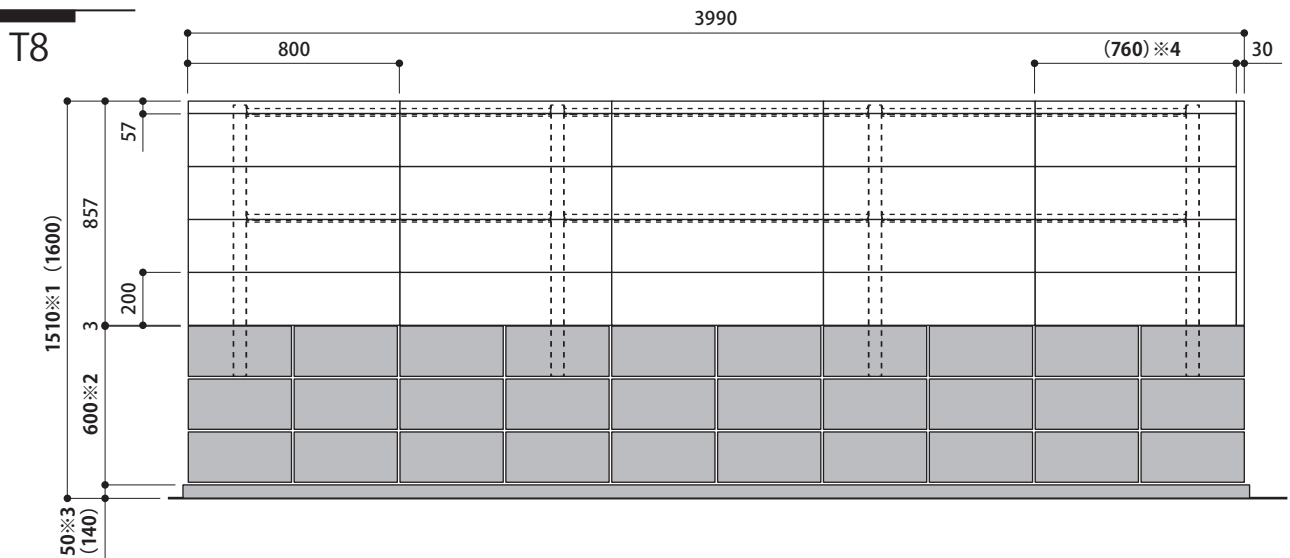
91°~140° の場合



60°~89° の場合



基本寸法図 (W4000の場合)

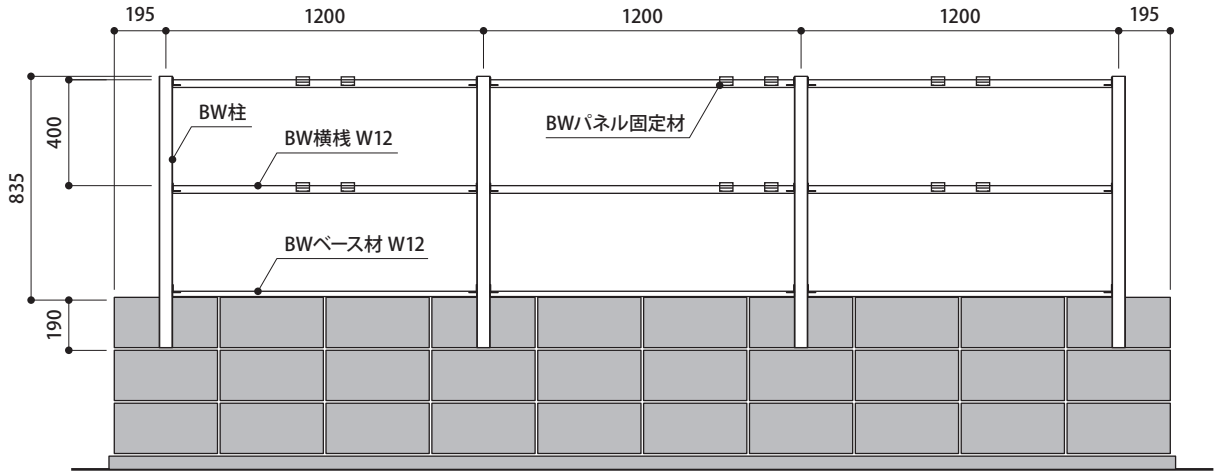


- ※1 12cmブロックの場合GLからの総高さ2000mmまで、15cmブロックの場合は2200mmまで。
- ※2 コンクリートブロック部は2段以上で、GLからの高さ1200mmまで。かつ総高さを※1範囲内に設置する事。

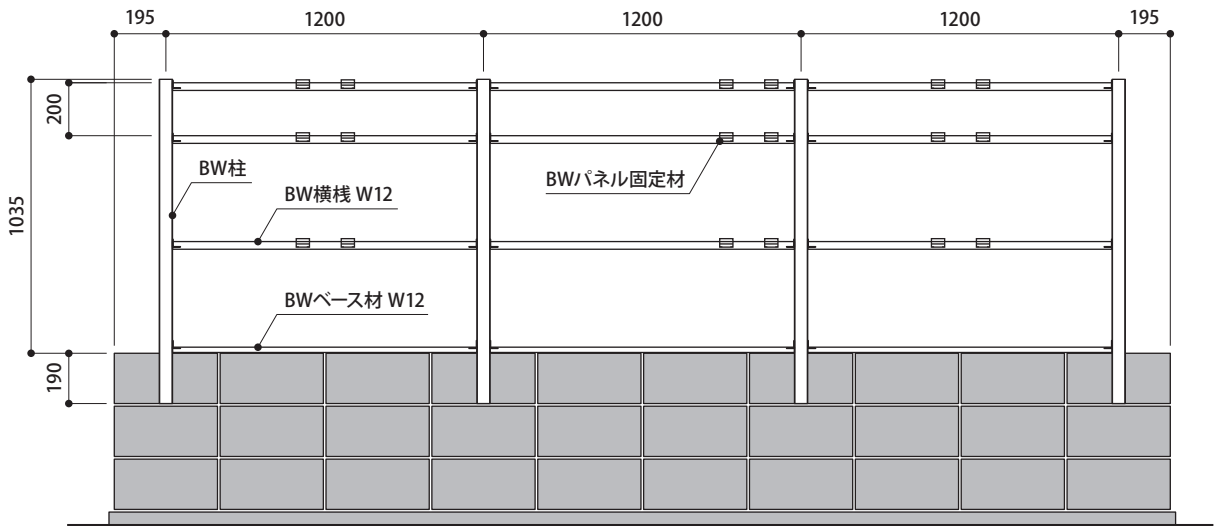
- ※3 基礎天端はGLから50mm以上立ち上げる事。
- ※4 現場寸法に合わせてカット。
- ※図は例としてコンクリートブロック3段、W4000の場合を示す。
- ※点線部は、BW柱とBW横棧W12を示す。

基本寸法図/ブロック上アルミ部 (W4000の場合)

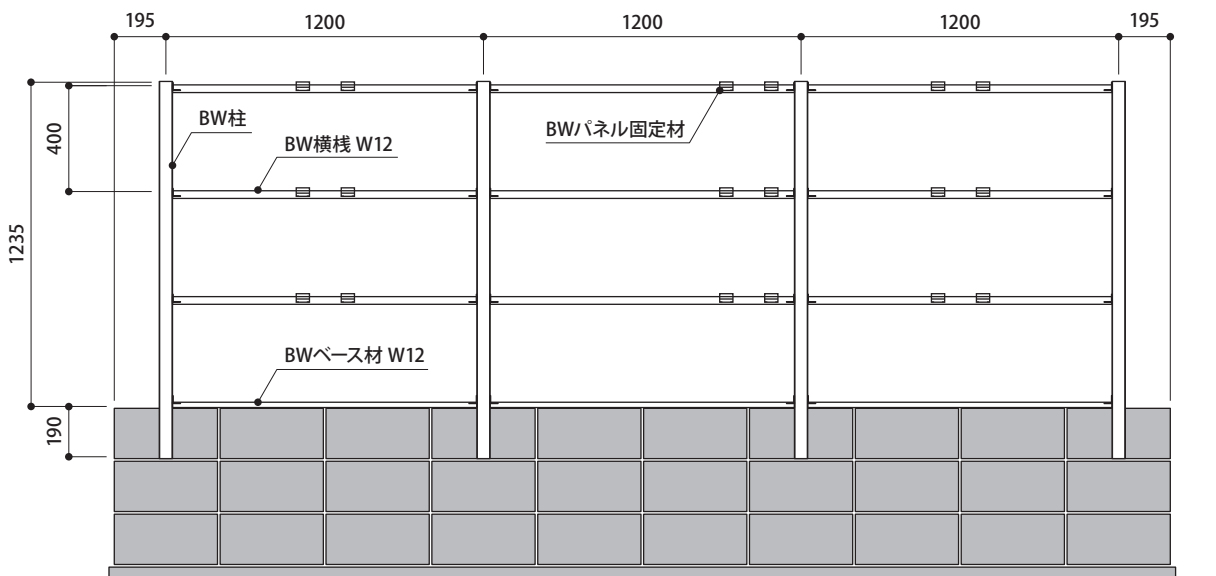
T8



T10



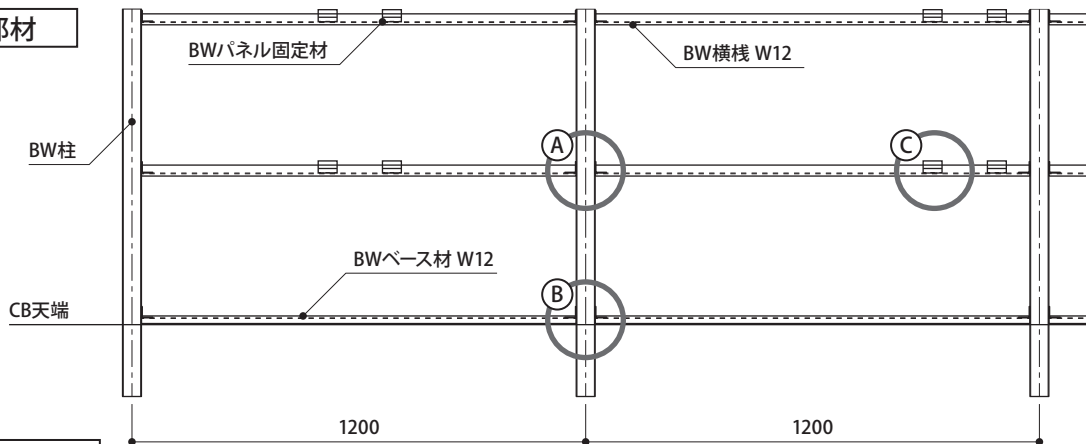
T12



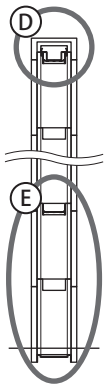
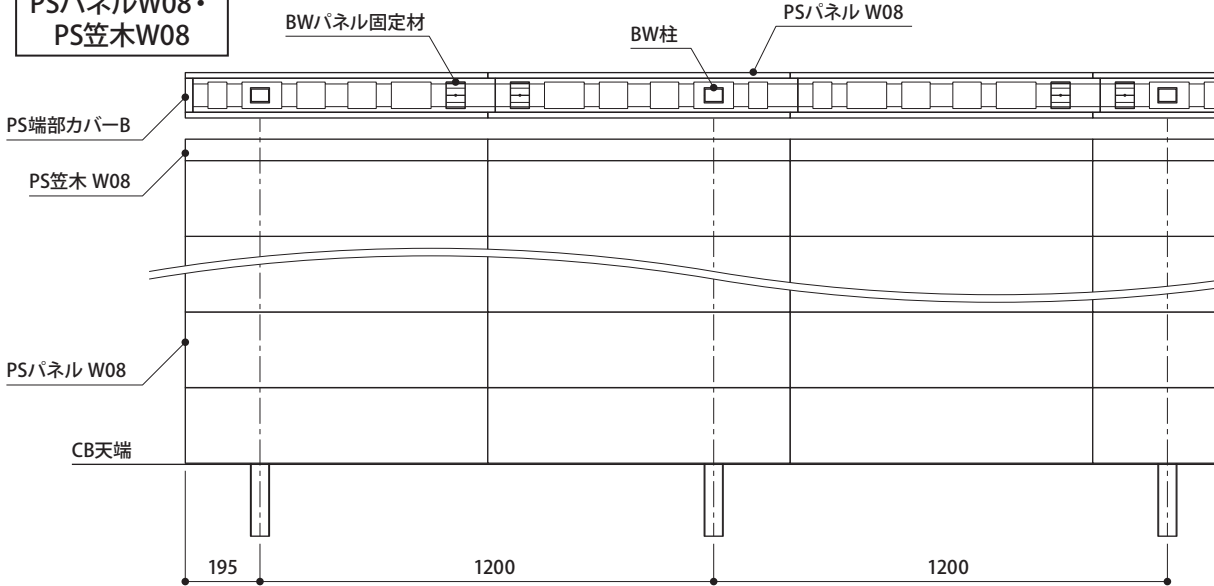
※BW横棧W12は、PSパネルW08を2段ごとに組み付けます。
T10の場合、最上段のみ、PSパネルW08を1段でBW横棧12に組み付けます。

各部材詳細図

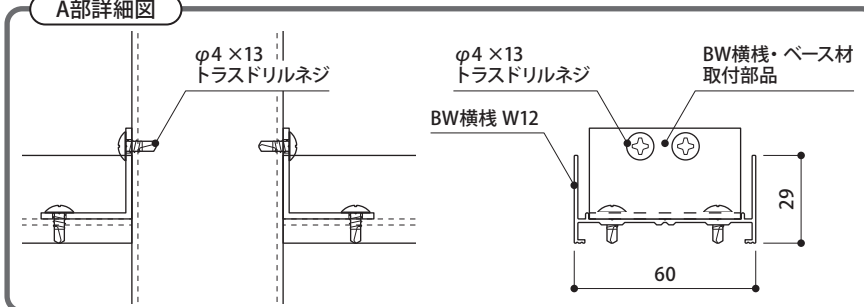
構造部材



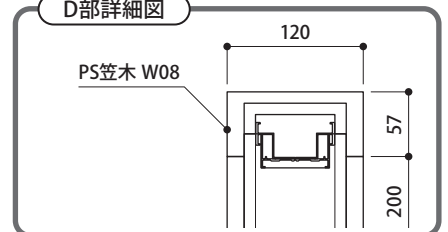
PSパネルW08・PS笠木W08



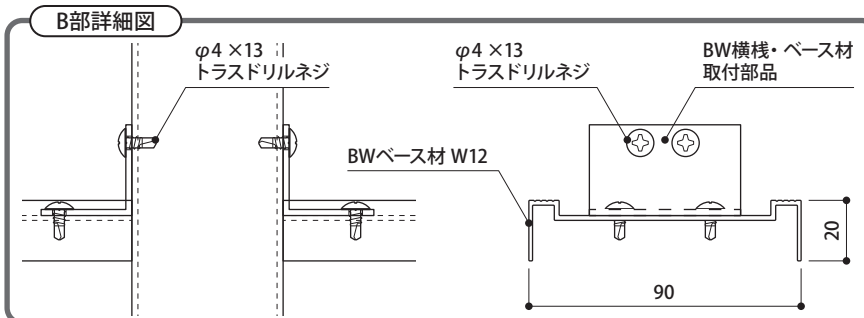
A部詳細図



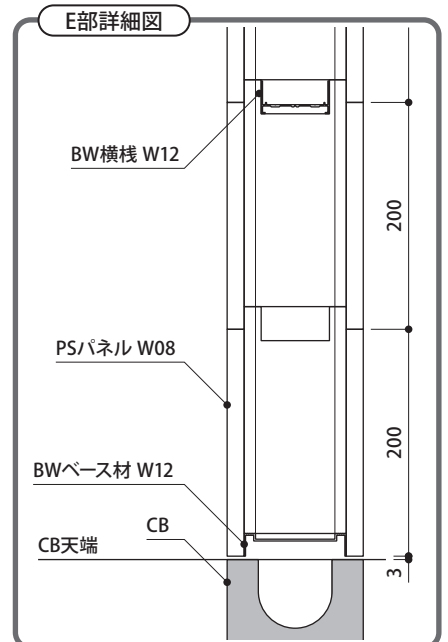
D部詳細図



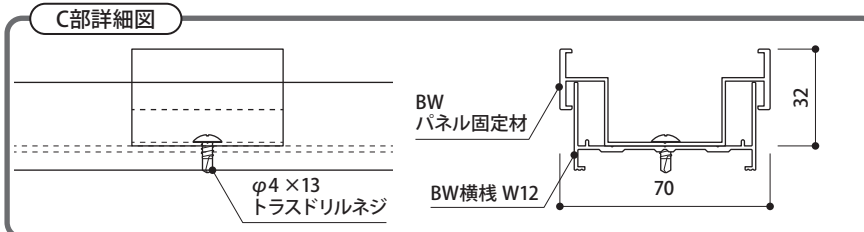
B部詳細図



E部詳細図

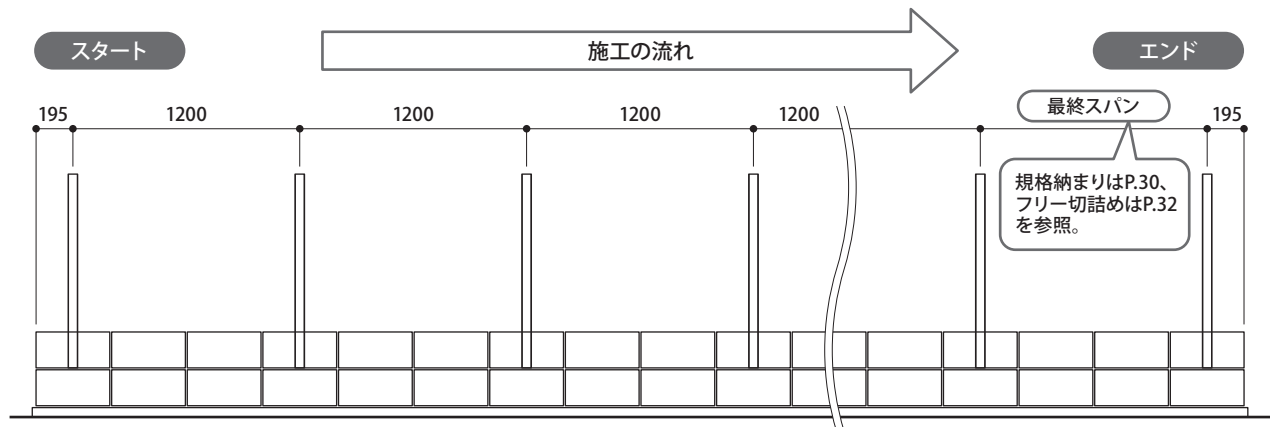


C部詳細図

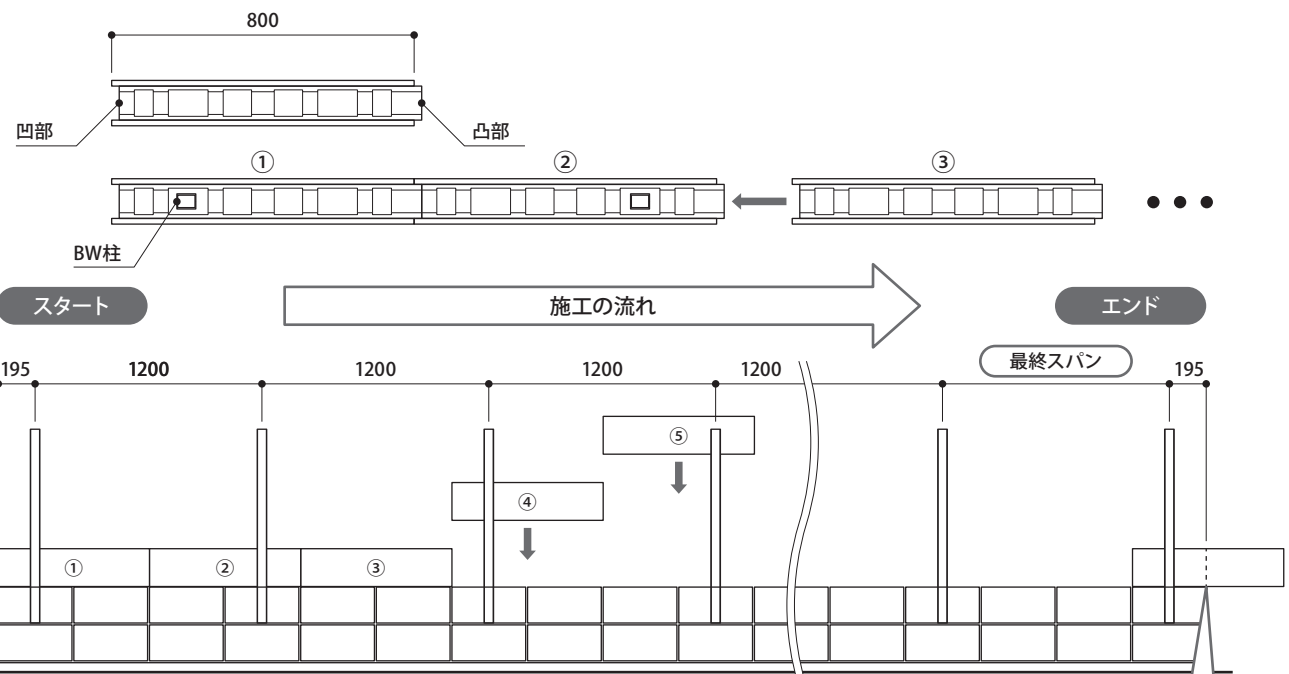


施工要点説明 (BW柱・PSパネルW08・宅配BOX)

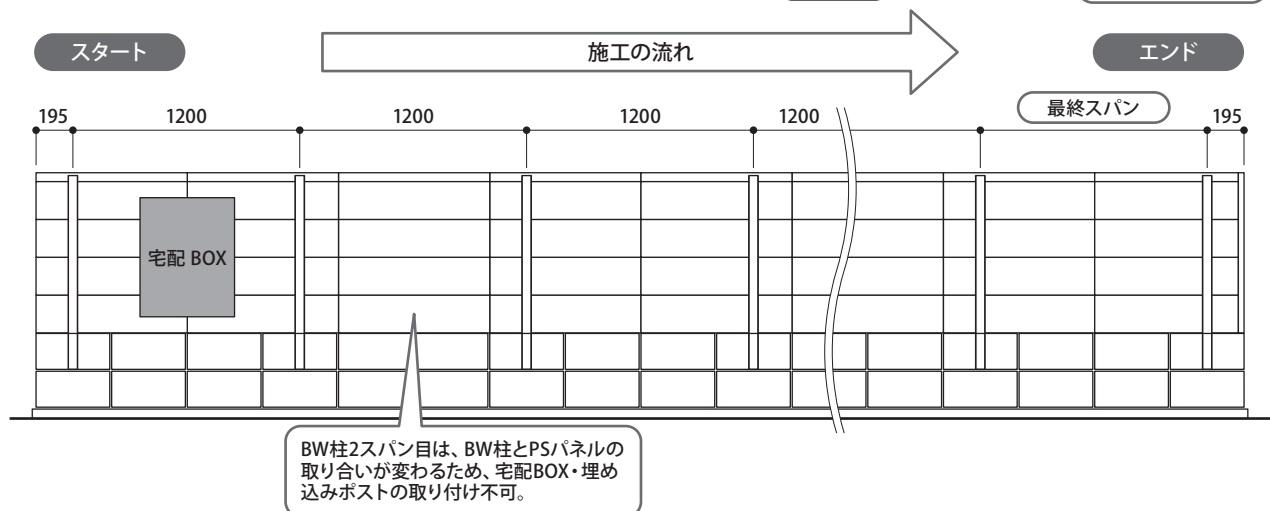
■BW柱は基本1200ピッチです。施工に向き・流れがあります。
 エンド側の区間を「最終スパン」と呼びます。必要に応じ最終スパンで柱ピッチ調整をします。
 柱ピッチは400mm以下で施工できません。



■PSパネルW08は800ピッチです。上下左右に向きがあります。



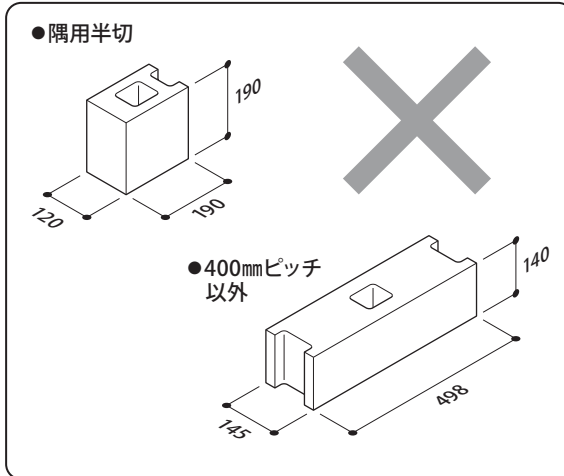
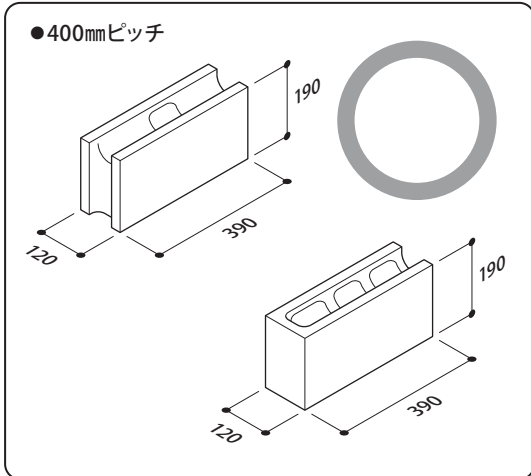
■宅配BOX・埋め込みポストは、最初の区間 (1スパン目) に取り付けます。 **参照** P.45



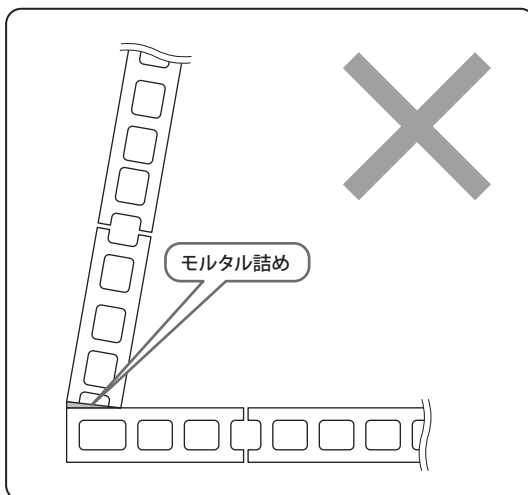
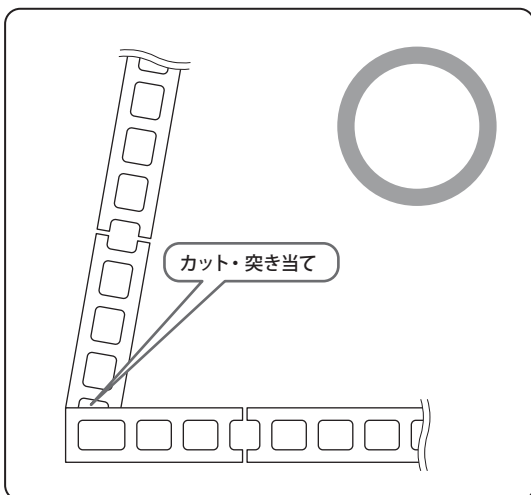
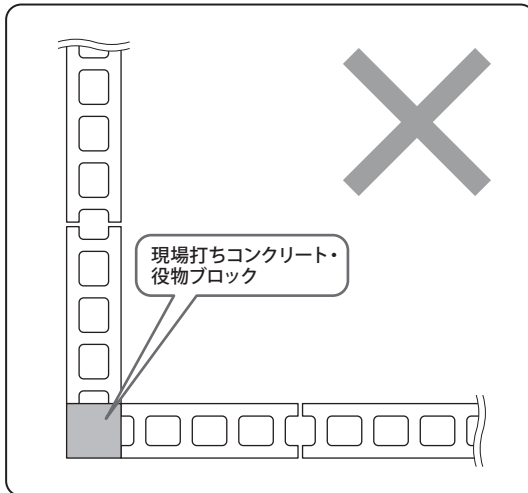
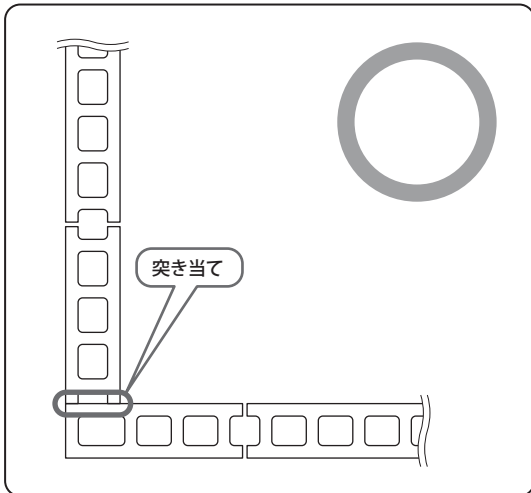
詳細は各ページをご覧ください。

施工要点説明 (コンクリートブロック)

■400mmピッチ施工のブロックを想定しています。



■コーナーは突き当て納まりです。
コンクリート部をふかすような施工は、PS部材が連続しなくなります。



1.基礎寸法

注意 高さ及び現場塗装タイプ・現場貼付タイプで基礎寸法が異なります。下記の図と寸法表をご確認ください。
電気配線がある場合はP.22・41・42を参照し、コンクリートブロック内部及び基礎部に配線用PF管を施工してください。

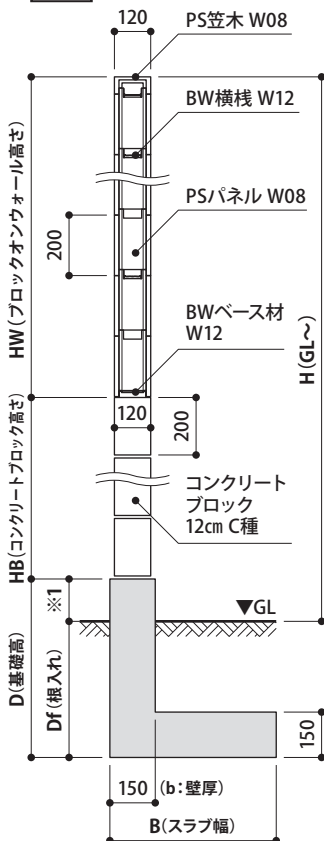
1.標準基礎寸法 (コンクリート基礎)

■現場貼付タイプ・現場塗装タイプの仕上げ重量表

HW(ブロックオンウォール高さ)	T8~12
許容重量	現場塗装タイプ: 17Kg/m ²
	現場貼付タイプ: 35Kg/m ²

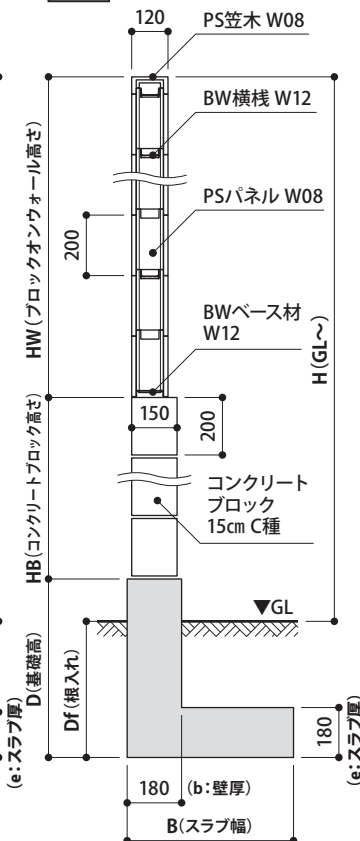
H: GL~2000以下

図1



H: GL~2000超~2200以下

図2

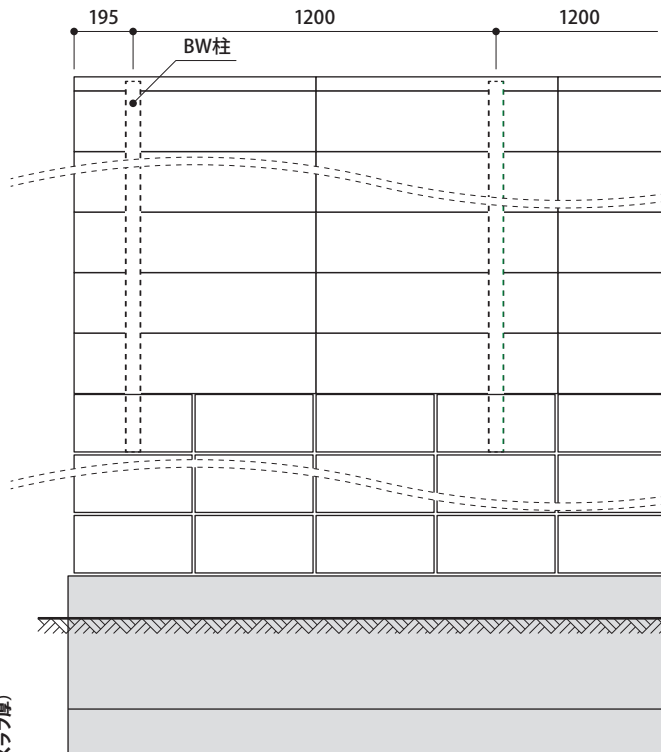


※表のL字基礎寸法は強度を確保するための寸法です。必ず守るようにしてください。GLからの最大高さは2.2mです。

※図1はGLからの高さHが2m以下の場合です。コンクリートブロック (CB) 幅は12cmです。

※図2はGLからの高さが2m超~2.2mの場合です。コンクリートブロック (CB) 幅は15cmです。(Hが2mを超える場合は、必ずブロック幅を15cmサイズにしてください。)

※各サイズでH寸法を低く調整したい場合は基礎高さを調整してください。根入れ寸法は変更しないでください。基礎高さとの差※1は、50mmを確保してください。



※コンクリートブロック (CB) は2段~5段で組積してください。1段積み及び、6段積み以上は不可です。

※図2はブロックオンウォールを偏芯させています。詳しくはP.17のBW柱取付位置の図を参照してください。

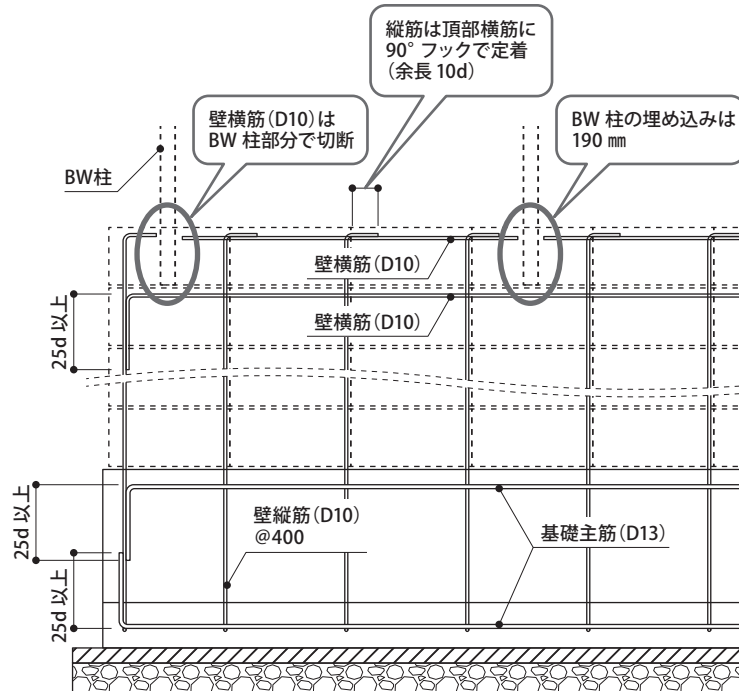
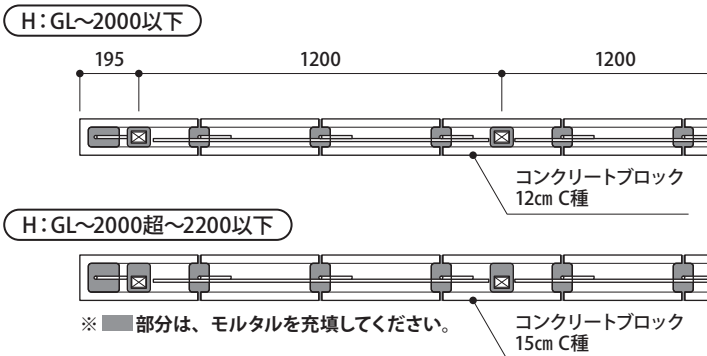
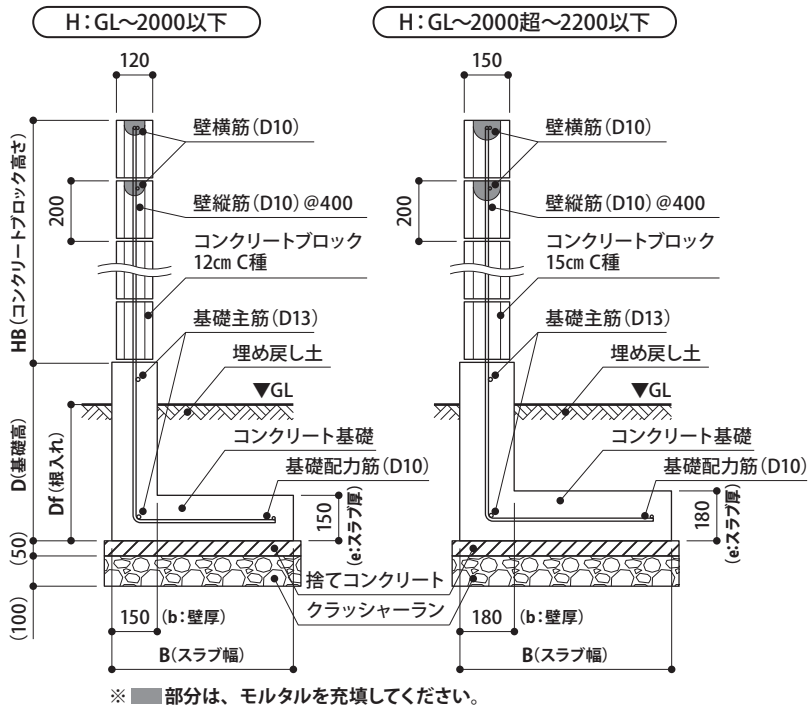
■寸法表 (mm)

H (GL~)	HW(ブロックオンウォール高さ)			HB(コンクリートブロック高さ)			D 基礎高	Df 根入れ	B(スラブ幅)		e スラブ厚	b 壁厚						
	高さ	サイズ	(段数)	高さ	CB幅	(段数)			塗装タイプ	貼付タイプ								
1510	1060	T10	(5)	400	120	(2)	400	350	550	550	150	150						
	860	T08	(4)	600		(3)												
1600	1060	T10	(5)	400		(2)							490	550	550			
	860	T08	(4)	600		(3)												
1710	1260	T12	(6)	400		(2)										400	550	550
	1060	T10	(5)	600		(3)												
	860	T08	(4)	800		(4)												
	1260	T12	(6)	400		(2)												
1800	1060	T10	(5)	600		(3)	540	600	600									
	860	T08	(4)	800		(4)												
	1260	T12	(6)	600		(3)												
1910	1060	T10	(5)	800		(4)	450	400	650									
	860	T08	(4)	1000	(5)													
	1260	T12	(6)	600	(3)													
2000	1060	T10	(5)	800	(4)	540	700	700										
	860	T08	(4)	1000	(5)													
	1260	T12	(6)	800	(4)													
2110	1260	T12	(6)	800	(4)	500	450	700										
	1060	T10	(5)	1000	(5)													
2200	1260	T12	(6)	800	(4)	590	450	750										
	1060	T10	(5)	1000	(5)													

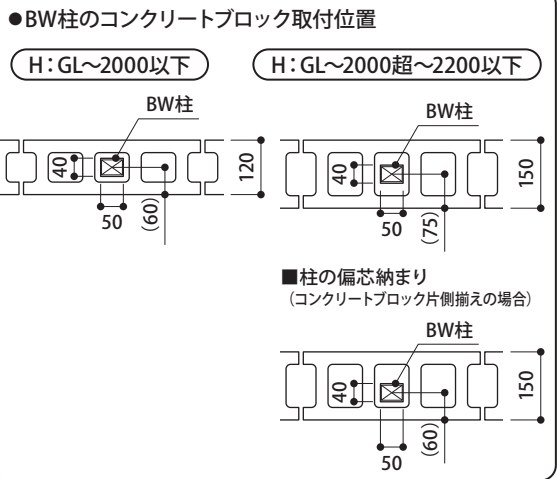
1.基礎寸法

注意 工事前に下記の基礎廻りの各部材の仕様をご確認してください。

■コンクリート基礎・コンクリートブロック納まり断面詳細図



- ① コンクリートブロック (CB) は、JISA5406のC種同等品以上のものを使用してください。最上部と2段目のコンクリートブロックは横筋タイプ (端部はコーナー用) にしてください。ブロックは芋目地に組積してください。破れ目地は縦筋とBW柱が干渉するのでおやめください。
- ② 鉄筋はJISG3112のSD295A・SD345、またはJISG3117のSDR295に適合するものを使用してください。
- ③ 壁縦筋は呼び径D10を400mmピッチで取り付けてください。壁縦筋はコンクリートブロック継目地空洞部の中央に配置してください。位置がずれると強度が低下します。
- ④ 最上段と2段目のコンクリートブロックに壁横筋呼び径D10を取り付けてください。ブロック最上段の横筋は柱の部分で左下の図のように避けて組み付けてください。
- ⑤ コンクリート基礎部には基礎主筋呼び径D13と基礎配力筋呼び径D10を取り付けてください。
- ⑥ 壁横筋・壁縦筋とBW柱の埋設部のブロック空洞部はモルタルを充填してください。
- ⑦ ブロック空洞部モルタルと目地モルタルは、設計基準強度が18N/mm²以上にしてください。
- ⑧ 縦筋及び横筋は左の図を参考に曲げ加工の上、組み付けてください。また、鉄筋の連結やコーナー納まりについてはコンクリートブロック工業会や各メーカーの施工要領等を参照してください。
- ⑨ 各鉄筋のかぶり厚さはコンクリートブロック部分で20mm以上、基礎立上がり部で40mm、基礎スラブ部で60mm以上確保してください。
- ⑩ 基礎部のコンクリートは設計基準強度が21N/mm²以上にしてください。
- ⑪ クラッシャーラン (C-40もしくはRC-40) を敷き詰め、しっかり転圧してください。
- ⑫ コンクリートブロック15cm幅にBW柱を取り付ける時に、偏芯させて片側に揃える場合は下の図のようにしてください。
- ⑬ P.16の基礎寸法は日本建築学会のコンクリートブロック塀設計基準をもとに設定した寸法です。設置場所の掘削・埋戻しの転圧作業をしっかりと行ってください。



1.基礎寸法

注意 高さ及び現場塗装タイプ・現場貼付タイプで基礎寸法が異なります。下記の図と寸法表をご確認ください。

2.型枠状ブロック基礎寸法 (型枠状ブロック+コンクリート基礎)

■現場貼付タイプ・現場塗装タイプの仕上げ重量表

HW(ブロックオンウォール高さ)	T8~12
許容重量	現場塗装タイプ:17Kg/m ²
	現場貼付タイプ:35Kg/m ²

※表のL字基礎寸法は強度を確保するための寸法です。必ず守るようにしてください。GLからの最大高さは2.2mです。

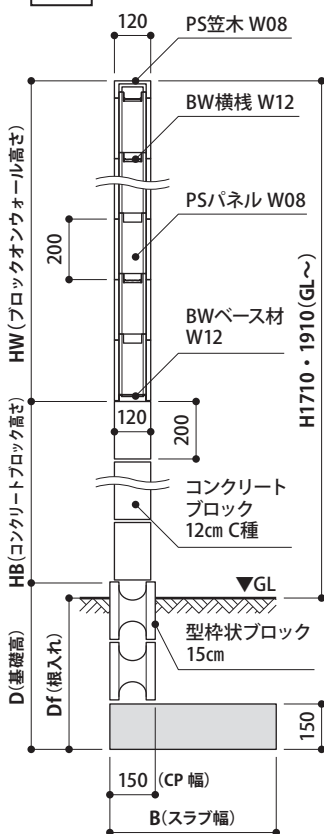
※図1はGLからの高さHが2m以下の場合です。コンクリートブロック (CB) 幅は12cmです。

※図2はGLからの高さが2m超~2.2mの場合です。コンクリートブロック (CB) 幅は15cmです。(Hが2mを超える場合は、必ずブロック幅を15cmサイズにしてください。)

※型枠状ブロックの圧縮強さ区分は25以上です。

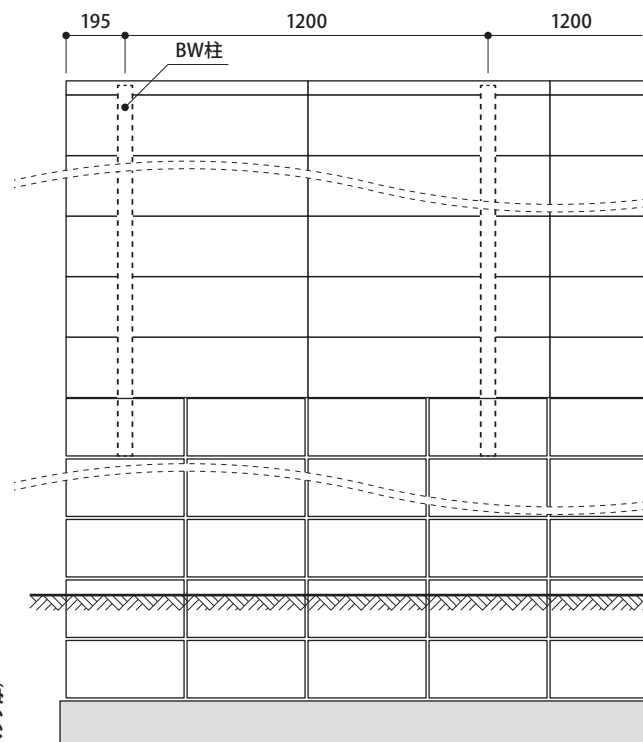
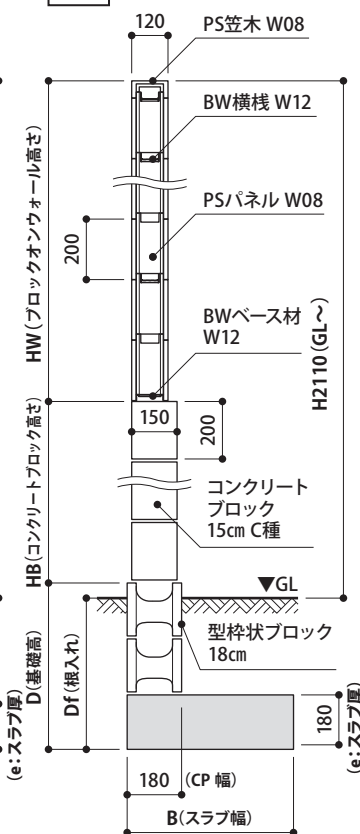
H: GL~1710・1910

図1



H: GL~2110

図2



※コンクリートブロック (CB) は2段~5段で組積してください。1段積み及び、6段積み以上は不可です。

※図2はブロックオンウォールを偏芯させています。詳しくはP.19のBW柱取付位置の図を参照してください。

■寸法表 (mm)

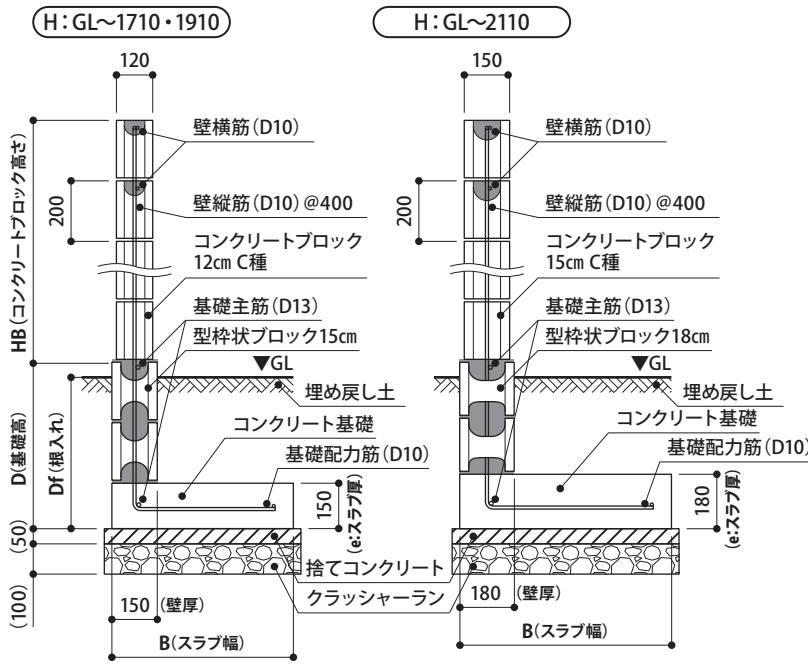
H (GL~)	HW(ブロックオンウォール高さ)			HB(コンクリートブロック高さ)			CP(型枠状ブロック)			D 基礎高	Df 根入れ	B(スラブ幅)		e スラブ厚
	高さ	サイズ	(段数)	高さ	CB幅	(段数)	高さ	CP幅	(段数)			塗装タイプ	貼付タイプ	
1510	1060	T10	(5)	400	120	(2)	400	150	(2)	550	500	550	550	150
	860	T08	(4)	600		(3)								
	1260	T12	(6)	400		(2)								
1710	1060	T10	(5)	600	120	(3)	400	150	(2)	550	500	600	650	150
	860	T08	(4)	800		(2)								
	1260	T12	(6)	600		(3)								
1910	1060	T10	(5)	800	150	(4)	400	180	(2)	580	530	600	700	180
	860	T08	(4)	1000		(2)								
	1260	T12	(6)	800		(4)								
2110	1060	T10	(5)	1000	150	(5)	400	180	(2)	580	530	600	700	180
	1260	T12	(6)	800		(4)								

※上記基礎寸法は、日本建築学会のコンクリートブロック塀設計基準をもとに設定した寸法です。設置場所の掘削・埋戻しの転圧作業をしっかりと行ってください。

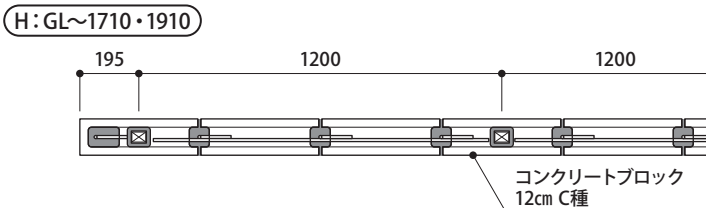
1.基礎寸法

注意 工事前に下記の基礎廻りの各部材の仕様をご確認してください。

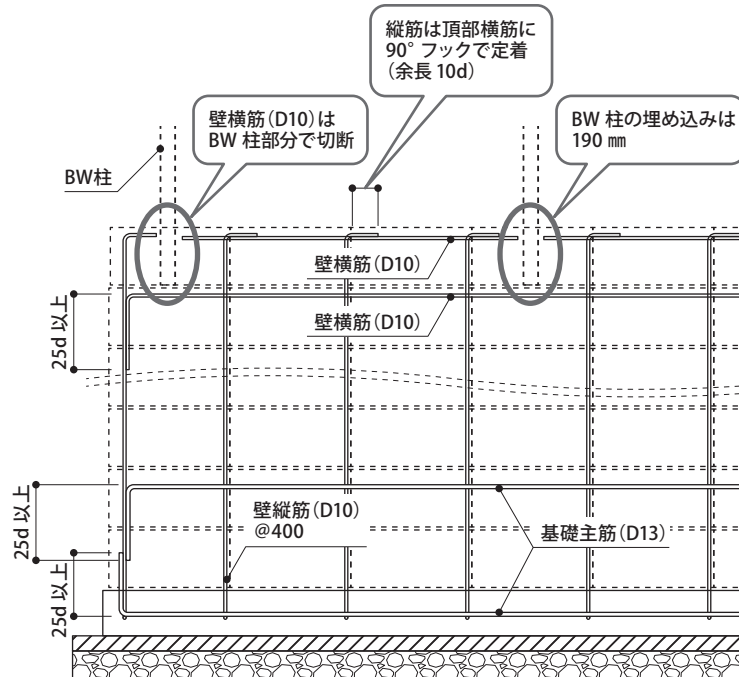
■枠型状ブロック・コンクリート基礎・コンクリートブロック納まり断面詳細図



※ 〇部分は、モルタルを充填してください。

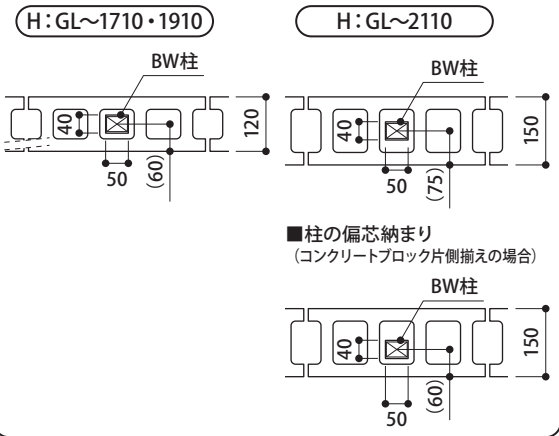


※ 〇部分は、モルタルを充填してください。



- ① コンクリートブロック (CB) と、型枠状ブロック (強さ区分25以上) はJISA5406同等品のものを使用してください。最上部と2段目のコンクリートブロックは横筋タイプ (端部はコーナー用) にしてください。ブロックは芋目地に組積してください。破れ目地は縦筋とBW柱が干渉するのでおやめください。
- ② 鉄筋はJISG3112のSD295A・SD345、またはJISG3117のSDR295に適合するものにしてください。
- ③ 壁縦筋は呼び径D10を400mmピッチで取り付けてください。壁縦筋はコンクリートブロック継目地空洞部の中央に配置してください。位置がずれると強度が低下します。
- ④ 最上段と2段目のコンクリートブロックに壁横筋呼び径D10を取り付けてください。ブロック最上段の横筋は柱の部分で左下の図のように避けて組み付けてください。
- ⑤ コンクリート基礎部には基礎主筋呼び径D13と基礎配力筋呼び径D10を取り付けてください。
- ⑥ コンクリートブロックの縦筋・横筋とBW柱の埋設部の空洞部はモルタルを充填してください。
- ⑦ ⑥の空洞部充填モルタルと目地モルタルは、設計基準強度が18N/mm²以上にしてください。
- ⑧ 縦筋及び横筋は左の図を参考に曲げ加工の上、組み付けてください。また、鉄筋の連結やコーナー納まりについてはコンクリートブロック工業会や各メーカーの施工要領等を参照してください。
- ⑨ 各鉄筋のかぶり厚さはコンクリートブロック部分で20mm以上、基礎立上がり部で40mm、基礎スラブ部で60mm以上確保してください。
- ⑩ 基礎部のコンクリートは設計基準強度が21N/mm²以上にしてください。
- ⑪ クラッシャーラン (C-40もしくはRC-40) を敷き詰め、しっかり転圧してください。
- ⑫ 型枠状ブロック空洞部の充填コンクリートは、 $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上で全充填してください。
- ⑬ コンクリートブロック15cm幅にBW柱を取り付ける時に、偏芯させて片側に揃える場合は下の図のようにしてください。

●BW柱のコンクリートブロック取付位置



1.基礎寸法

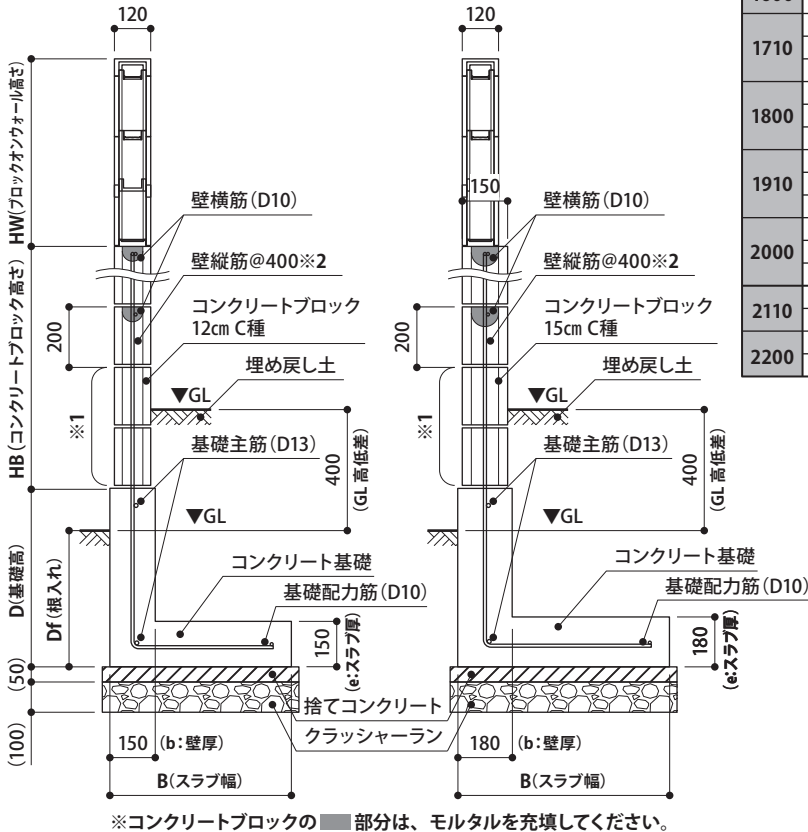
注意 工事前に下記の基礎廻りの各部材の仕様をご確認してください。

3.片側土圧基礎寸法 (GL高低差)

- 標準コンクリート基礎片側土圧納まり断面詳細図
- 標準基礎片側土圧 (GL高低差400) 納まり

H: GL~2000以下

H: GL~2000超~2200以下

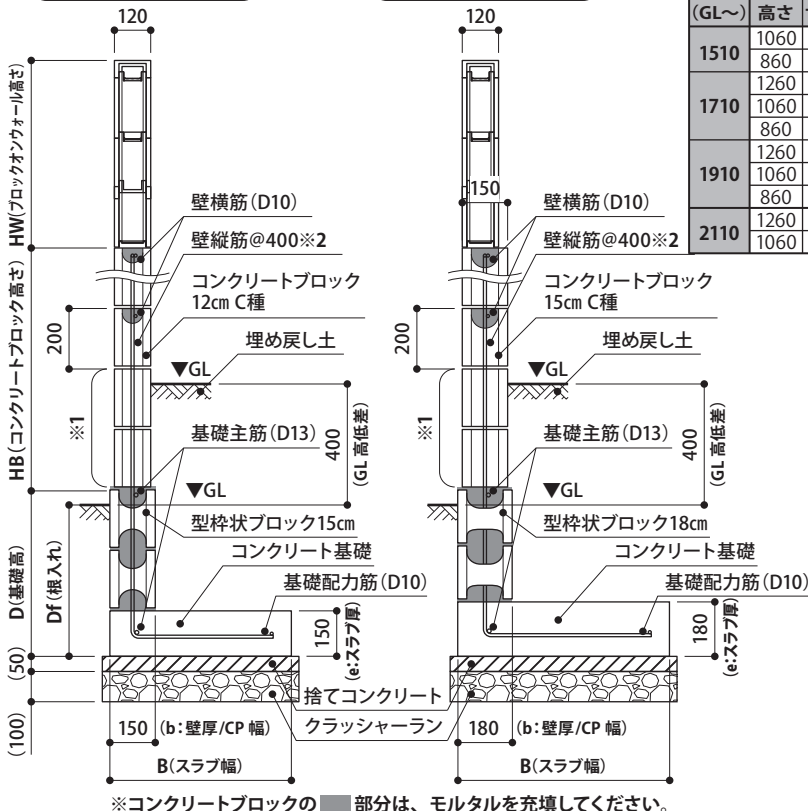


※コンクリートブロックの■部分は、モルタルを充填してください。

●型枠状ブロック基礎片側土圧 (GL高低差400) 納まり

H: GL~1710・1910

H: GL~2110



※コンクリートブロックの■部分は、モルタルを充填してください。

■寸法表 (mm)

H (GL~)	HW (BW高さ) 高さ	HB (CB高さ) 高さ	D 基礎高	Df 根入れ	B (スラブ幅) 塗装仕様	e 貼り仕様	スラブ厚	b 壁厚
1510	1060 T10	400	400					
	860 T08	600						
1600	1060 T10	400	490					
	860 T08	600						
1710	1260 T12	400	400					
	860 T08	800						
1800	1260 T12	400	120	350	600	650	150	150
	1060 T10	600						
1910	860 T08	800	490					
	1260 T12	600						
2000	1060 T10	800	490					
	860 T08	1000						
2110	1260 T12	800	150	400	650	700	180	180
	1060 T10	1000						
2200	1260 T12	800	490		700	750		
	1060 T10	1000						

■壁縦筋サイズ (※2)

H	1510	1600	1710	1800	1910	2000	2110	2200
鉄筋径	D10				D13			

- ①左図は、標準納まりで片側土圧 (GL高低差) の場合です。GL高低差寸法は最大400mmです。
- ②コンクリートブロックサイズは標準納まりと同様です。縦筋は2m超の場合D13になります。
- ③基礎廻り寸法は上の寸法表を参照してください。
- ④片側土圧を受けるコンクリートブロックは防水タイプを選定してください。(※1)
- ⑤片側土圧を受ける部分のコンクリートブロックの空洞部はモルタルを全充填してください。(※1)
- ⑥地盤は長期許容応力度50kN/m²が必要です。
- ⑦壁縦筋はH1800以下はD10、H1910以上はD13です。(※2)

■寸法表 (mm)

H (GL~)	HW (BW高さ) 高さ	HB (CB高さ) 高さ	CP (型枠状ブロック) 高さ	CB幅	CP幅	D 基礎高	Df 根入れ	B (スラブ幅) 塗装仕様	e 貼り仕様	スラブ厚	b 壁厚
1510	1060 T10	400									
	860 T08	600									
1710	1260 T12	400	120	400	150	550	500	820	780		150
	860 T08	800									
1910	1260 T12	600						780	780		
	1060 T10	800									
2110	860 T08	1000	150	400	180	580	530	750	750		180
	1260 T12	800									
	1060 T10	1000									

■壁縦筋サイズ (※2)

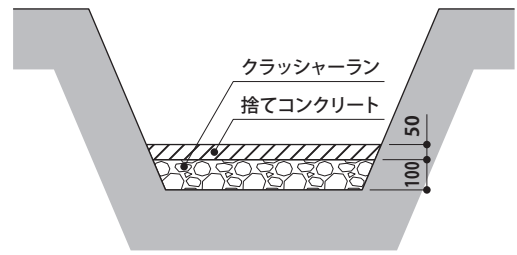
H	1510	1710	1910	2110
鉄筋径	D13			

- ①左図は、立上がり部分を型枠状ブロックにしたコンクリート基礎納まりで片側土圧 (GL高低差) の場合です。GL高低差寸法は最大400mmです。
- ②ブロックサイズ・型枠状ブロックサイズは、型枠状ブロック+コンクリート基礎納まりと同様です。縦筋はD13になります。(※2)
- ③基礎廻り寸法は上の寸法表を参照してください。
- ④片側土圧を受けるコンクリートブロック (※1) と基礎部の型枠状ブロックは防水タイプを選定してください。
- ⑤片側土圧を受ける部分のコンクリートブロックの空洞部はモルタルを全充填してください。(※1)
- ⑥地盤はH1910以下で長期許容応力度50kN/m²が必要です。H2110では長期許容応力度70kN/m²が必要です。

2.基礎工事の施工手順

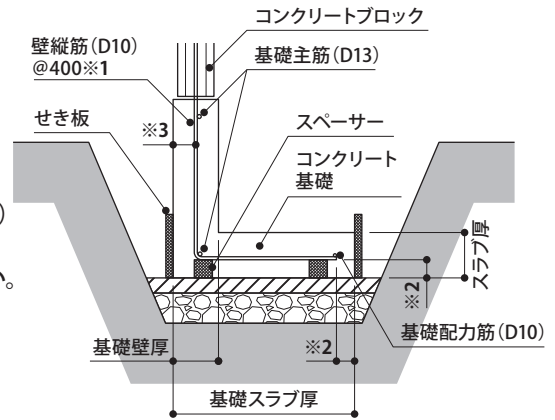
1.根切り・地業

- ブロックオンウォール+ブロック塀を設置する箇所に根入れ寸法+クラッシャーラン (100mm程度) +捨てコンクリート (50mm程度) の深さまで掘削してください。
- 掘削後、クラッシャーランを敷き均して、しっかり転圧してください。(R-40もしくはRC-40)
- 転圧後、捨てコンクリートを打設し、上面を平らに仕上げてください。(Fc=18N/mm²以上) ※注意:根入れ寸法は必ず守ってください。



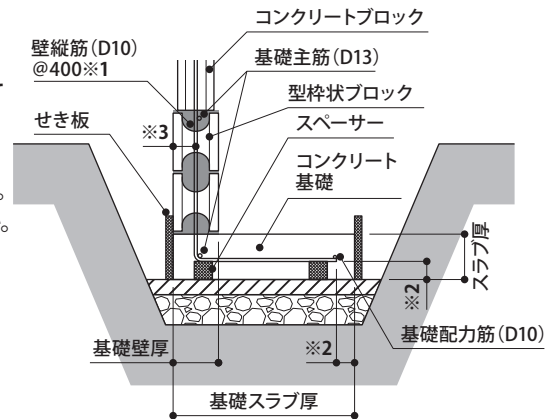
2.型枠・鉄筋の配置 (コンクリート基礎)

- 捨てコンクリートが硬化後、型枠 (せき板) と鉄筋を基礎寸法表と右図を参照し、配置してください。
- 壁鉄筋は基礎立上壁の中央、コンクリートブロックの中央に配置してください。縦筋サイズ (※1) は各基礎詳細図、及び片面土圧 (GL高低差) の寸法表を参照してください。(※3=基礎壁厚/2)
- 基礎スラブ部分の鉄筋のかぶり厚は60mm (※2) 以下にしないでください。
- 設定の厚みにコンクリートを打設してください。(コンクリート強度Fc=21N/mm²以上)



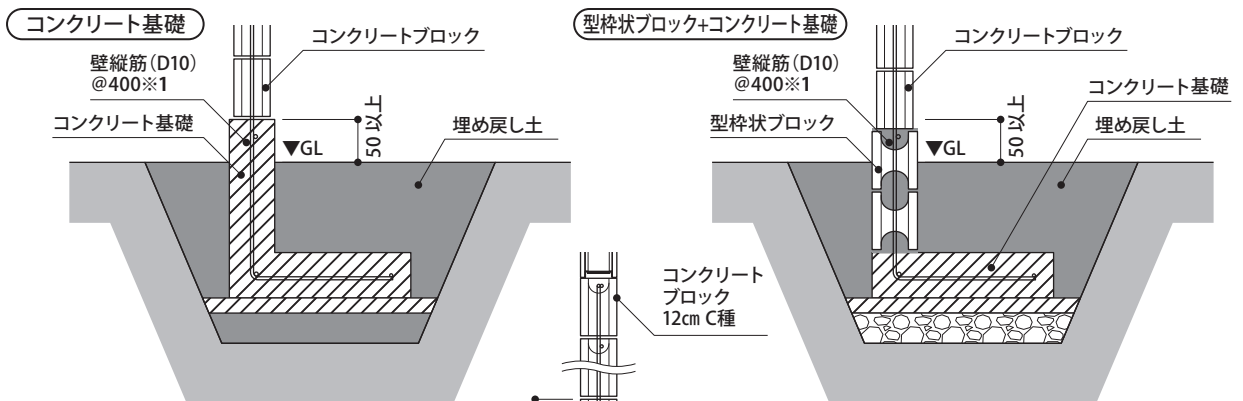
3.型枠・鉄筋の配置 (型枠状ブロック+コンクリート基礎)

- 捨てコンクリートが硬化後、型枠 (せき板) と鉄筋を基礎寸法表と右図を参照し、配置してください。
- 壁鉄筋は型枠状ブロックの中央、コンクリートブロックの中央に配置してください。縦筋サイズ (※1) は各基礎詳細図を参照してください。(※3=型枠状ブロック厚/2)
- 基礎スラブ部分の鉄筋のかぶり厚は60mm (※2) 以下にしないでください。
- コンクリートを打設し、養生後型枠状ブロック積み工事を行ってください。(コンクリート強度Fc=21N/mm²以上)
- 型枠状ブロックの空洞部には、コンクリートを全充填してください。



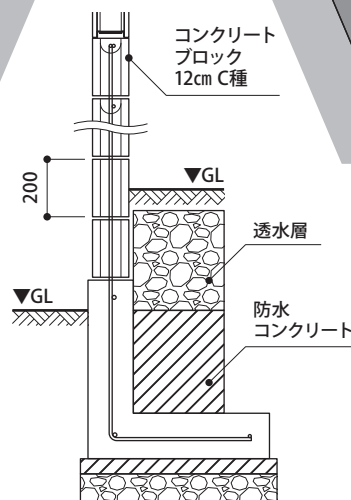
4.埋め戻し・コンクリートブロック組積

- 基礎部コンクリート・型枠状ブロック充填コンクリートの養生後、土を埋め戻して転圧してください。埋め戻し土が強度不足の場合、土の改良をしてください。
- 埋め戻し後、ブロックの組積を行ってください。



5.片側土圧 (GL高低差) の注意事項

- 根切り・地業→型枠・配筋の配置→打設 (型枠状ブロック組積) →養生後、必要に応じて右の図のような排水処理工事を行ってください。工事の内容は各ブロックメーカーの要領手順にそって行ってください。最後に土を埋め戻してください。



3.BW柱の建込み前の確認

⚠ 注意 必ずBW柱建て込み前に下記を確認してください。

1.電気配線の有無確認 **参照** P.41・42

照明・インターホン等の取り付けにて配線が必要な場合は、BW柱を建て込む前に必ずP.41・42を参照に行ってください。(BW柱の建て込み後では、配線できない場合があります。)

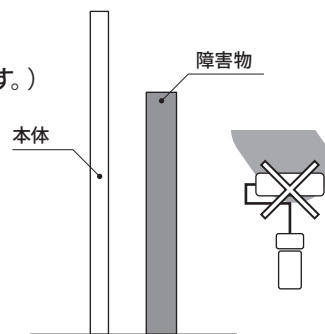
2.障害物等の有無確認

障害物や高所作業の足場設置不可により本体の塗装やタイル等の貼付けができない場合、片面工場塗装タイプで対応してください。

3.片側埋込み仕様の場合 **参照** P.21

GLレベル差400mmまではコンクリートブロック部で対応してください。

400mmを超える場合は施工ができません。また、PSパネルW08で土圧は受けられません。ご注意ください。



4.BW柱の建込み

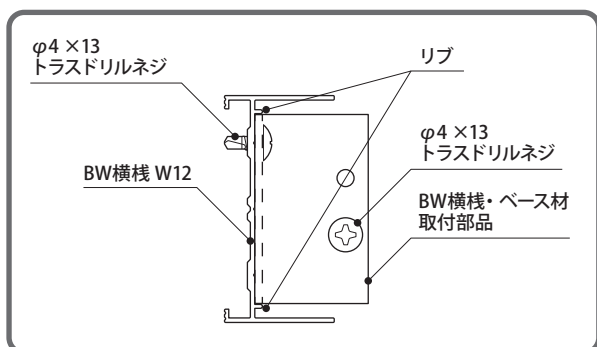
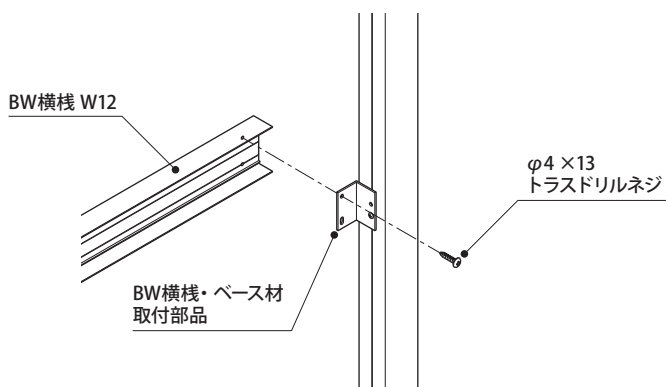
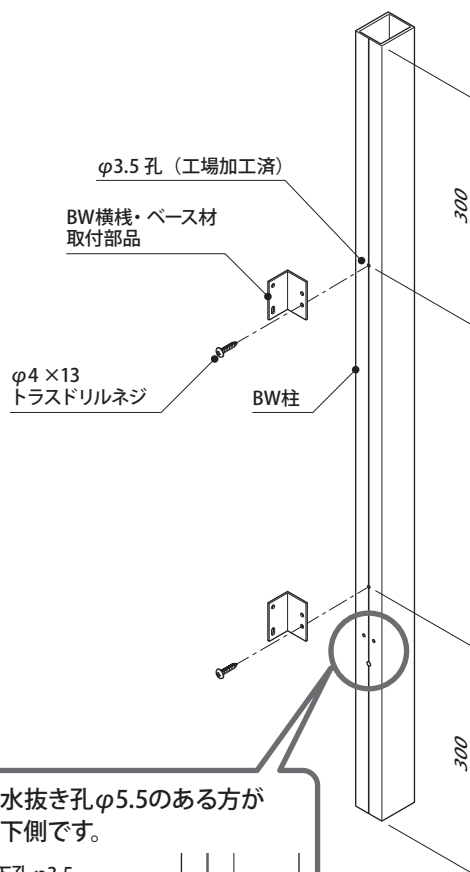
1.BW柱とBW横棧W12の仮付け

- 打設前にBW柱の建て込みと同時にBW横棧W12を組み付けて、BW柱ピッチ (1200mm) 出しを必ず行ってください。
- BW横棧W12を2か所、BW柱の下孔φ3.5の位置に取り付けてください。(右図参照)
- BW横棧W12とBW横棧・ベース材取付部品は、P.27を参照して取り付けてください。
- 最後のBW横棧12は、P.30を参照し必要に応じ切り詰め作業を行ってください。
- フリー切詰めがある場合は、P.33を参照してBW横棧W12の切り詰め作業を行ってください。

ご注意

※モルタルやグラウト (充てん) コンクリートには、塩分を含む砂 (海砂) および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤 (凍結防止剤・凝固促進剤・急結材など) は使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

部材名	梱包名称
BW柱	BW柱 (1本入) セット
BW横棧W12	BW横棧W12 (1本入) セット
BW横棧・ベース材取付部品 φ4×13トラスドリルネジ	



水抜き孔φ5.5のある方が下側です。

下孔φ3.5 (BW横棧・ベース材取付部品取付け用)

水抜き孔φ5.5

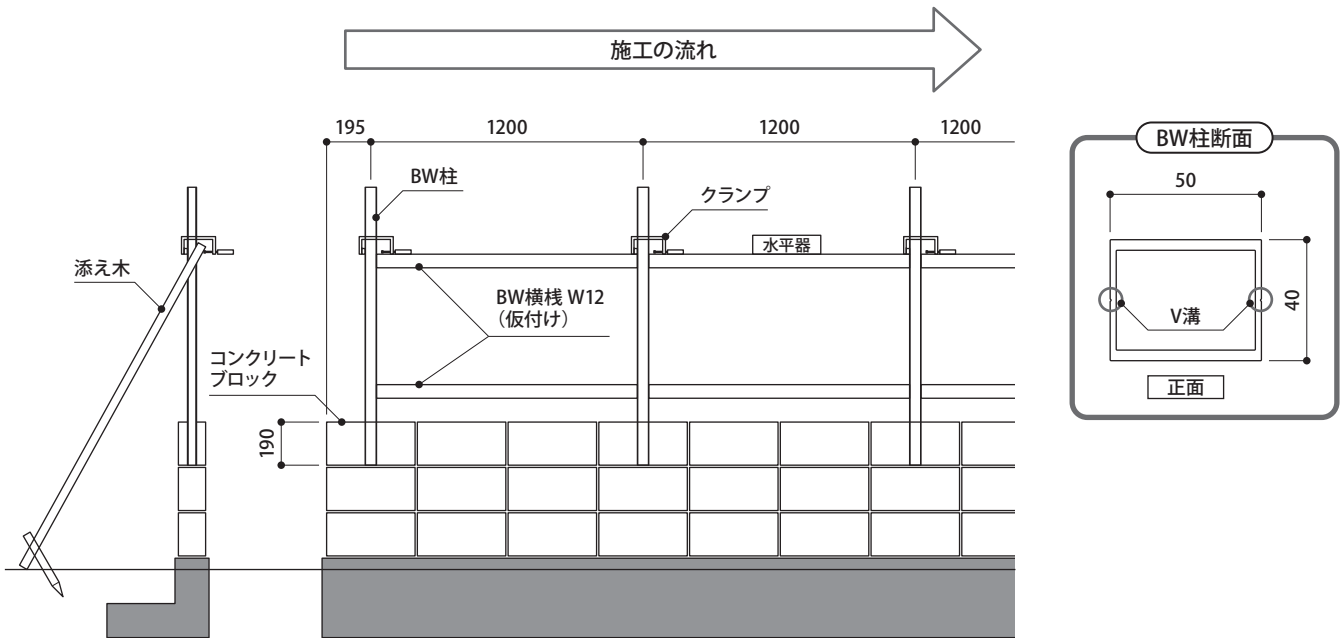
4.BW柱の建込み

2.BW柱の建込み

- BW柱の固定は添え木をクランプでBW柱上部に取り付けて、しっかり保持してください。(下図参照)
- BW柱の埋め込み寸法は190mmです。
- 端部のBW柱芯位置はブロック端から195mmです。
- BW柱はV溝のない面が正面です。(右下図)

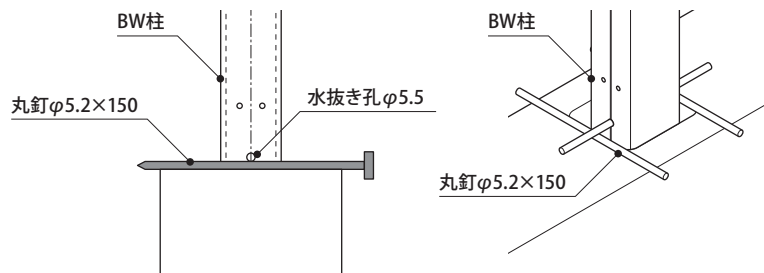
参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35



●ワンポイントアドバイス●

BW柱のφ5.5水抜き孔は、右図のように市販の丸釘φ5.2×150を用いて位置出し(目安)することができます。

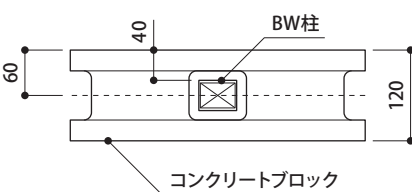


⚠ 注意 必ずBW柱とBW横棧W12の垂直・水平・レベル出しを正確に行ってください。

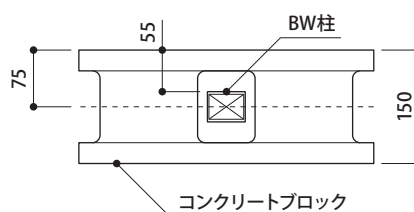
3.BW柱とコンクリートブロックの配置位置

- コンクリートブロックが12cm幅の場合、BW柱は正確にブロック中央に正確に固定してください。(本取付説明書は、コンクリートブロックが12cmの時を基本に説明します。)
- コンクリートブロックが15cm幅の場合、下図のように中央配置、又は片寄せ配置位置に正確に固定してください。PSパネルW08(幅12cm)とコンクリートブロック(幅15cm)には段差が出る仕上がりになります。
- 下図の寸法を正確に出して施工してください。

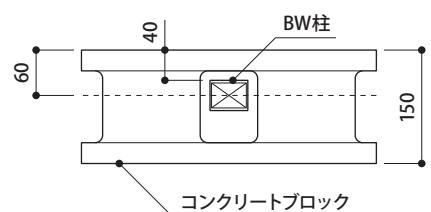
●12cm中央配置



●15cm中央配置



●15cm片寄せ配置



※BW柱位置の施工誤差は、±2mm以内になしてください。

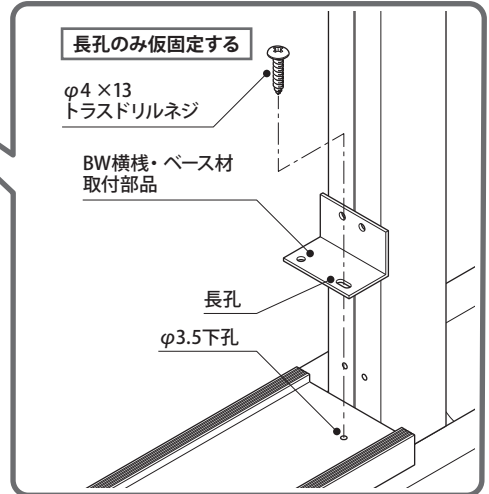
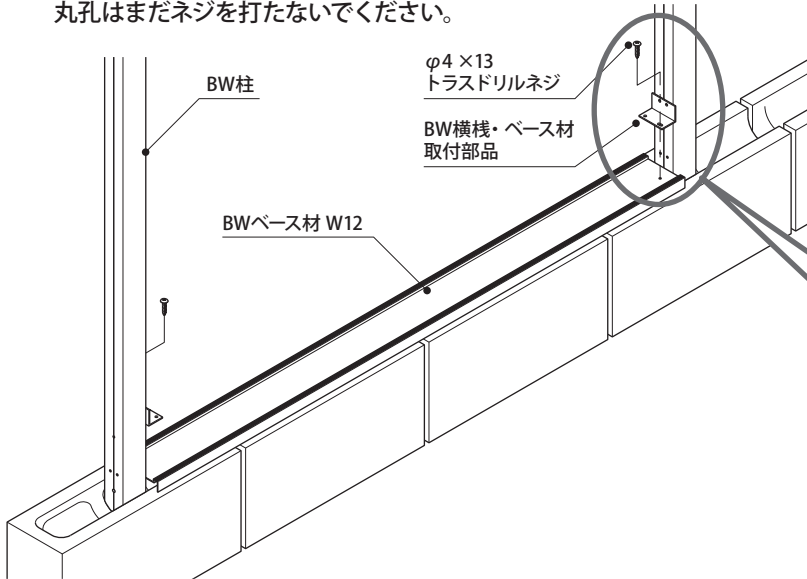
- 打設後、セメントモルタルが固定したことを確認して、取り付けしたBW横棧W12は外してBWベース材W12、PSパネルW08の組み立てを行ってください。

5.本体の施工

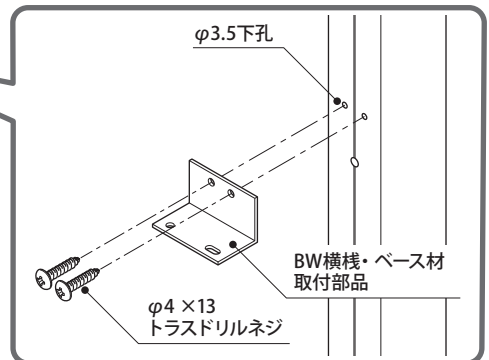
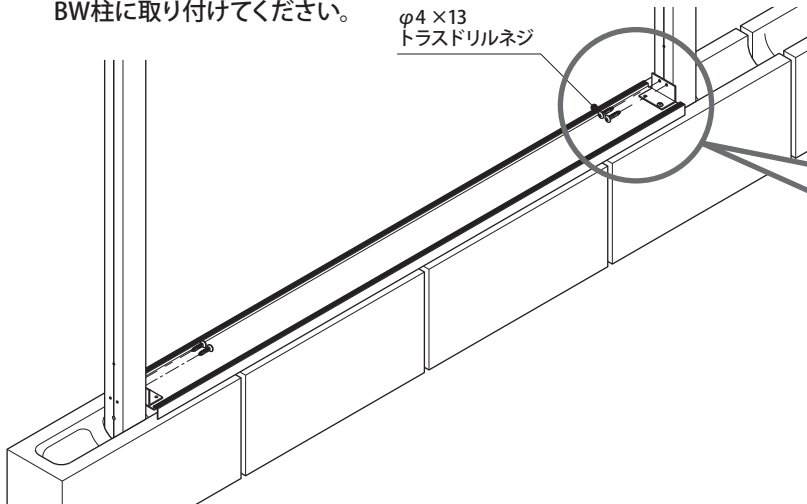
1.BWベース材W12の取付

- ①下図のように、BWベース材W12をBW柱とBW柱の間に置いてください。
- ②BW横棧・ベース材取付部品を、 $\phi 4 \times 13$ トラスドリルネジでBWベース材W12と仮固定してください。長孔のみで仮固定し、丸孔はまだネジを打たないでください。

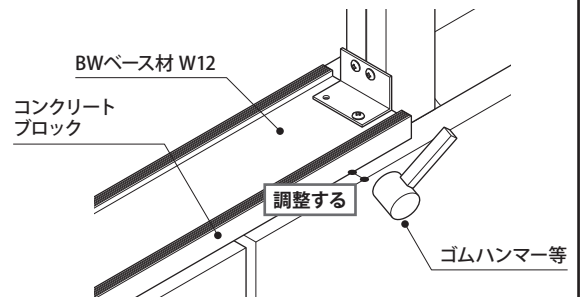
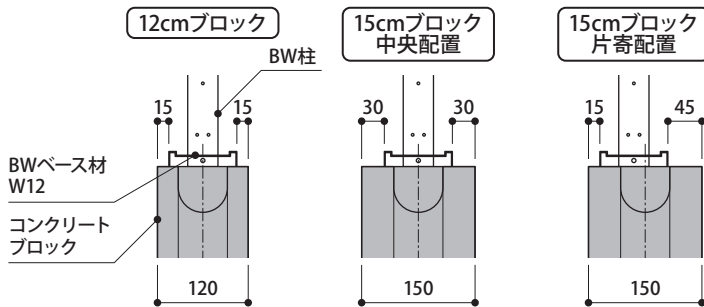
部材名	梱包名称
BWベース材W12	BWベース材W12 (1本入) セット
BW横棧・ベース材取付部品	
$\phi 4 \times 13$ トラスドリルネジ	
$\phi 4 \times 45$ コンクリートネジ	



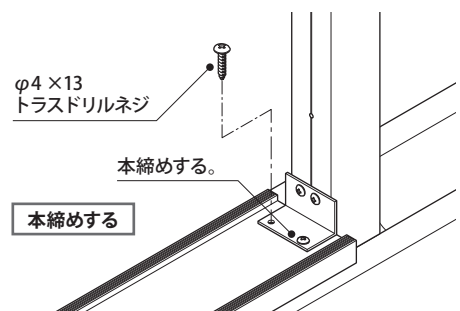
- ③BW横棧・ベース材取付部品を、 $\phi 4 \times 13$ トラスドリルネジでBW柱に取り付けてください。



- ④ゴムハンマー等を用いて、BWベース材W12とコンクリートブロックの位置を、下図のように調整してください。

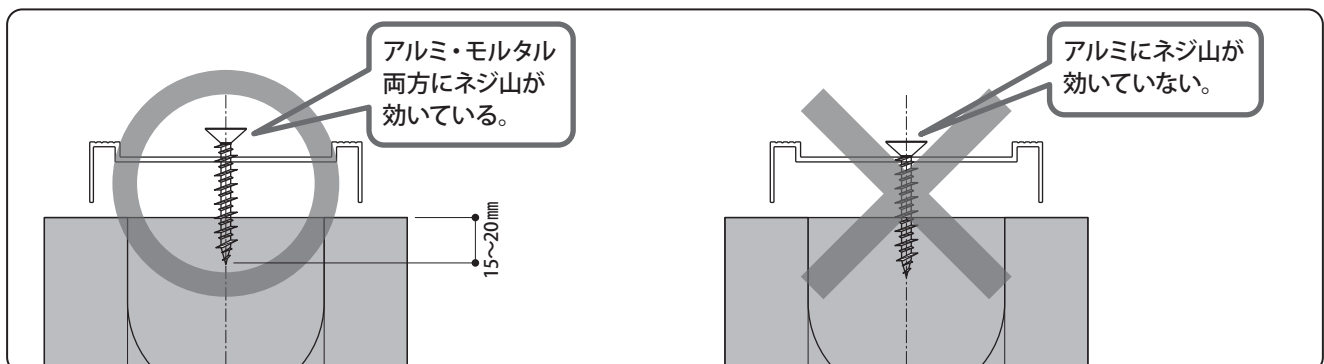
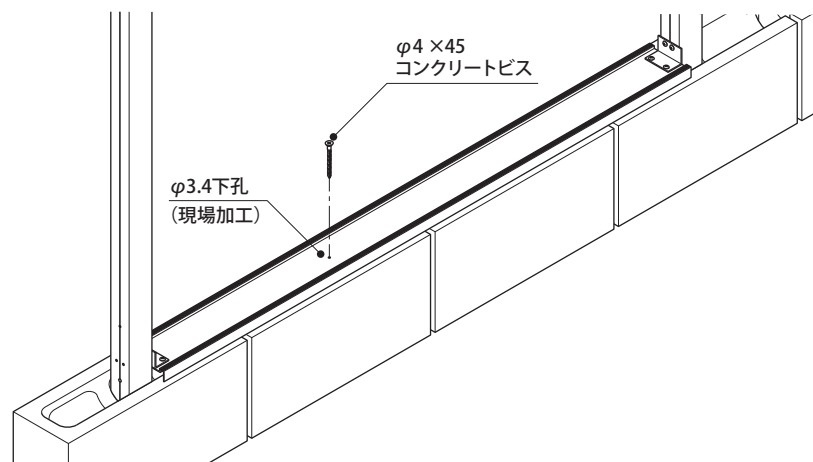
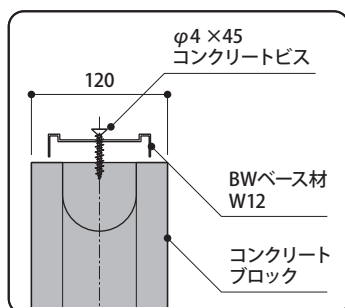
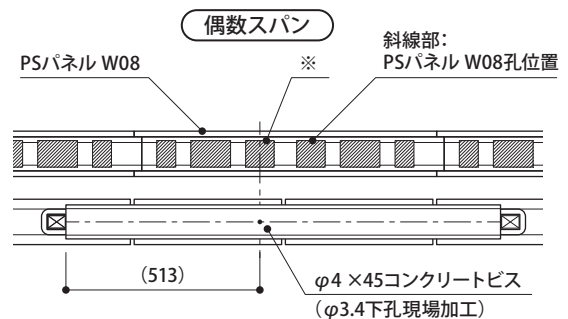
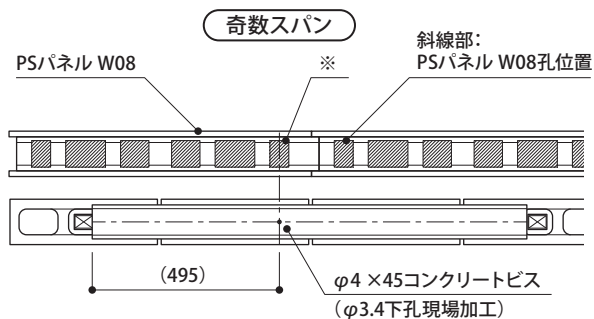
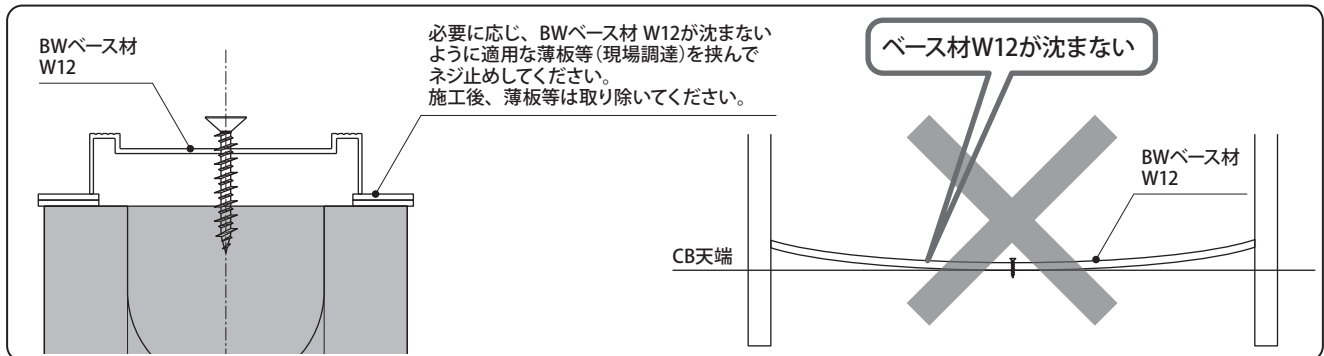


- ⑤位置が決まったら、長孔部のネジを締めて固定してください。BW横棧・ベース材取付部品の丸孔部を、 $\phi 4 \times 13$ トラスドリルネジで固定してください。固定時にBWベース材W12が動かないよう注意してください。



5.本体の施工

- ⑥下図を参照し、PSパネルW08を仮置きしPSパネルW08の孔部の位置を確認してください。
- BWベース材W12の中心に近いPSパネルW08孔部（斜線部）の位置※で、BWベース材W12と直下のモルタル部にφ3.4で下孔加工してください。
 - φ4×45コンクリートビスを用いて、BWベース材W12とモルタル部の両方にネジが効くように固定してください。
 - BWベース材W12がたわまないようビス止め付近に適当な薄板等をはさんでねじ止めしてください。
必要に応じ、BWベース材W12が反らないように適当な薄板等（現場調達）を挟み込んで施工してください。
施工後、薄板等は取り除いてください。



- ⑦2スパン目以降も同様に取り付けてください。

参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32~35

5.本体の施工

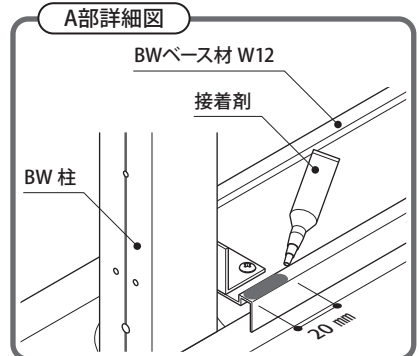
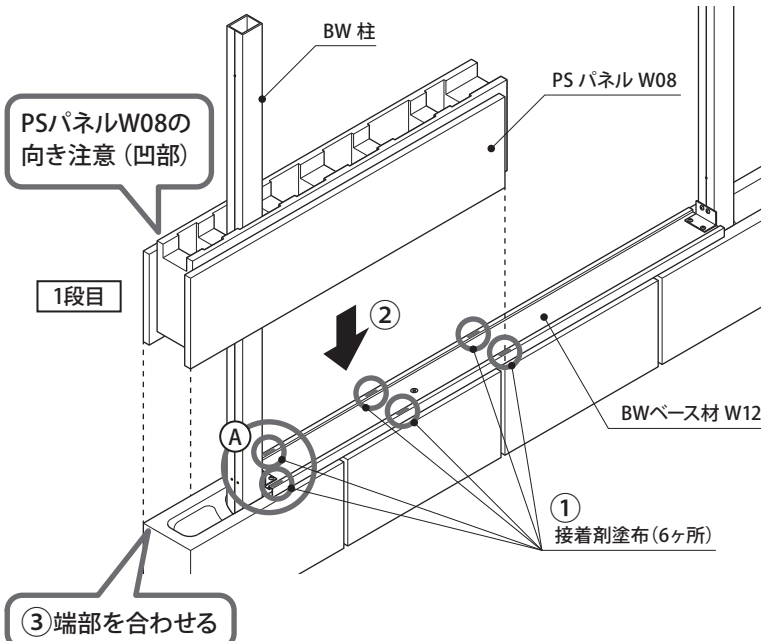
2.PSパネルW08の組付 (1段目、1列目)

- ①下記を参照し、BWベース材W12に20mm幅で、PSパネルW08・1枚につき6ヶ所接着剤を塗布してください。
- ②BW柱を通してPSパネルW08を上から挿入し、BWベース材W12の上に組み付けてください。PSパネルW08の向きに注意してください。
- ③PSパネルW08の端部面とコンクリートブロックの端部面を合わせてください。
※電気配線や開口部現場加工がある場合は、下の項目のページを参照してください。

部材名	梱包名称
PSパネルW08	BW用PSパネルW08セット (生地)
PSパネルW08 (片面塗装)	BW用PSパネルW08片面塗装セット

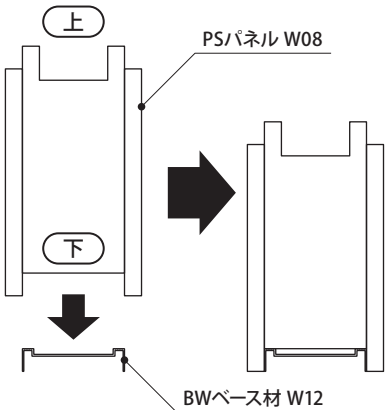
参照

電気配線：P.41・42、開口部現場加工：P.45～55



ご注意

PSパネルW08の上下を確認し、BWベース材W12にガタつきが無いようにしっかり組み付けてください。

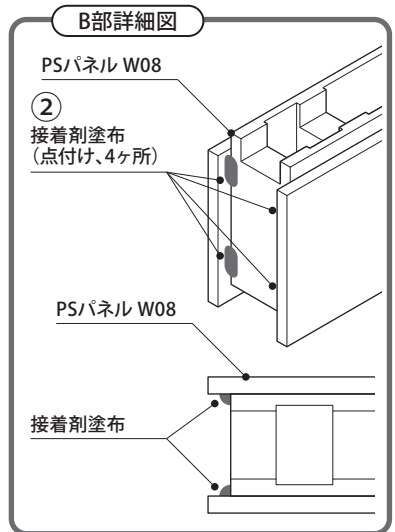
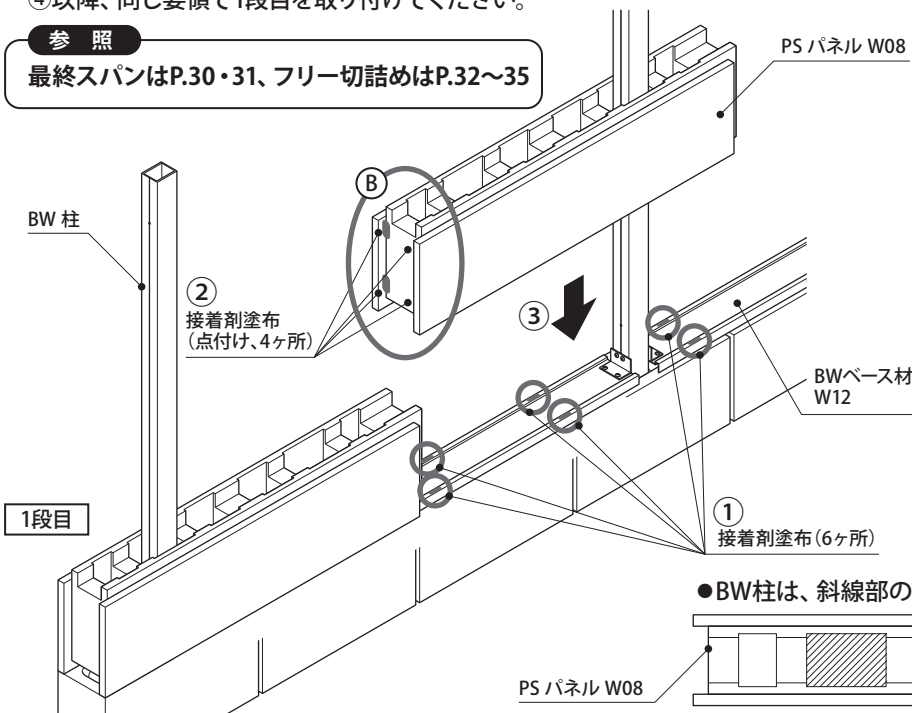


3.PSパネルW08の組付 (1段目、2列目以降)

- ①下図を参照し、BWベース材W12に、2-①同様に6ヶ所接着剤を塗布してください。
- ②PSパネルW08同士の横方向の筋合部に4ヶ所、接着剤を点付けてください。
- ③BW柱を通してPSパネルW08を上から挿入し、BWベース材W12の上に組み付けてください。
- ④以降、同じ要領で1段目を取り付けてください。

参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35



5.本体の施工

4.PSパネルW08の組付 (2段目)

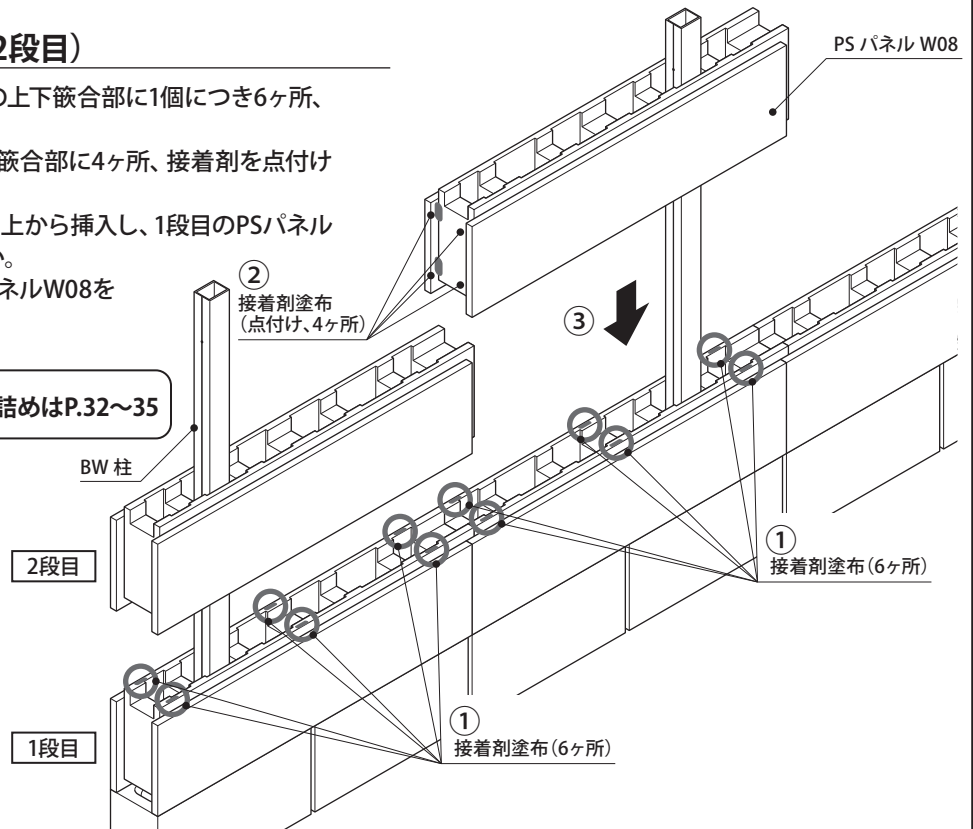
- ①下図を参照し、PSパネルW08の上下嵌合部に1個につき6ヶ所、接着剤を塗布してください。
- ②PSパネルW08同士の横方向の嵌合部に4ヶ所、接着剤を点付けしてください。
- ③BW柱を通してPSパネルW08を上から挿入し、1段目のPSパネルW08の上に組み付けてください。
- ④以降、同じ要領で2段目のPSパネルW08を取り付けてください。

参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35

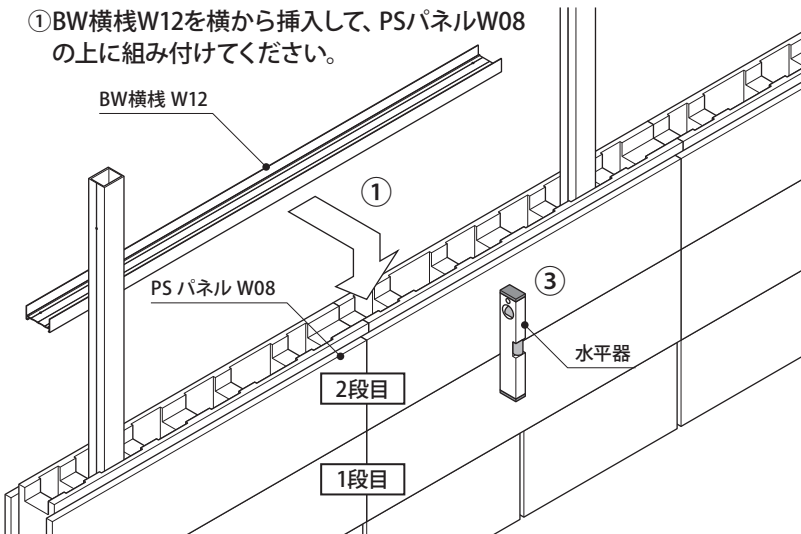
参照

BW横棧W12は、PSパネルW08
・2段ごとに組み付けます。
P.29参照



5.BW横棧W12の組付

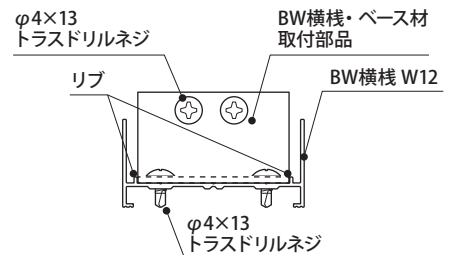
- ①BW横棧W12を横から挿入して、PSパネルW08の上に組み付けてください。



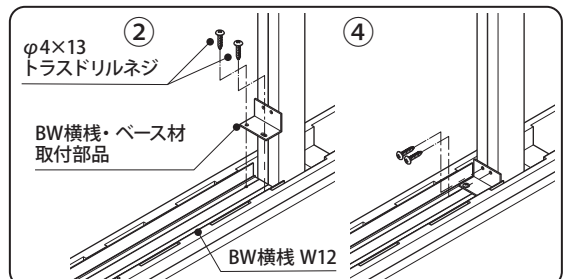
部材名	梱包名称
BW横棧・ベース材取付部品	BWベース材W12 (1本入) セット
BW横棧W12	BW横棧W12 (1本入) セット
φ4×13トラスドリルネジ	

ご注意

※BW横棧・ベース材取付部品は、BW横棧12のリブの間に取り付けてください。

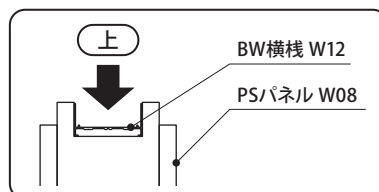
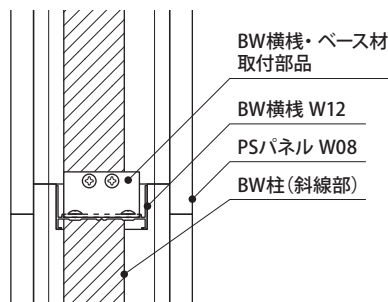


- ②BW横棧W12の両端に、BW横棧・ベース材取付部品をφ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。
- ③PSパネルW08の垂直出しを行ってください。
- ④BW横棧W12が浮かないようにPSパネルW08にBW横棧W12を押し付けて、BW横棧・ベース材取付アングルをφ4×13トラスドリルネジでBW柱に取り付けてください。
- ⑤以降、同じ要領で取り付けてください。



●ワンポイントアドバイス●

BW柱の位置が、センターからズレていたり、傾きがある場合、BW横棧・ベース材取付部品は必ずしも柱芯になりません。PSパネルW08の垂直を優先して、BW横棧・ベース材取付部品とBW横棧をBW柱に固定してください。



参照

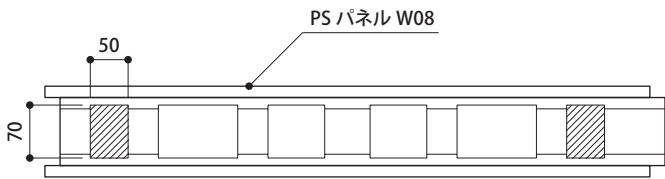
最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35

5.本体の施工

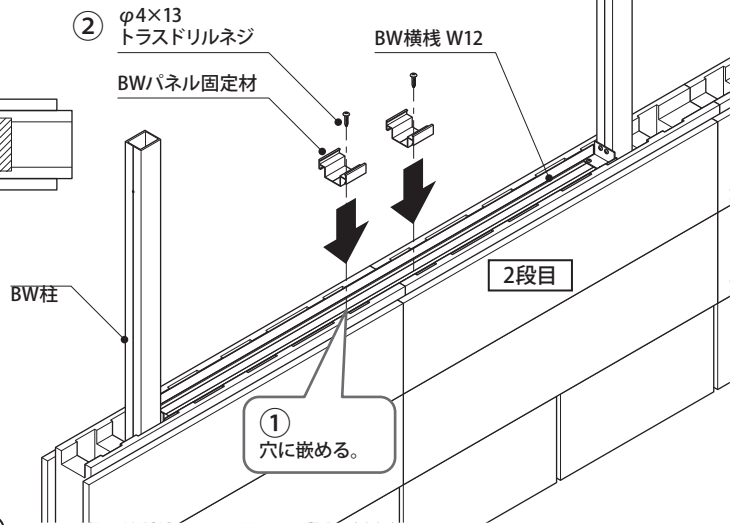
6.BWパネル固定材の組付

- ①右下図を参照し、PSパネルW08、1枚につき1個以上のBWパネル固定材を嵌めてください。
- ②BW横棧W12にφ4×13トラスドリルネジで固定してください。

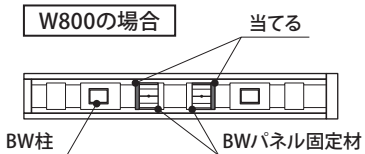
部材名	梱包名称
BWパネル固定材	BW横棧W12 (1本入) セット
φ4×13トラスドリルネジ	



●BWパネル固定材は、斜線部の穴に嵌めます。

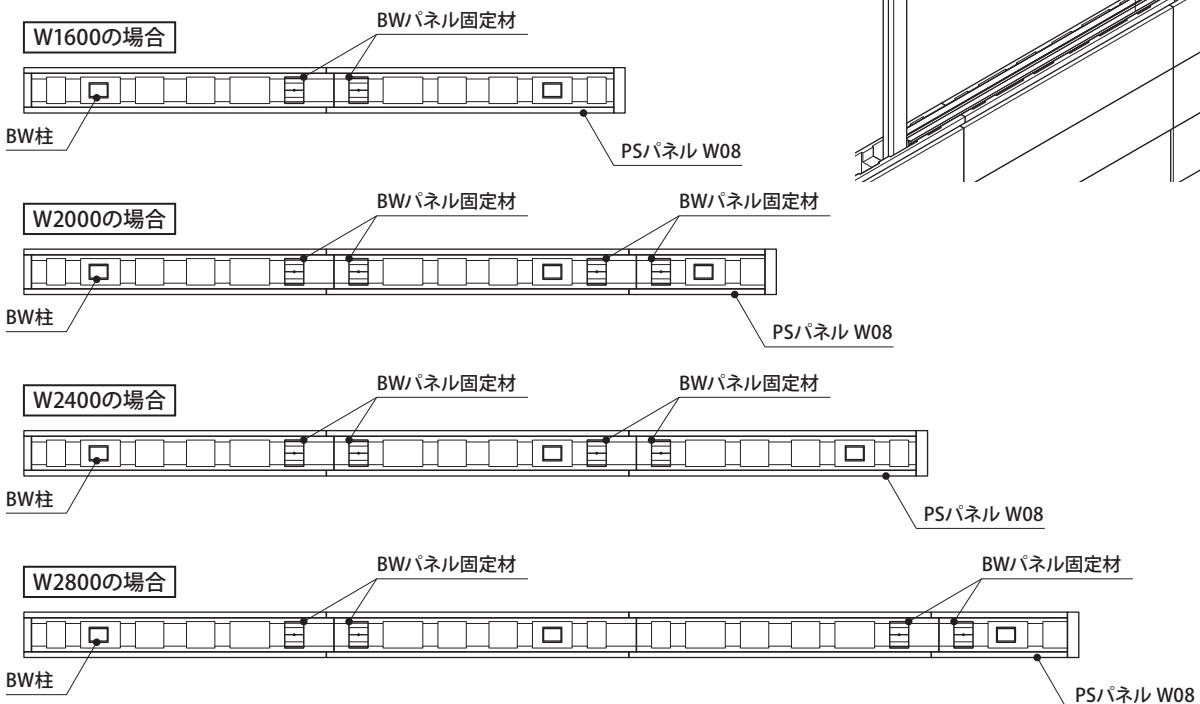


下図のW800の場合のように、上記説明の50×70の穴位置にBW横棧W12がなくBWパネル固定材を取り付けられない場合、中央の穴2つを用い、左右の面に当てて固定してください。



ご注意

- ※BWパネル固定材は、BW柱とPSパネルW08の取り合いにより、固定位置が変わります。(右図)
下図を参考に、少なくとも1個のBWパネル固定材がPSパネルW08、1枚に組み込むように配置してください。



5.本体の施工

7.PSパネルW08・BW横棧W12・BWパネル固定材の組付 (3段目～)

①PSパネルW08 (3段目・4段目) の組付

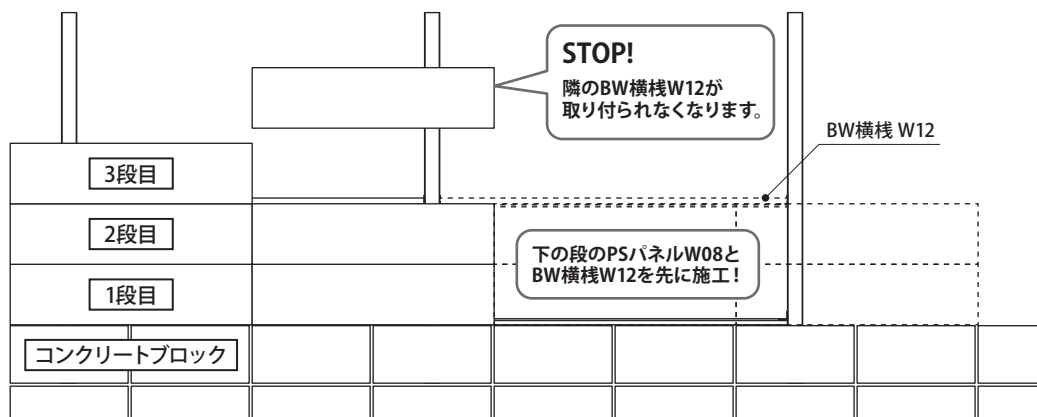
P.27 「5.本体の施工-4」の要領で、3段目・4段目のPSパネルW08を組み付けてください。

参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35

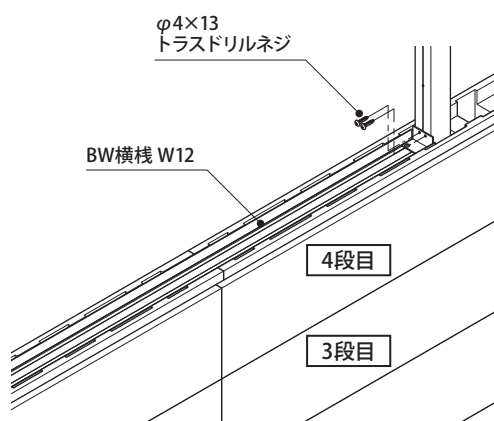
ご注意

※下の段のBW横棧W12・BWパネル固定材の組み付け忘れがないか、確認してください。



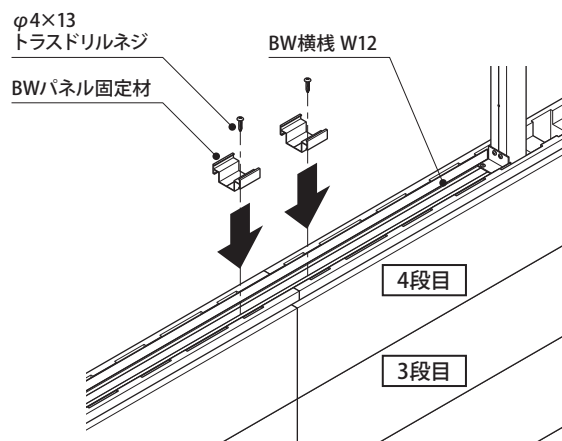
②BW横棧W12の組付

P.27 「5.本体の施工-5」の要領で、BW横棧W12を組み付けてください。



③BWパネル固定材の組付

P.28 「5.本体の施工-6」の要領で、BWパネル固定材を組み付けてください。



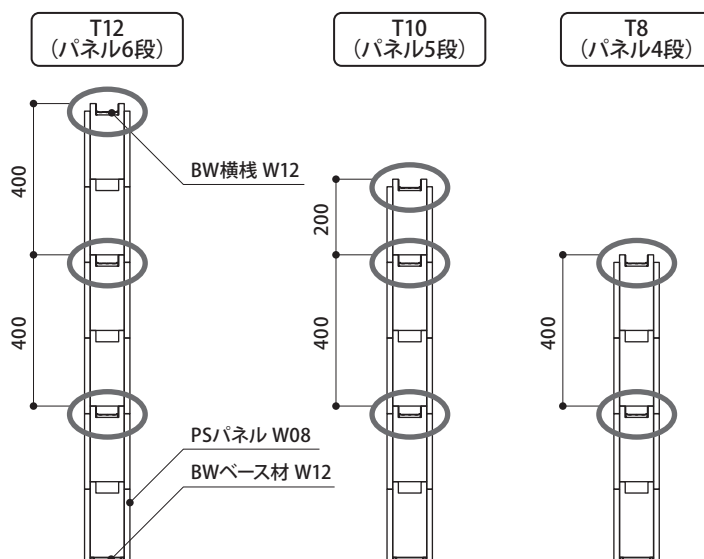
④PSパネルW08 (5段目・6段目)・BW横棧W12・BWパネル固定材の組付

同じ要領で、5段目・6段目のPSパネルW08・BW横棧W12・BWパネル固定材を組み付けてください。

●ワンポイントアドバイス●

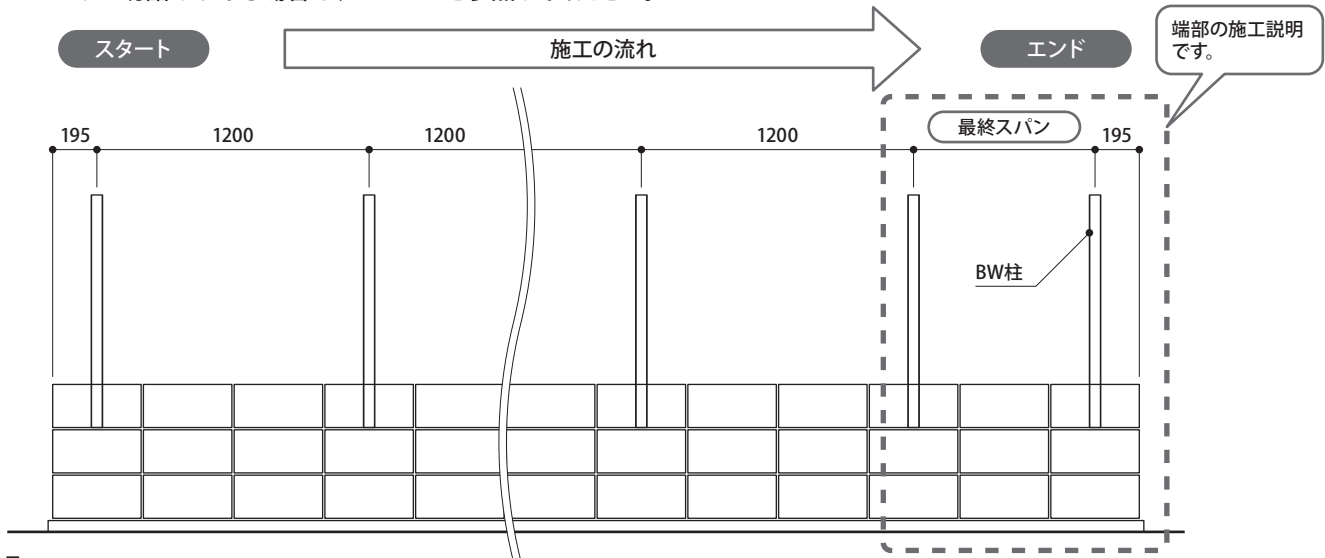
BW横棧W12は、PSパネルW08、2段ごとに組み付けます。

T10 (PSパネルW08が5段) の場合、最上段のみ、PSパネルW08、1段でBW横棧W12を組み付けます。



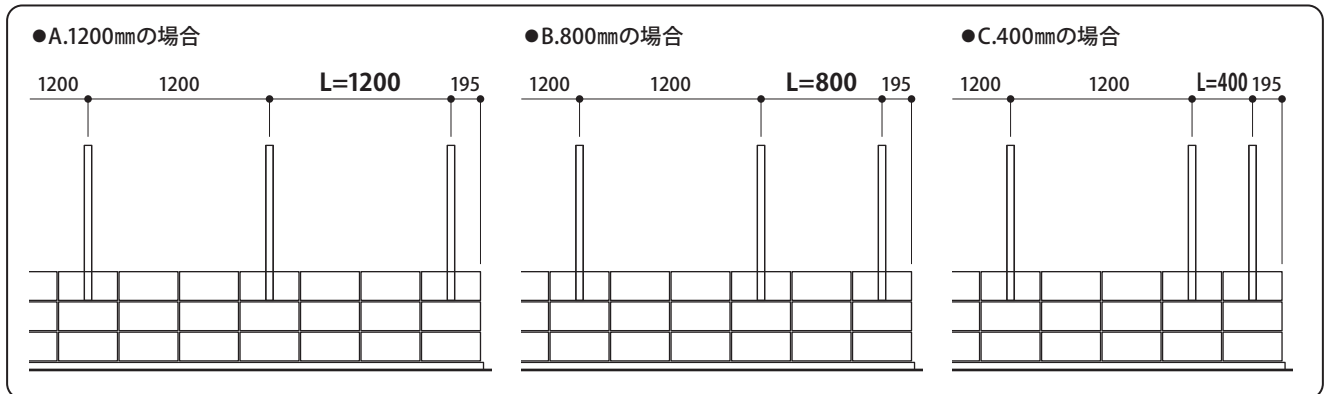
6.本体の施工 (最終スパンの部材加工)

■以下は、コンクリートブロックが400mmピッチの場合の最終スパンの説明です。
フリー切詰めがある場合は、P.32~35を参照してください。



1.BWベース材W12・BW横棧W12の切詰め加工

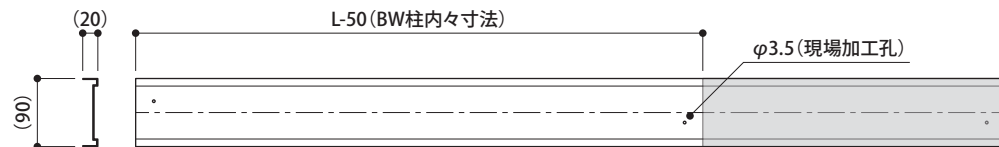
①最終スパンのBW柱ピッチは、下記A~Cの3通りです。現場の納まりを確認してください。



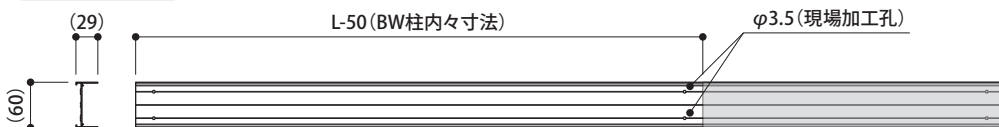
※上記寸法でない場合、フリー切詰めP.32~35をご覧ください。

②確認したBW柱ピッチに合わせ、下記寸法でBWベース材W12とBW横棧W12を切断してください。

BWベース材W12



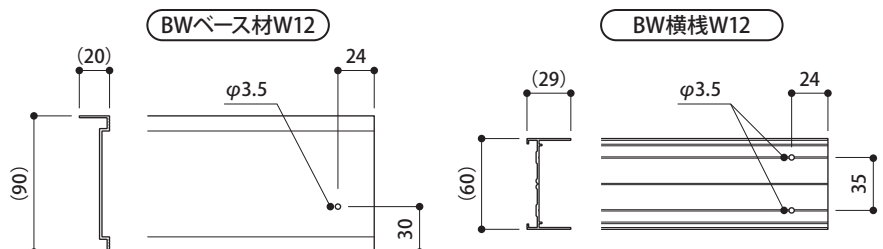
BW横棧W12



	切断寸法L-50 (mm)
A	切断なし
B	750
C	350

●「1.BWベース材W12・BW横棧W12の切詰め加工」のA・B・Cと、上表のA・B・Cは紐づきます。

③カット後、右図のようにBWベース材W12とBW横棧W12のカットした側に、孔加工をしてください。

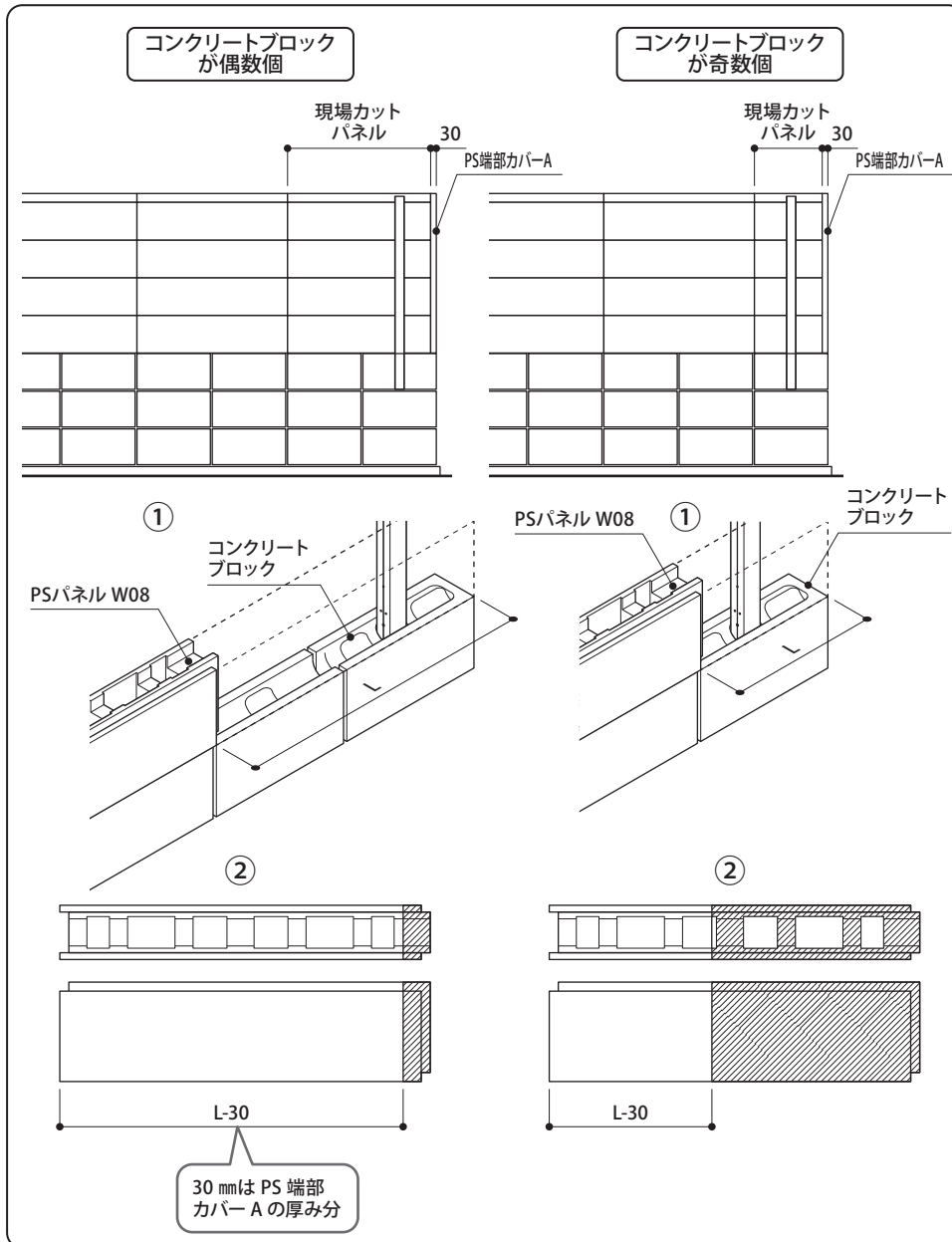


6.本体の施工 (最終スパンの部材加工)

2.PSパネルW08・PS笠木W08の切詰め加工

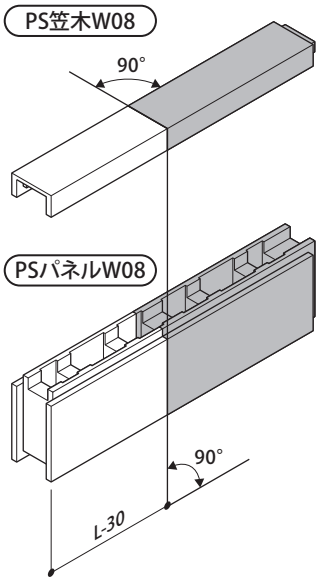
※最終スパンのPSパネルW08・PS笠木W08の納まりは、下記の2通りです。

- ①下図を参照し、隣のPSパネルW08端部と、コンクリートブロック端部の距離Lを確認してください。
- ②下図を参照し、L-30mmでPSパネルW08を切断してください。
- ③2段目以降のPSパネルW08、PS笠木W08も同様に切断加工してください。



ご注意

- ※直角・垂直にカットしてください。
- ※PSパネルW08の向きにご確認ください。



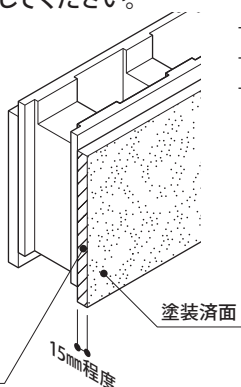
※PS端部カバーAの厚み寸法30mmは、カット品の為、数ミリ前後することがあります。

- 塗装済パネルをカットした場合
小口補修セットを用いて、小口部分に塗装してください。

- ①プライマーの塗布
切断した小口の塗装側15mm程度にプライマーを塗布してください。乾燥を確認後、次工程に進んでください。

- ②着色塗料の塗布
プライマーを塗布した部分に、着色塗料を塗布してください。乾燥を確認後、次工程に進んでください。

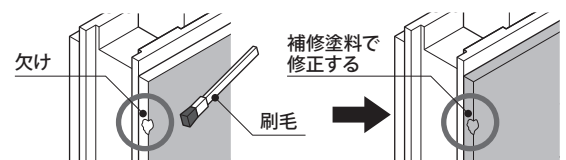
カット面に塗布
①プライマー
②着色塗料



部材名	梱包名称
プライマー (100ml)	小口補修セット
着色塗料 (100ml)	
補修塗料 (100ml)	
刷毛	

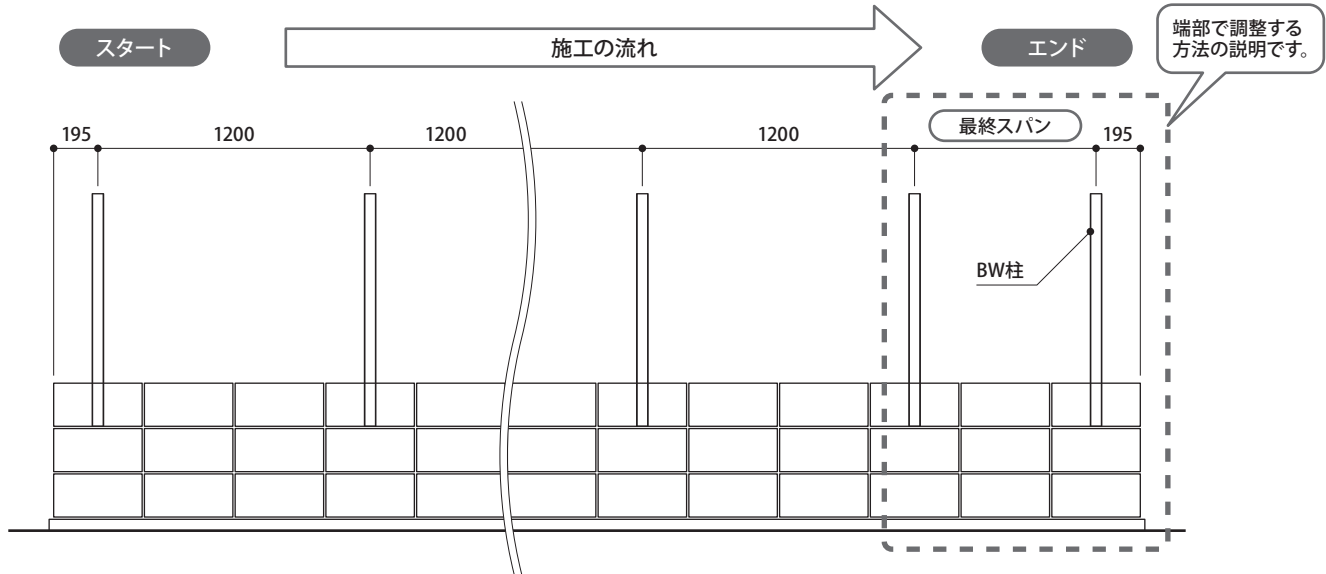
※片側切り詰めで1セットにつき70パネル分の小口に塗装できます(目安)。小口補修セットには、プライマー・着色塗料・補修塗料・刷毛1本が含まれています。刷毛は洗浄しながら使うか、必要に応じ買い足してください。

- ③補修塗料の塗布
切断時に塗面の角に欠けなどできた場合は、①②の後に補修塗料で修正してください。特に欠けなどない場合は、この工程は必要ありません。



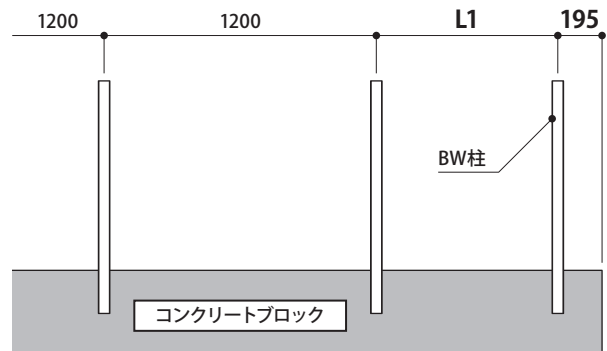
7.本体の施工 (フリー切詰め部材加工)

■以下は、400mmピッチ以外で切り詰める場合の最終スパンの説明です。

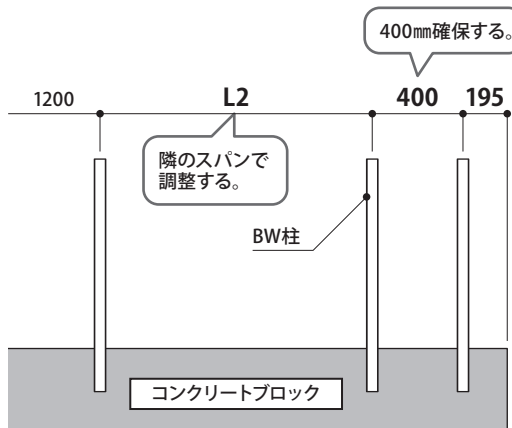


1.BW柱ピッチの確認

- ①最端部のBW柱は、コンクリートブロック端部から195mm (柱芯) に必ず設置します。
最端部のBW柱の位置を確認してください。
- ②右図のように最端部のBW柱と隣のBW柱のピッチL1を確認してください。

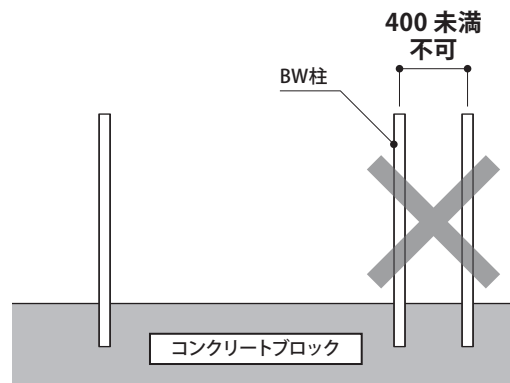


BW柱ピッチは400mm未満にしないでください。
切り詰め量が足りない場合、下図のように最終スパン400mmを確保し、隣のスパンL2で切り詰めてください。



ご注意

BW柱ピッチが400mm未満になると、PSパネルW08が組み付けできなくなります。



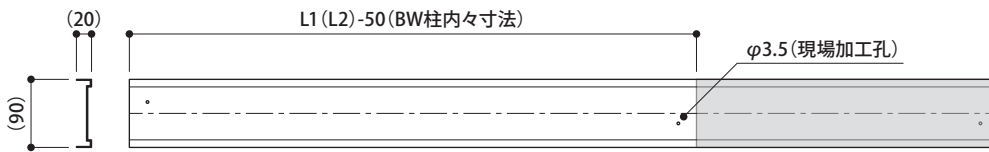
※BW柱は、縦筋と同じ位置にならないようにしてください。

7.本体の施工 (フリー切詰め部材加工)

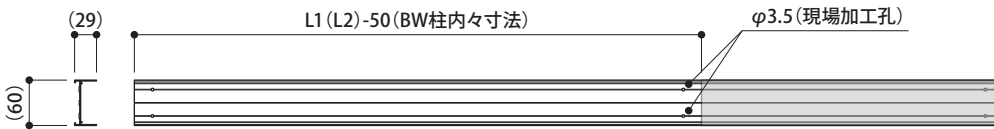
2.BWベース材W12・BW横棧W12の切詰め加工

①確認したBW柱ピッチに合わせて、下記寸法でBWベース材W12とBW横棧W12を切断してください。

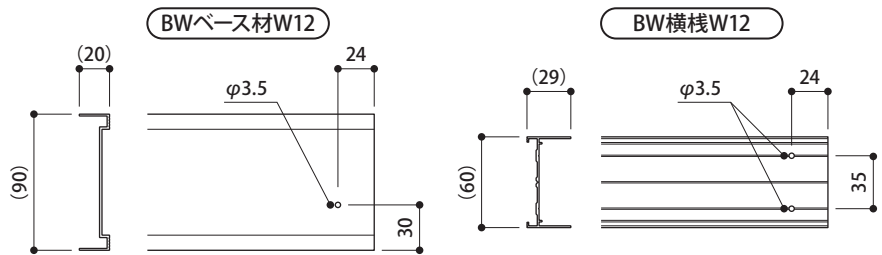
BWベース材W12



BW横棧W12

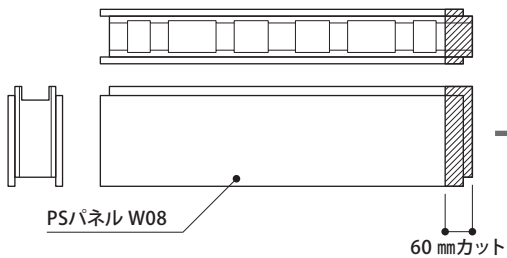


②カット後、右図のようにBWベース材W12とBW横棧W12のカットした側に、孔加工をしてください。

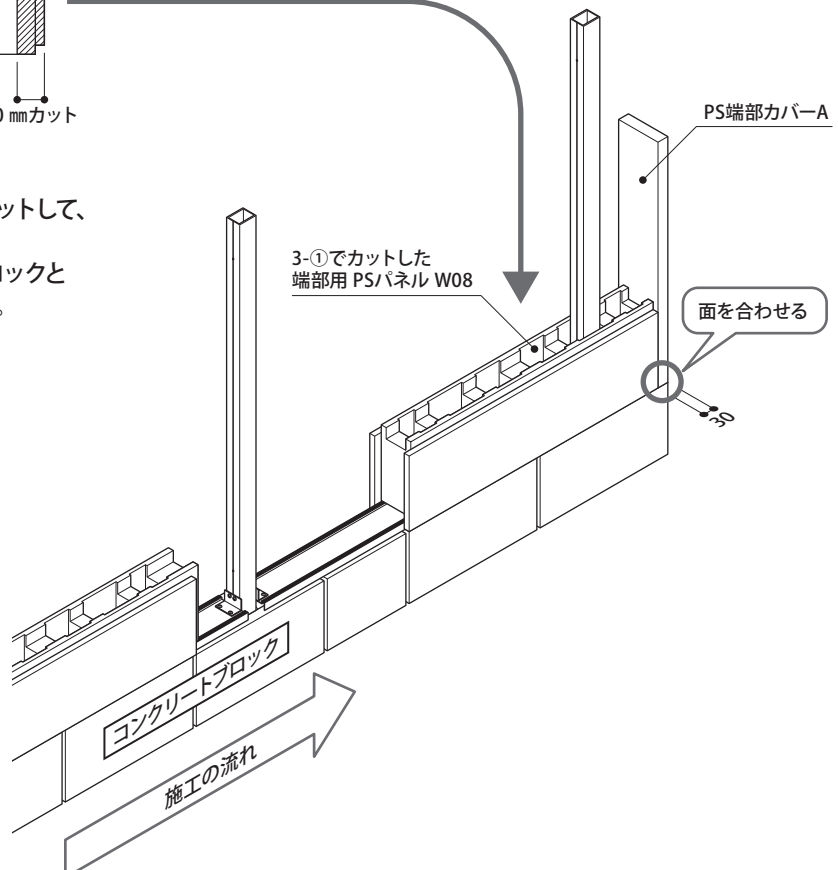


3.PSパネルW08・PS笠木W08の切詰め加工・組付

①下図のように、PSパネルW08を切断し、端部用パネルを作成してください

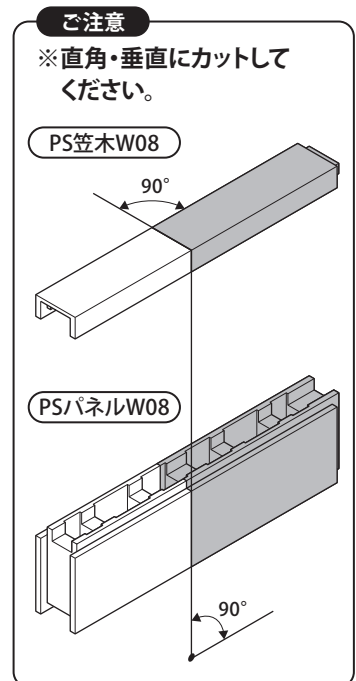
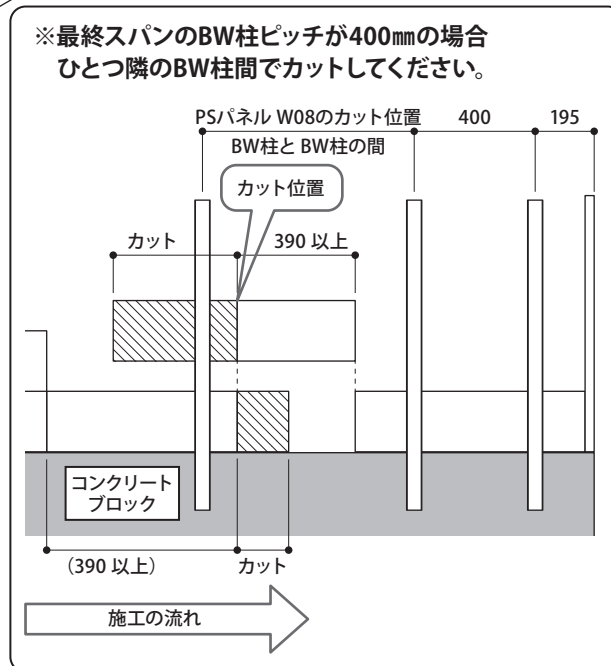
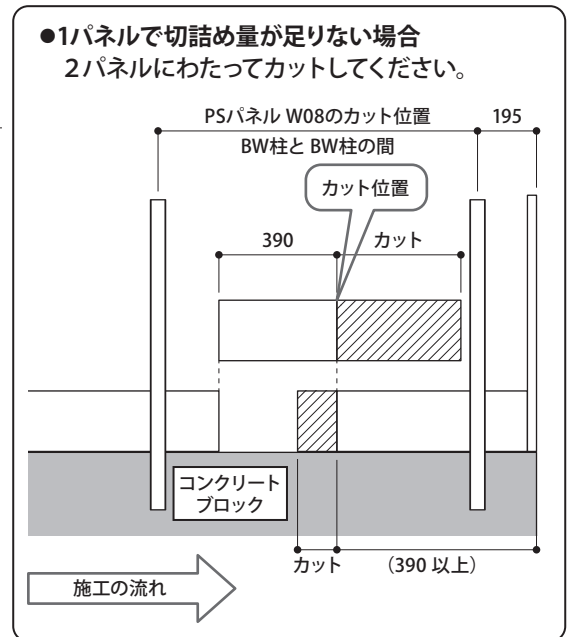
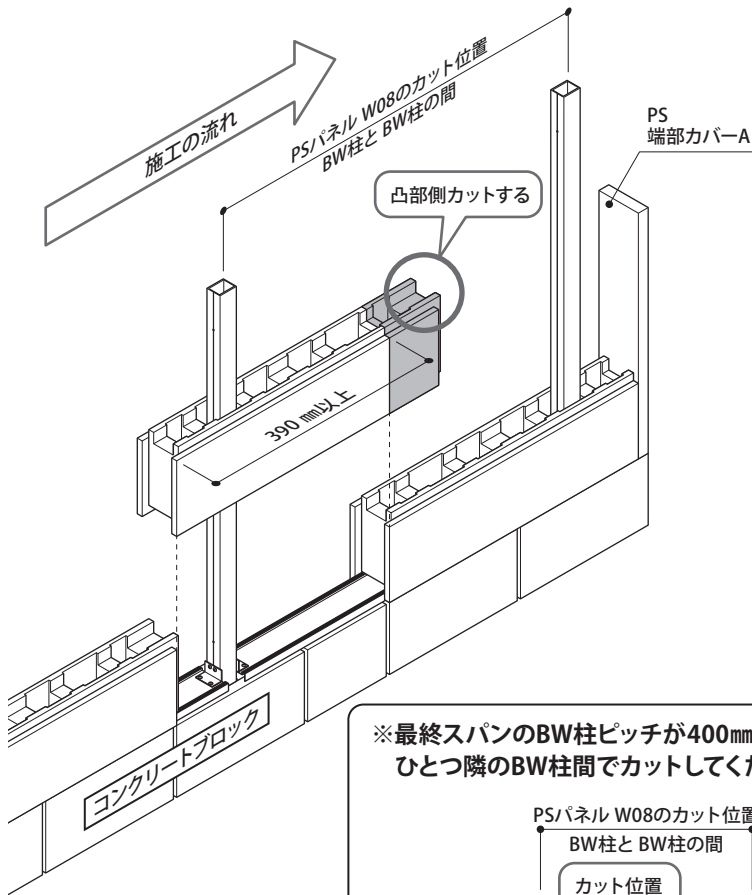


②コンクリートブロック端部から30mmオフセットして、端部用PSパネルW08を仮置きします。PS端部カバーAを当てて、コンクリートブロックと端面が合っていることを確認してください。

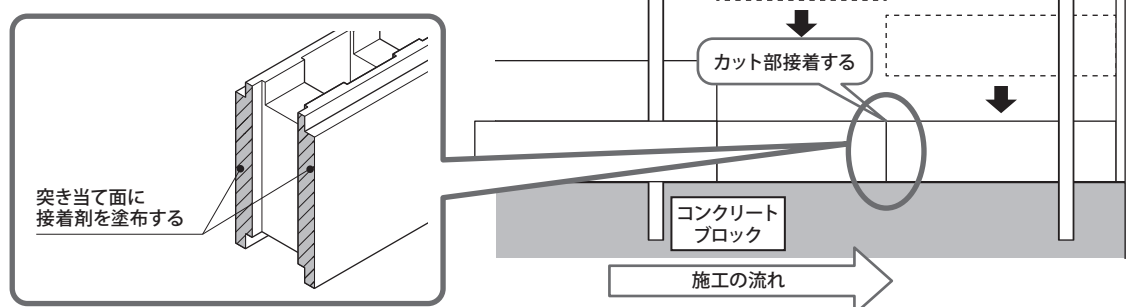


7.本体の施工 (フリー切詰めの部材加工)

- ③下図を参考に、最終スパンのBW柱間で、PSパネルW08のカット位置とパネル寸法を決め、カットしてください。
 パネル寸法は390mm以上残し、極端に短いPSパネルW08を作らないでください。
 ※最終スパンのBW柱ピッチが400mmの時は、ひとつ隣の柱間でカットしてください。



- ④カットしたPSパネルW08を用いて、組み付けてください。
 カット部は突き当て面に接着剤を塗布し、接着してください。
 はみ出した接着剤は拭きとってください。



7.本体の施工 (フリー切詰め部の部材加工)

- 塗装済パネルをカットした場合
小口補修セットを用いて、小口部分に塗装してください。

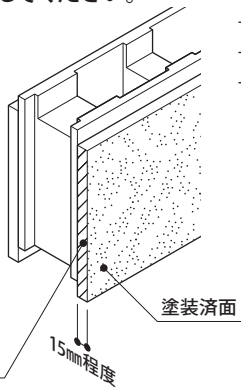
①プライマーの塗布

切断した小口の塗装側15mm程度にプライマーを塗布してください。乾燥を確認後、次工程に進んでください。

②着色塗料の塗布

プライマーを塗布した部分に、着色塗料を塗布してください。乾燥を確認後、次工程に進んでください。

カット面に塗布
①プライマー
②着色塗料



部材名	梱包名称
プライマー (100ml)	小口補修セット
着色塗料 (100ml)	
補修塗料 (100ml)	
刷毛	

※片側切り詰めで1セットにつき70パネル分の小口に塗装できます(目安)。小口補修セットには、プライマー・着色塗料・補修塗料・刷毛1本が含まれています。刷毛は洗浄しながら使うか、必要に応じ買い足してください。

③補修塗料の塗布

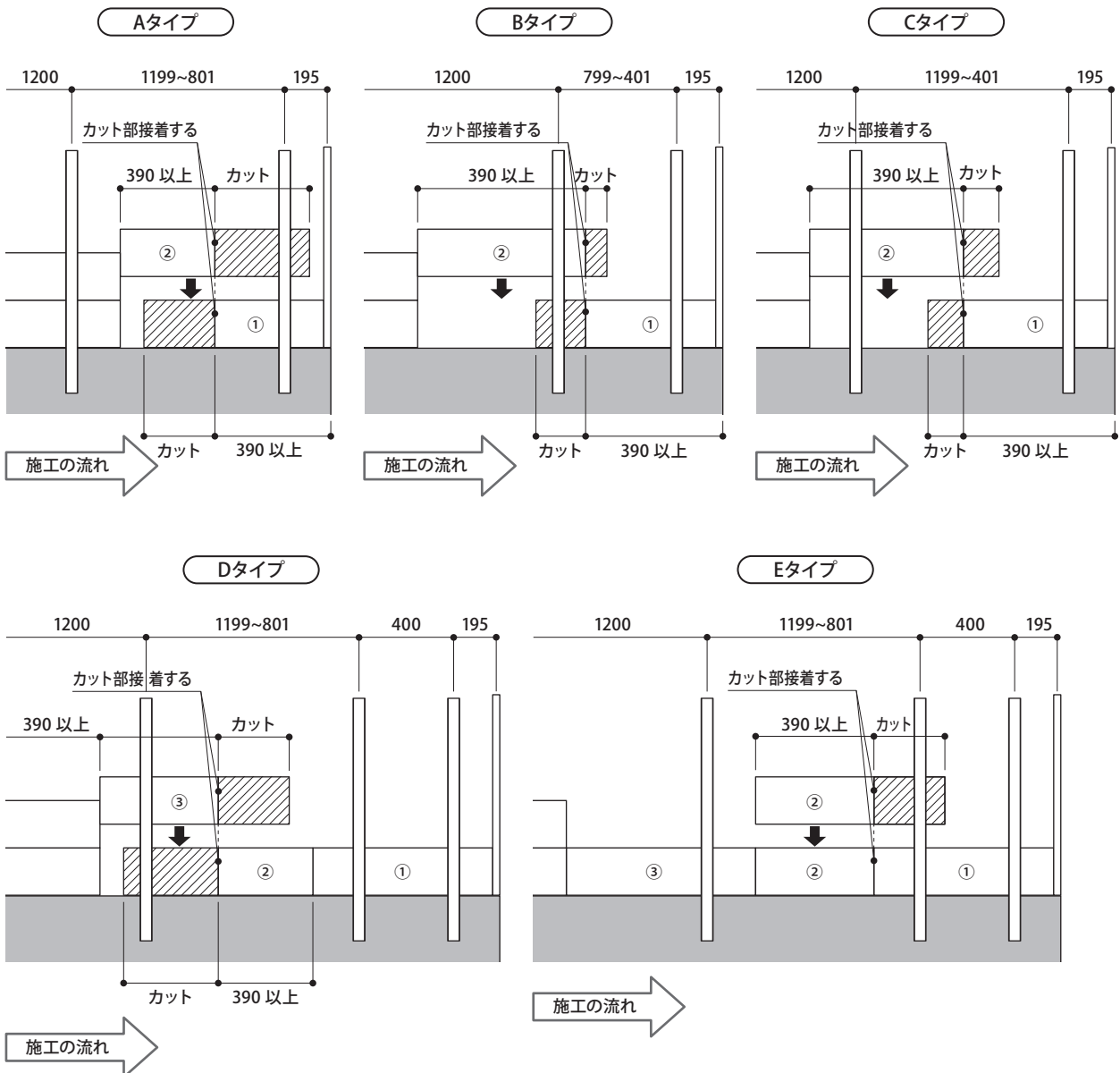
切断時に塗面の角に欠けなどできた場合は、①②の後に補修塗料で修正してください。特に欠けなどない場合は、この工程は必要ありません。



- ⑤2段目以降のPSパネルW08・PS笠木W08も、1段目と同じ要領でカットしてください。

●ワンポイントアドバイス●

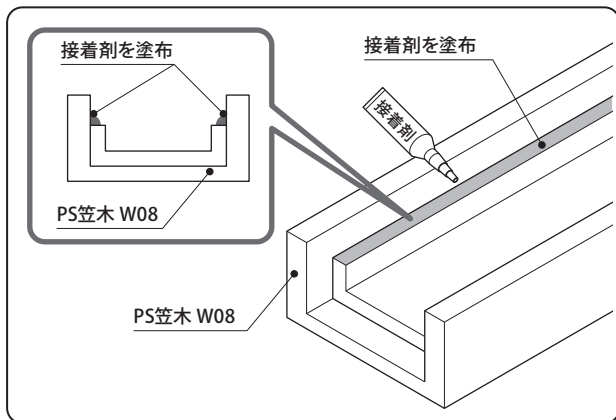
現場寸法により、下記例のようにBW柱とPSパネルW08の取り合いが変わりますが、基本の手順は変わりません。



8.PS笠木W08・PS端部カバーの取付

1.PS笠木W08の組付

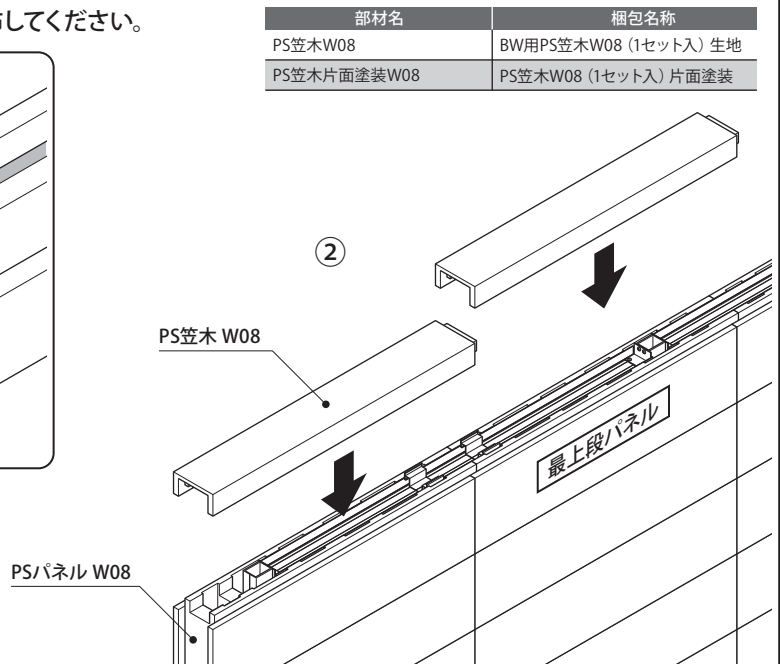
①下図のようにPS笠木W08に接着剤をビード状塗布してください。



②塗布後、速やかにPS笠木W08をPSパネルW08に取り付けてください。

参照

最終スパンはP.30・31、フリー切詰めはP.32～35

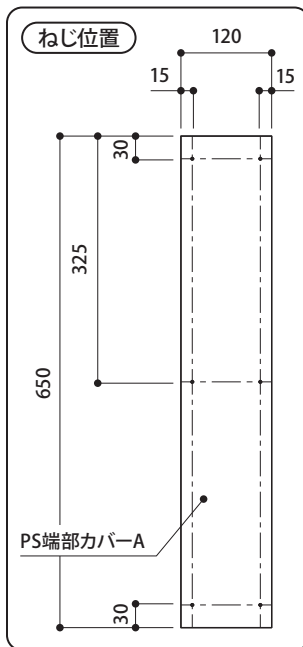
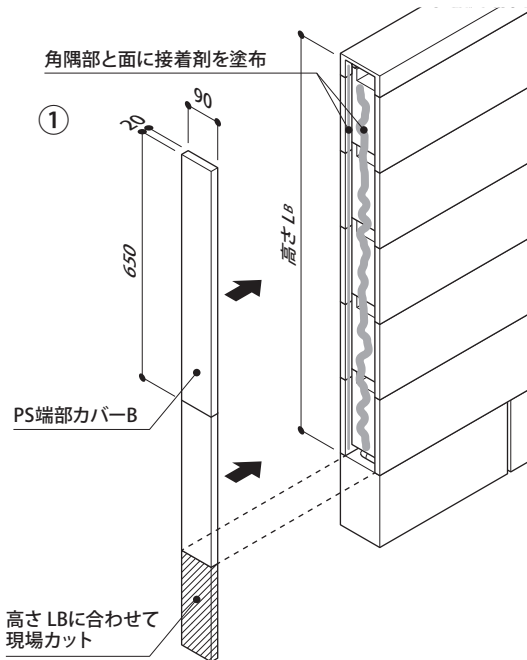


部材名	梱包名称
PS笠木W08	BW用PS笠木W08 (1セット入) 生地
PS笠木片面塗装W08	PS笠木W08 (1セット入) 片面塗装

2.PS端部カバーの組付

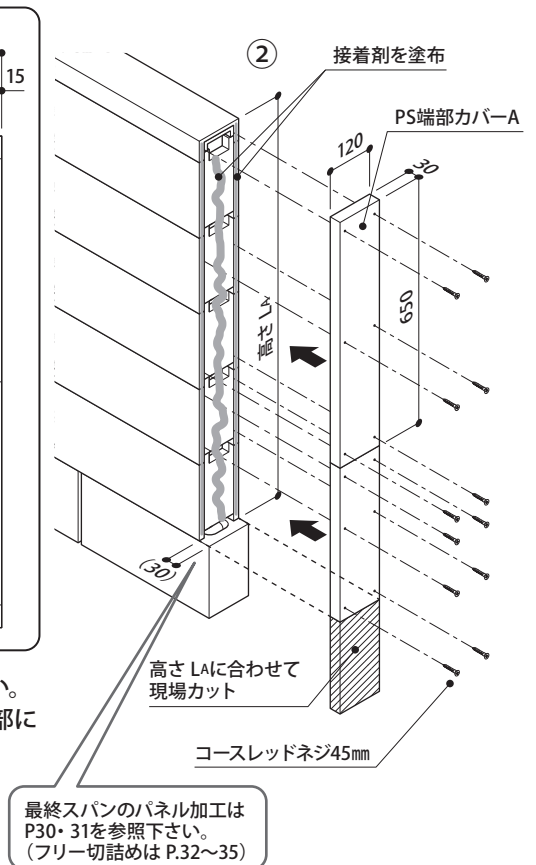
①PS端部カバー-B (20×90) の取付

- PS端部カバー-BをPS部の高さLBに合わせてカットし、長さを調整してください。
- 下図のようにPS端部カバー-BをPSパネルW08・PS笠木W08の凹部にはめ込む形で、接着固定してください。



②PS端部カバー-A (30×120) の取付

- 端部カバー-AをPS部の高さLAに合わせてカットし、長さを調整してください。
- 右図のように端部カバー-AをPSパネルW08・PS笠木W08の最終スパン端部に接着固定してください。
- コーススレッドネジ45mmのネジ先に接着剤を付け、固定してください。ねじ位置は上図を参考に、PSパネルW08・PS笠木W08に対し、バランスよく配置してください。
- コーススレッドネジ45mmのネジ頭は数ミリ沈みこませてください。
- ※コーススレッドネジのネジ頭は仕上げ材を施工すると見えなくなります。



部材名	梱包名称
PS端部カバー-A	BW用PS端部カバーセット (生地)
PS端部カバー-B	
コーススレッドネジ45mm	BW用PS端部カバー片面塗装セット
PS端部カバー-A (片面塗装)	
PS端部カバー-B	
コーススレッドネジ45mm	

9.アルミ笠木取付ベースの取付

1.現場手配のアルミ笠木を取り付ける場合

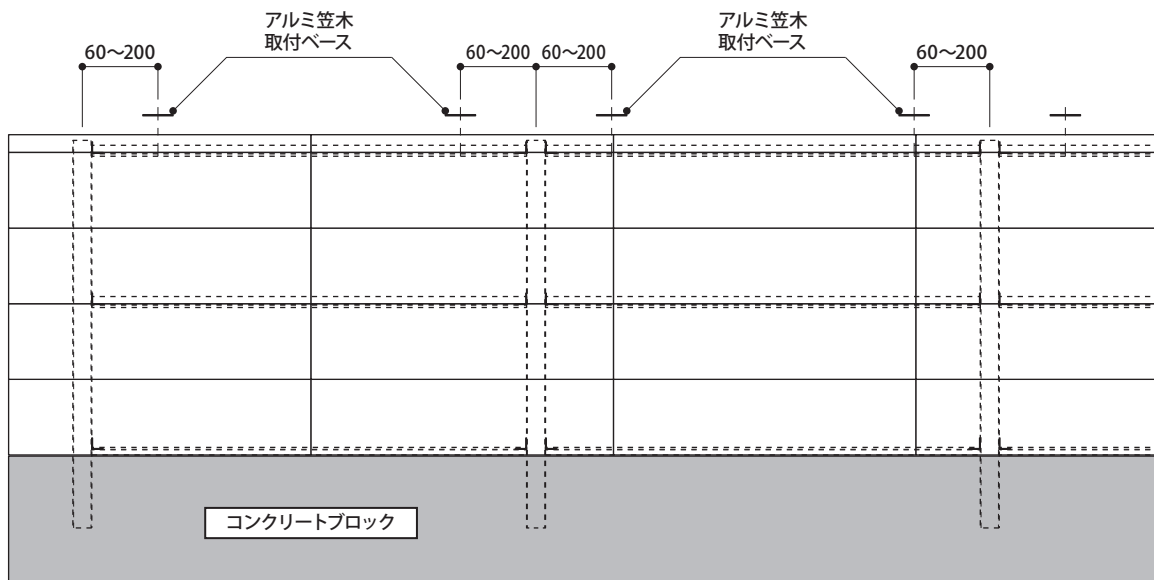
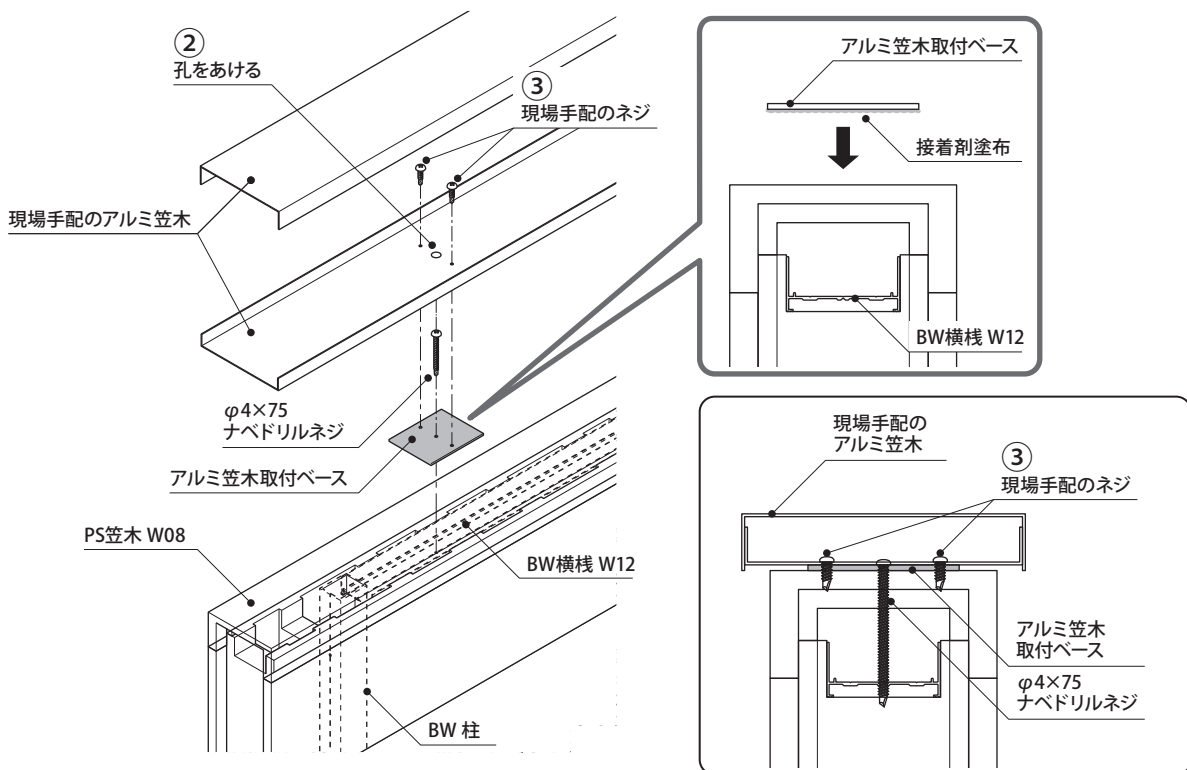
①下の図のようにアルミ笠木取付ベースを、接着剤とφ4×75ナベドリルネジで、PS笠木W08・BW横棧W12に取り付けてください。

- アルミ笠木取付ベースの取付位置は、柱芯から±200mmの位置にしてください。
- φ4×75ナベドリルネジはBW横棧W12が持ち上がらぬよう、締めすぎないように注意してください。
- BW柱1スパン（1200mm）あたり2個配置してください。
- 接着剤は全面塗布してください。

②φ4×75ナベドリルネジのネジ頭（頭径φ8）を逃げるように、現場手配のアルミ笠木に孔をあけてください。

③アルミ笠木取付ベースに、現場手配のアルミ笠木をネジ固定（笠木取付ネジ：現場手配）してください。
アルミ笠木取付ベースは厚み3mmです。

部材名	梱包名称
アルミ笠木取付ベース	BW笠木取付ベースセット（2個入）セット
接着剤	
φ4×75ナベドリルネジ	

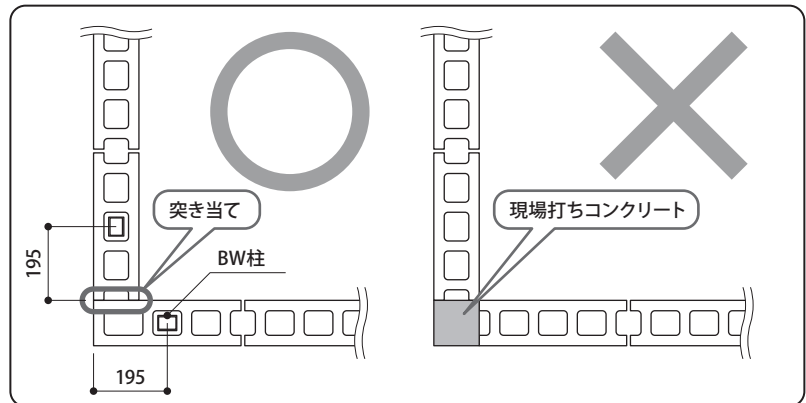


10.90° コーナーの施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

- コーナーは直線納まり同士の突き当てです。下記を参照し、コーナー部より施工してください。
- ※片面工場塗装タイプには対応しておりません。

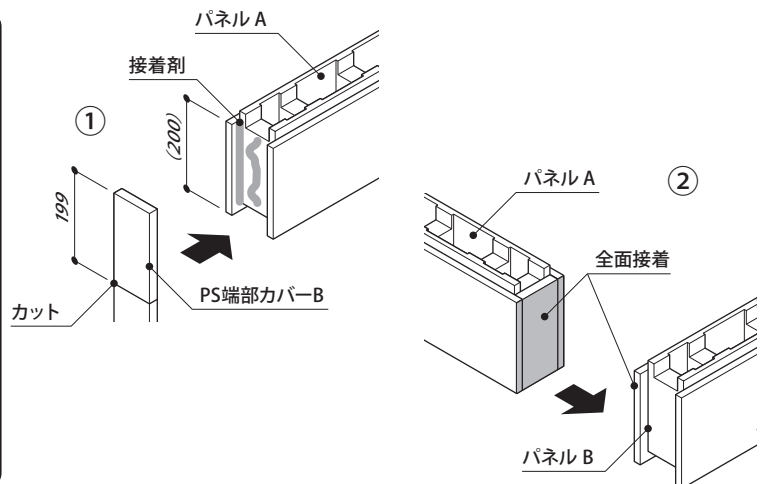
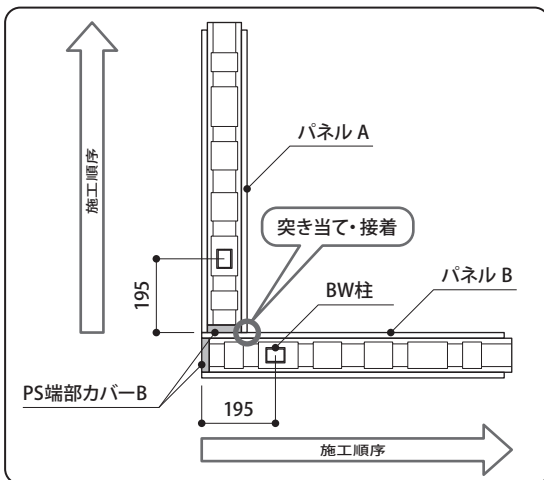
1.コンクリートブロック部の注意

- コーナーは突き当て納まりです。モルタルでふかさような施工をすると、PS部分が足りなくなります。



2.PSパネルW08の突き当て部の施工

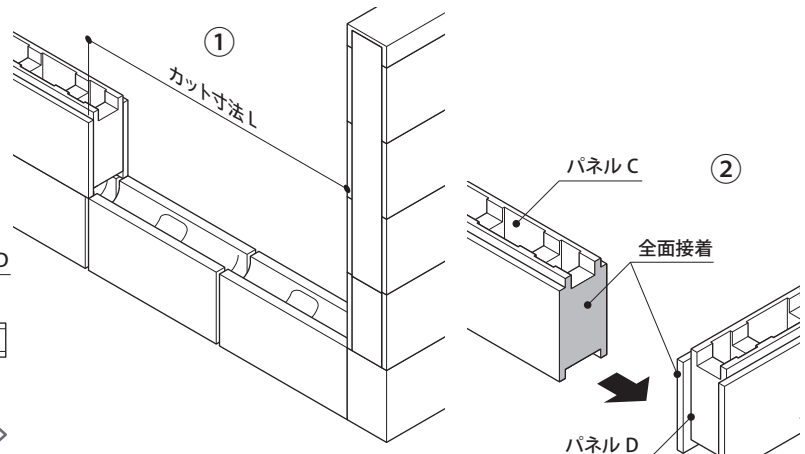
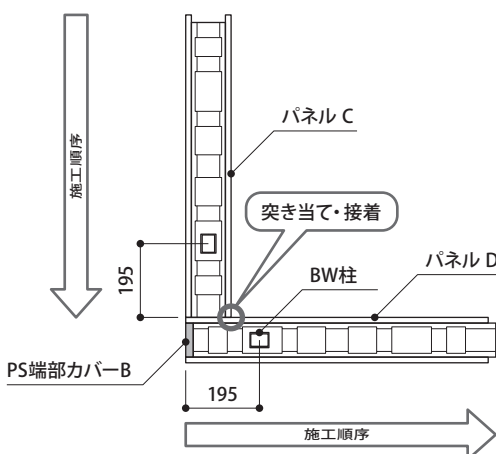
- ①コーナー部に使用するパネルは、通常のPSパネルW08を加工して使用します。右下図を参考にPS端部カバーBをカットし、PSパネルW08の凹部に接着してください。このPS端部カバーBで凹部を埋めたPSパネルW08をパネルAとします。
- ②パネルA・パネルBの突き当て面両方に接着剤を付け、接着固定してください。接着剤が固まるまで、必要に応じ養生テープ等で仮固定してください。



●PSパネルW08凸側を突き当てる場合

- 現場状況によりコーナー部からスタートできない場合は、下記を参考に施工してください。

 - ①コーナー部に使用するパネルは、通常のPSパネルW08を加工して使用します。下図を参考にカット寸法Lを確認し、パネルの凸部をカットしてください。この場合、PS端部カバーAは使いません。
 - ②パネルC・パネルDの突き当て面両方に接着剤を付け、接着固定してください。接着剤が固まるまで、必要に応じ養生テープ等で仮固定してください。

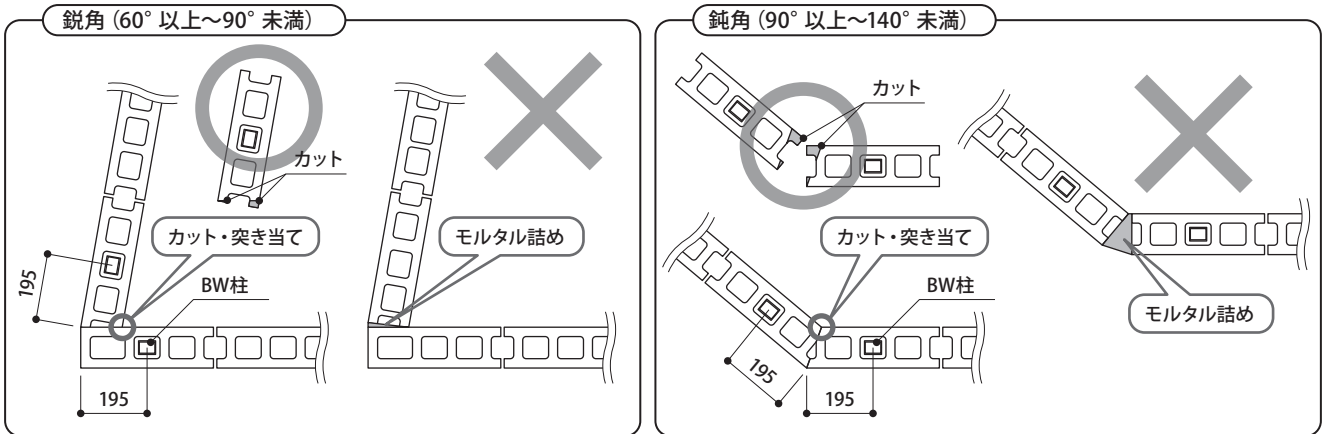


11.フリーコーナーの施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

- コーナーは直線納まり同士の突き当てです。下記を参照し、コーナー部より施工してください。
対応範囲は、鋭角：60°以上～90°未満、鈍角：90°以上～140°未満です。
※片面工場塗装タイプには対応していません。

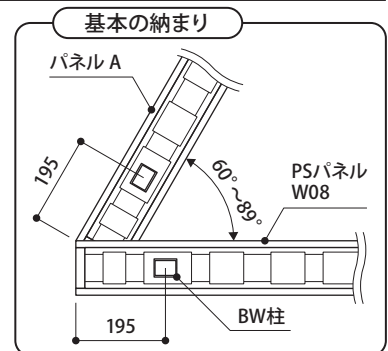
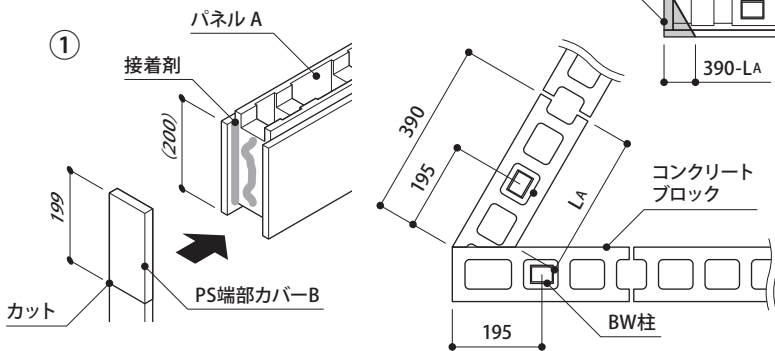
1.コンクリートブロック部の注意

- コーナーは突き当て納まりです。モルタルでふかすような施工をすると、PS部分が足りなくなります。
カットによって角度を調整してください。



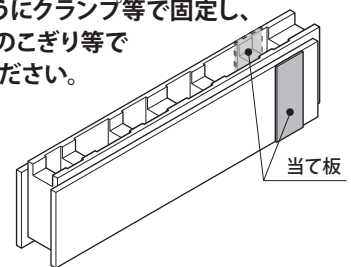
2.鋭角 (60°以上～90°未満) の場合

- ①コーナー部に使用するパネルは、通常のPSパネルW08を加工して使用します。
下図を参考にPS端部カバーBをカットし、PSパネルW08の凹部に接着してください。このPS端部カバーBで凹部を埋めたPSパネルW08をパネルAとします。
- ②寸法LAを確認し、パネルAをカットしてください。

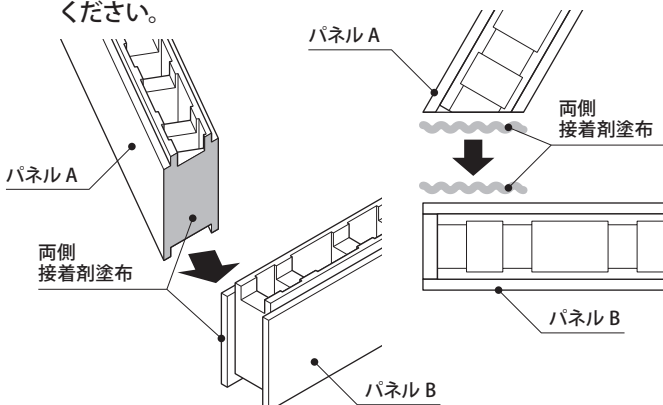


ご注意

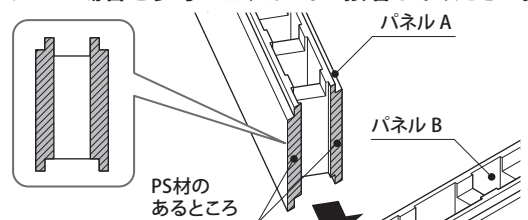
当て板を内側・外側に2枚セットし、動かないようにクランプ等で固定し、目の細かいのこぎり等でカットしてください。



- ③パネルA・パネルBの突き当て面両方に接着剤を付け、接着固定してください。接着剤が固まるまで、必要に応じ養生テープ等で仮固定してください。



※PSパネル凸側を突き当てる場合は、前ページの90°コーナーの場合を参考の上、カット・接着してください。

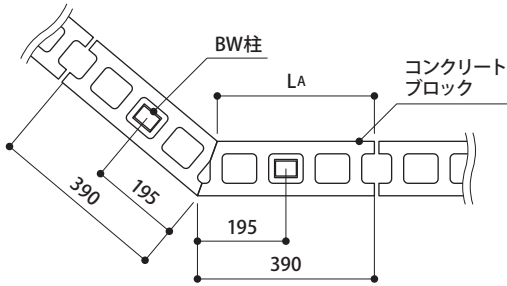
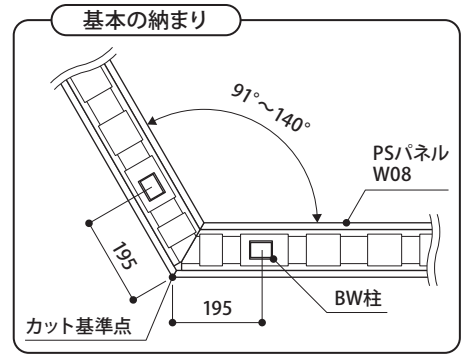
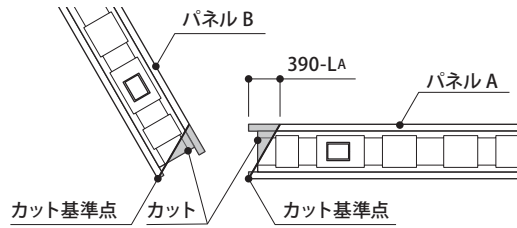


※カット位置により中心部に発泡材がない場合は、上記斜線部のようにPS材のあるところで全面接着固定してください。

11.フリーコーナーの施工〈現場貼付タイプ・現場塗装タイプ〉

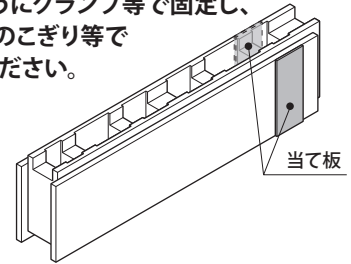
3.鈍角 (90° 以上~140° 未満) の場合

- ①コーナー部に使用するパネルは、通常のPSパネルW08を加工して使用します。
- ②寸法LAを確認し、パネルAをカットしてください。
反対側のパネルBも同様にカットします。

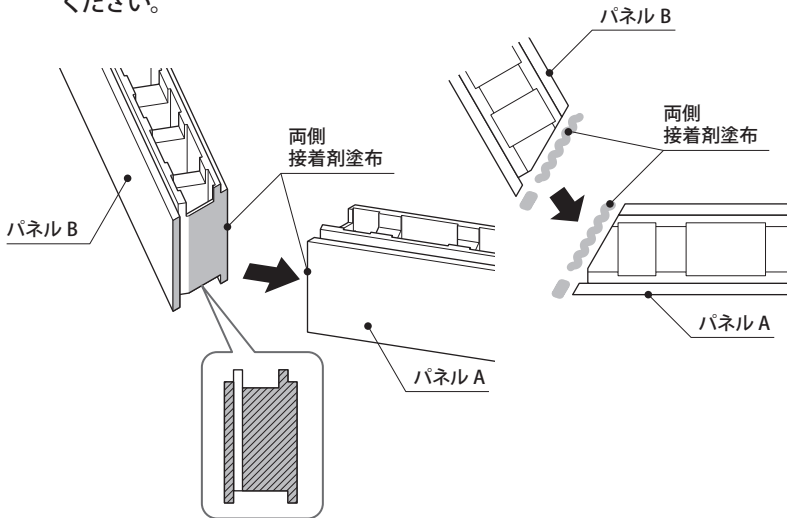


ご注意

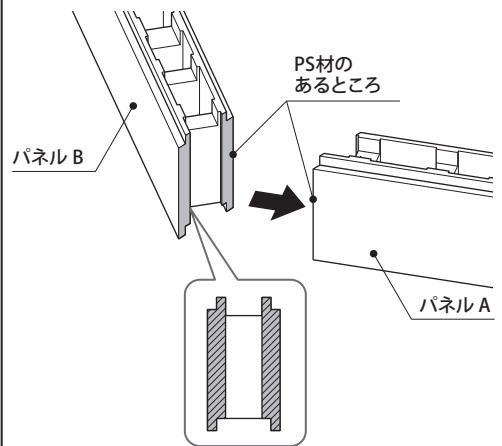
当て板を内側・外側に2枚セットし、動かないようにクランプ等で固定し、目の細かいのこぎり等でカットしてください。



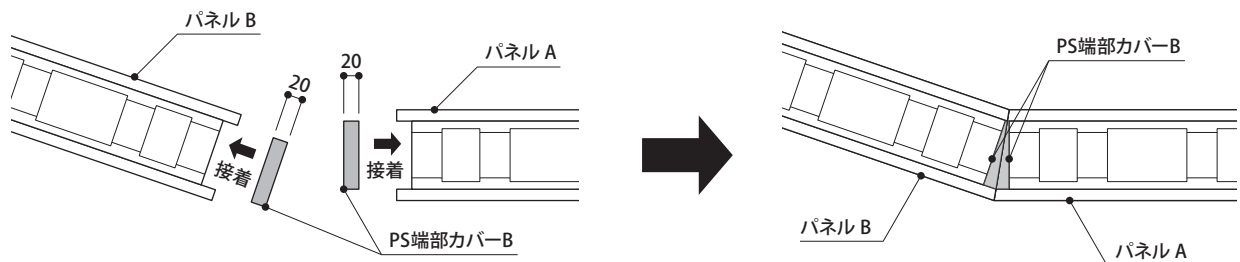
- ③パネルA・パネルBの突き当て面両方に接着剤を付け、接着固定してください。接着剤が固まるまで、必要に応じ養生テープ等で仮固定してください。



※カット位置による中心部に発泡材がない場合は、下記斜線部のようにPS材のあるところで全面接着してください。



※鈍角140° 以上の場合、下図のようにPS端部カバー-BをPSパネルW08凹部に接着してからカットしてください。(P.38・39照)



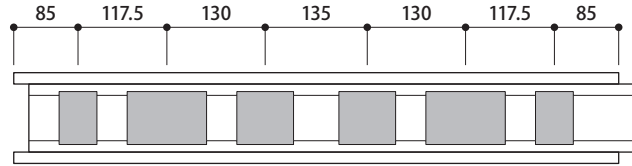
12. 照明・インターホンの配線

ご注意

配線は本体組み付け時に同時に行ってください。(本体組み付け後では、配線できません。)

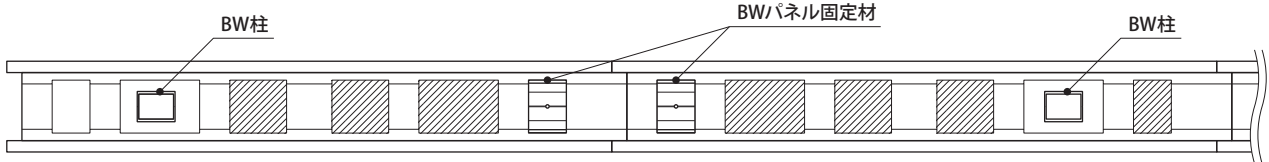
1. PF管の取付位置

- ① PF管の配管位置はBWパネル空洞部になります。
(右図・下図参照)
BW柱・BWパネル固定材・BW補強材の配置位置
には配線できません。



● 配管位置の例

ハッチング部が配管可能なパネル孔です。

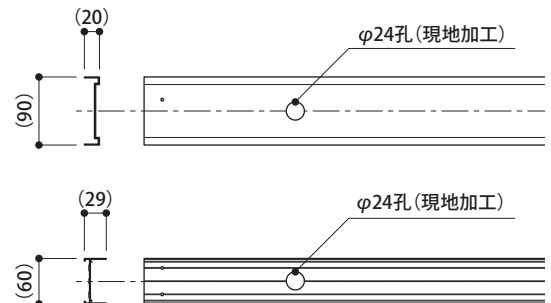


2. BWベース材W12・BW横棧W12への孔加工

- ① 配管位置に合わせ、BWベース材W12・BW横棧W12へ配管用孔
 $\phi 24$ mmの孔加工をしてください。
使用可能なPF管サイズは呼び径14 (外形寸法 $\phi 21.5$ mm) です。
● $\phi 24$ 孔は、BWベース材W12・BW横棧W12の中心にあけてください。

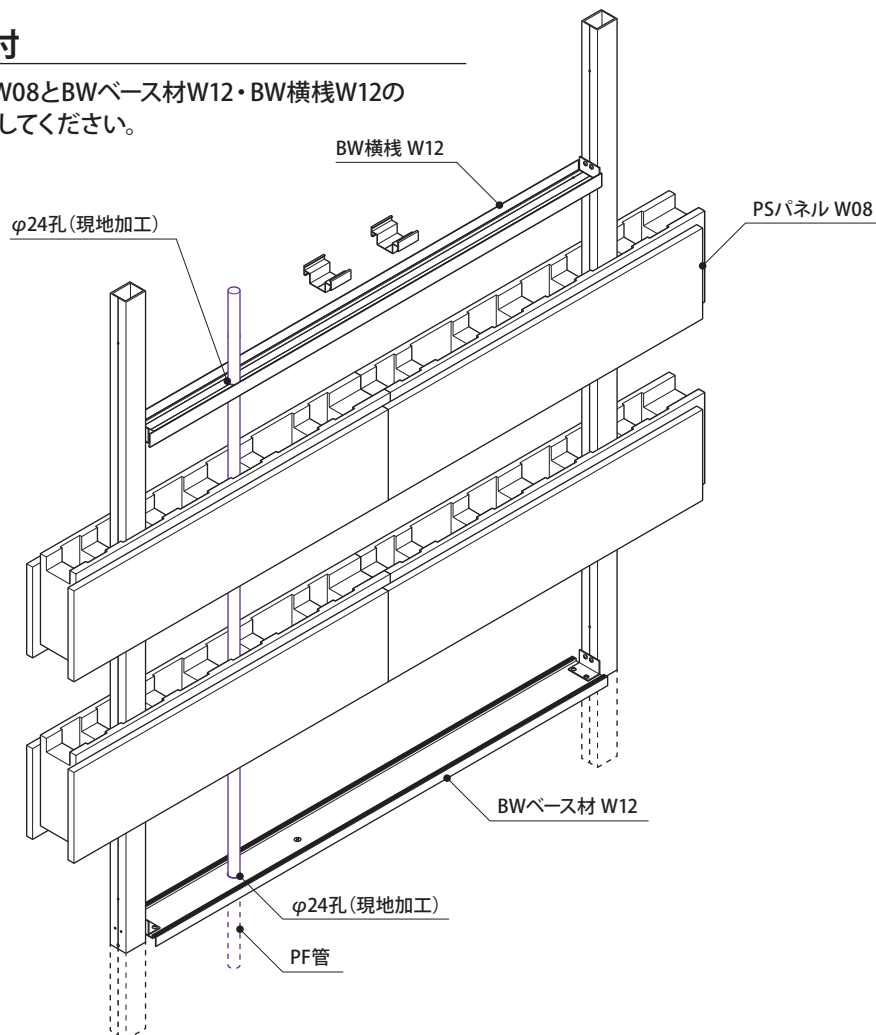
※右図の位置は例です。

配管するパネル孔に合わせて孔あけしてください。



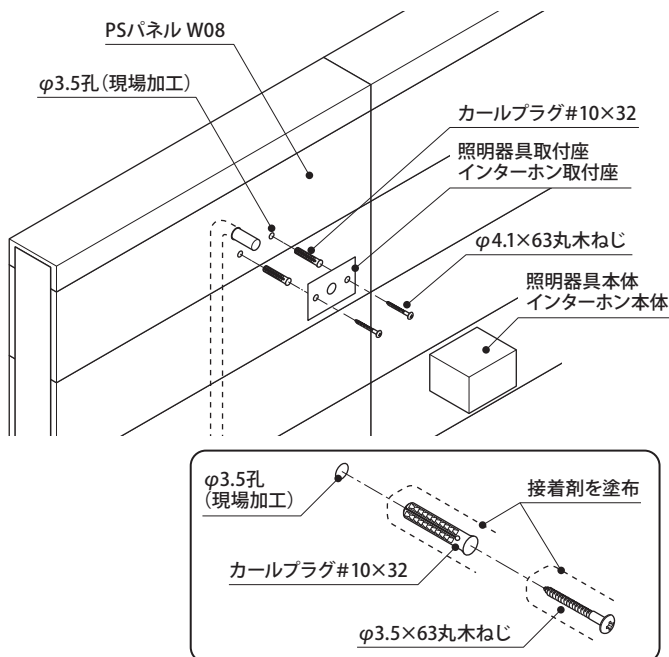
3. 配線用PF管の取付

- ① 下図のようにPSパネルW08とBWベース材W12・BW横棧W12の
組み付け時にPF管を通してください。



12.照明・インターホンの配線

4.PSパネルW08からのPF管取出しと照明・インターホンの取付

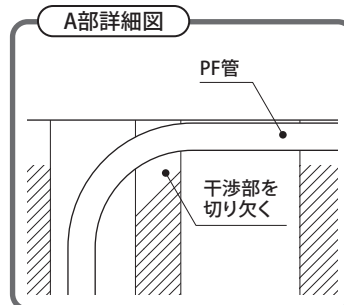
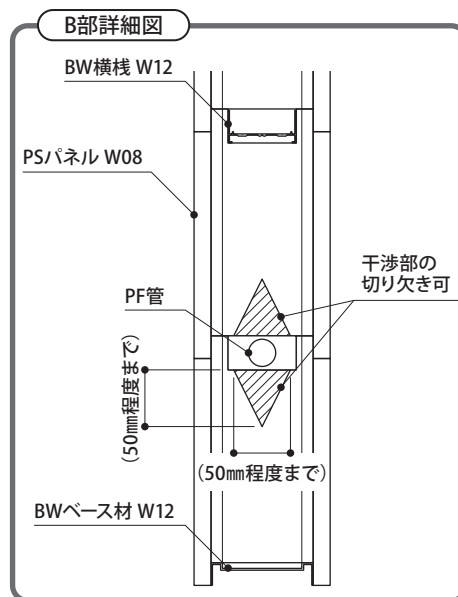
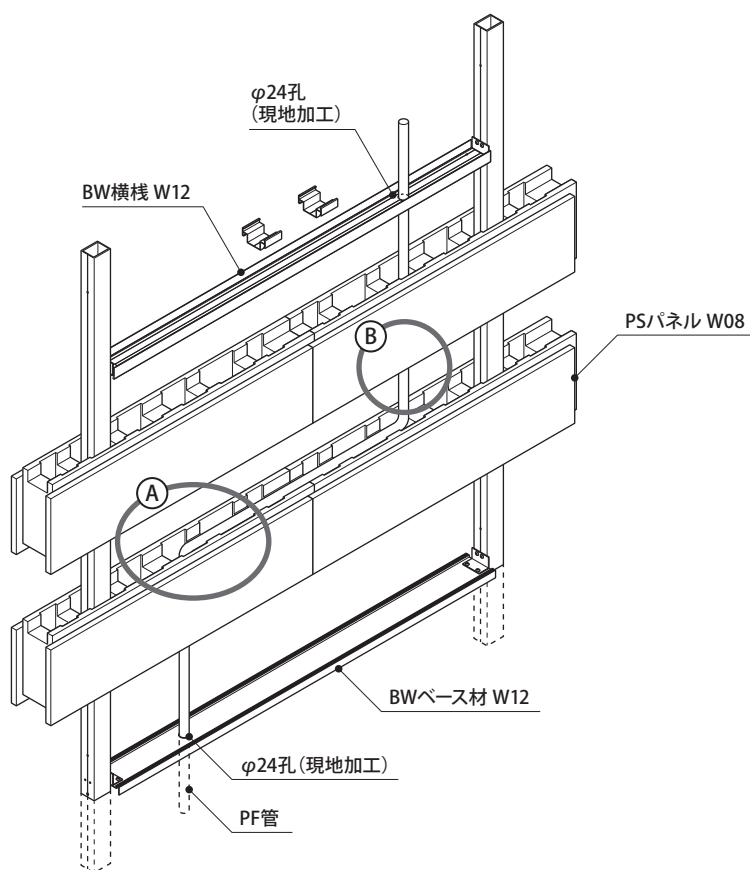


部材名	梱包名称
接着剤	
カールプラグ#10×32	口金ポスト用部品セット (1セット入)
φ4.1×63丸木ネジ	

- ①左の図のように照明・インターホン取付位置に合わせ、PSパネルW08に現場でPF管取り出し用の孔をあけてください。
- ②照明・インターホン取付座 (各機器に同梱されているもの) の取付孔位置に合わせ、カールプラグ#10×32を左の図を参考に取付けてください。
※接着剤が硬化するまで照明・インターホンの取り付けは避けてください。
- ③カールプラグの接着剤が硬化後、各機器の取付座をφ4.1×63丸木ねじで取付けてください。
※φ4.1×63丸木ねじはハンドドライバーで締めてください。(強く締めすぎるとカールプラグが空回りしてしまいます。)
- ④取付座を取り付けたら各機器を取り付けてください。
※φ4.1×63丸木ネジは取付物の厚みを考慮して長めになっています。取付物が薄いなどの場合は、必要に応じ、短いφ4.1丸木ネジをご用意ください。

●ワンポイントアドバイス●

横にPF管を回す場合は、BW横棧W12の入っていないPSパネルW08とPSパネルW08の間のスペースを用いてください。PF管の曲げ部でPSパネルW08と干渉する部分は深さ50mm、巾50mmを目安に、カッター等で切り欠いてください。



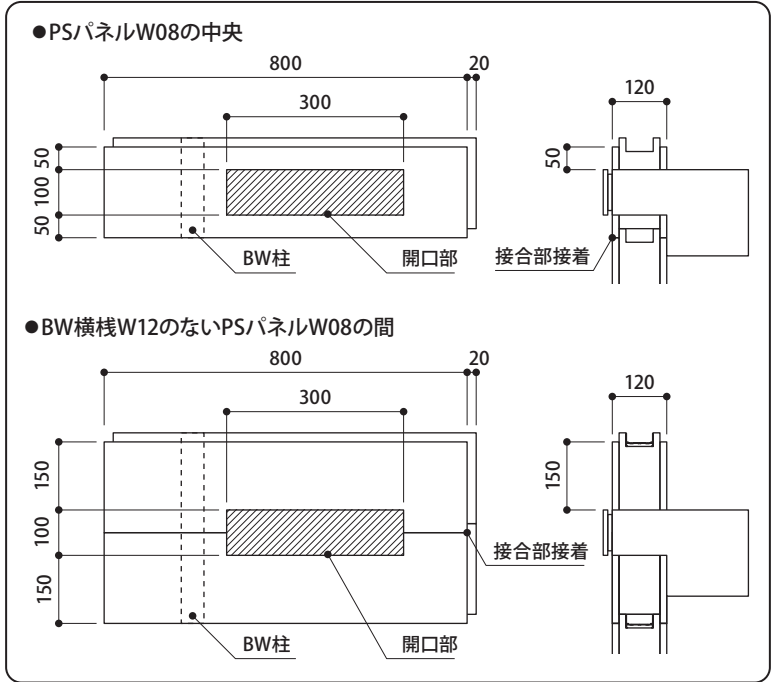
13.口金ポストの取付

1. PSパネルW08の現場加工

- ①口金ポストに使用するパネルは、通常のPSパネルW08を加工して使用します。右図を参考に、BW柱位置を避けて、口金ポスト用の切り欠き加工を行ってください。
- ※開口部はPSパネルW08の上下左右の端部から50mm以上離し、極端に薄い部分がないようにしてください。
- ※右図のBW柱位置は例です。

2. PS口金パネルW08の取付

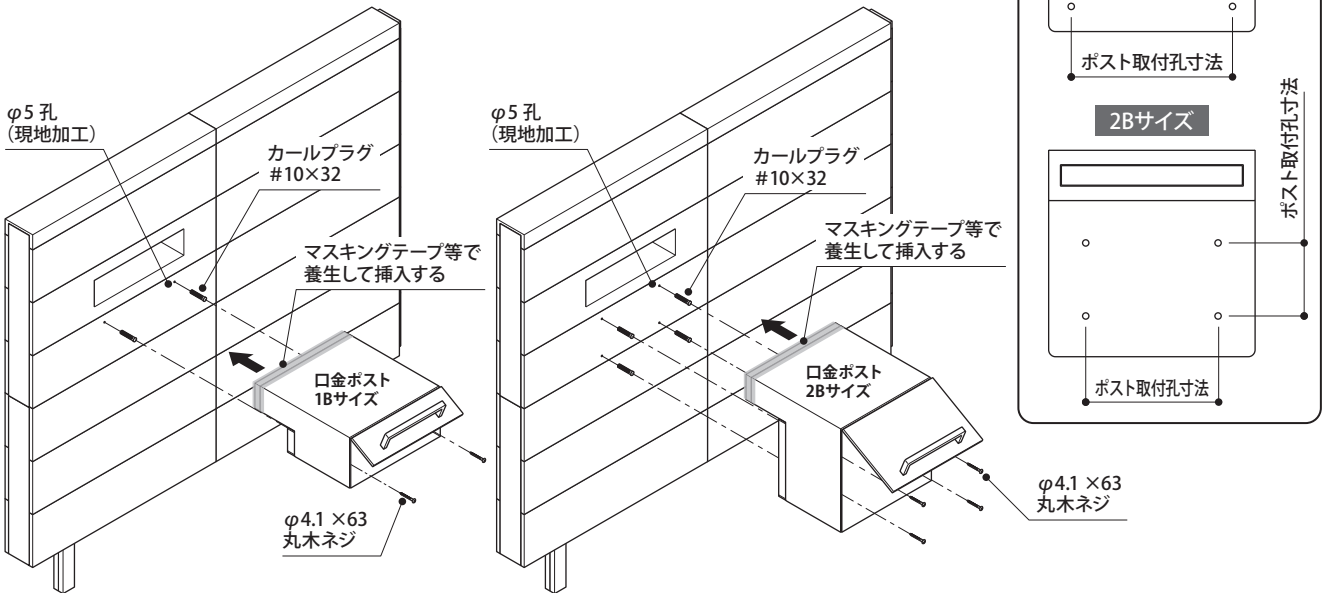
- ①切り欠き加工したPSパネルW08を取り付けてください。(P.26参照)



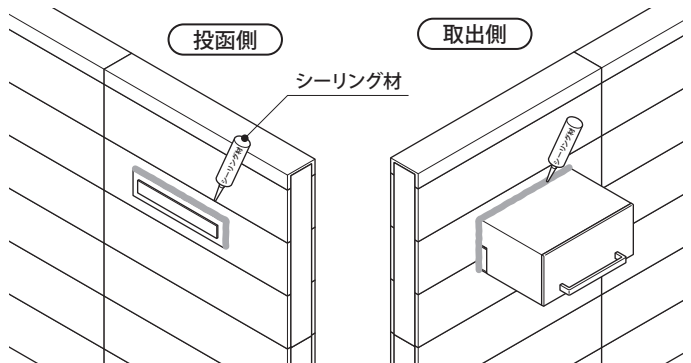
3. 口金ポストの取付

- ①下の図を参考に、取り付ける口金ポスト取り付け孔の位置に合わせ、PS口金パネルW08にφ5の孔をあけてください。
- ②孔あけ後、接着剤を孔に注入し、カールプラグ#10×32を挿入してください。
- ③接着剤が固まったら、口金ポストをφ4.1×63丸木ネジに接着剤を塗布して取り付けてください。
- ※口金ポスト取り付け孔は各メーカーにより寸法・員数が異なります。ご注意ください。
- ※口金ポストは首下12cmのものを選んでください。
- ※ネジ、カールプラグがBW横桟W12にあたる場合は、孔位置をずらしてください。

部材名	梱包名称
接着剤	
カールプラグ#10×32	BW口金ポスト用部品セット (1セット入)
φ4.1×63丸木ネジ	



- ④取り付けした口金ポストとPS口金パネルW08の間は、シーリング材で塞いでください。シーリング材には、コーキング材 (変成シリコン系ノンブリードタイプ) をご使用ください。マスキングテープ等を使用すると仕上がりもきれいになります。



14. 壁付けポスト (前入れ・前出し) の取付

1. 壁付けポスト用取付ベース材の取付

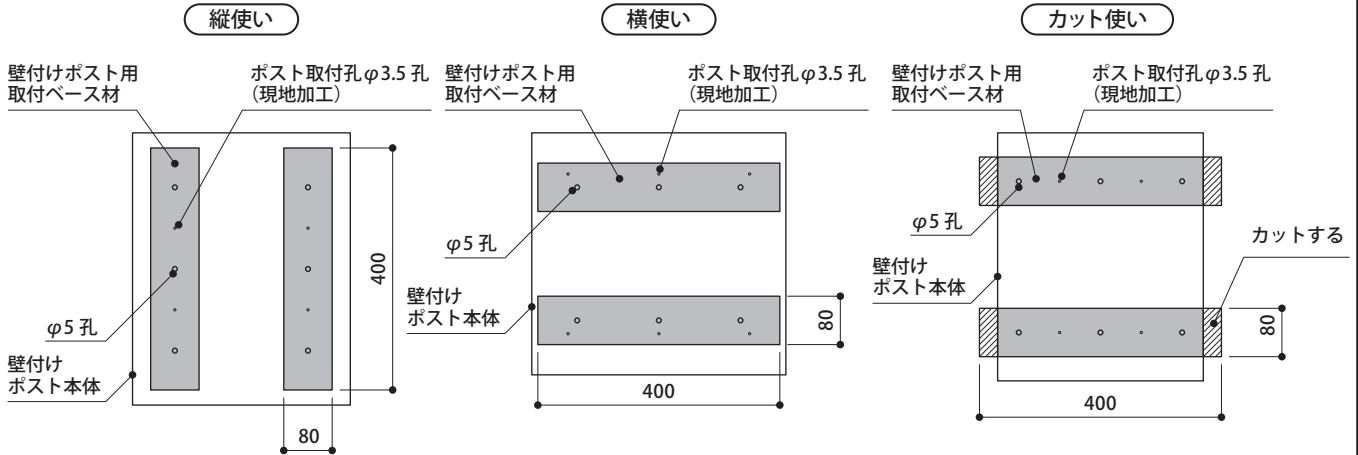
ご注意

本品は書類等軽量物を入れる壁付けポストの取り付けを想定しています。壁付けポスト用取付ベース材の長さ・数量が不足するような大型の壁付けポストは、取り付け不可となります。また、受け取り荷物重量が10kgを超える壁付けタイプの宅配ボックス等は取り付け不可となります。

部材名	梱包名称
壁付けポスト用取付ベース材	BW壁付けポスト用取付ベース材 (1セット) セット
接着剤	
カールプラグ#10×32	
φ4×45サラドリルネジ	
φ4×25トラスドリルネジ (ポスト取付用)	

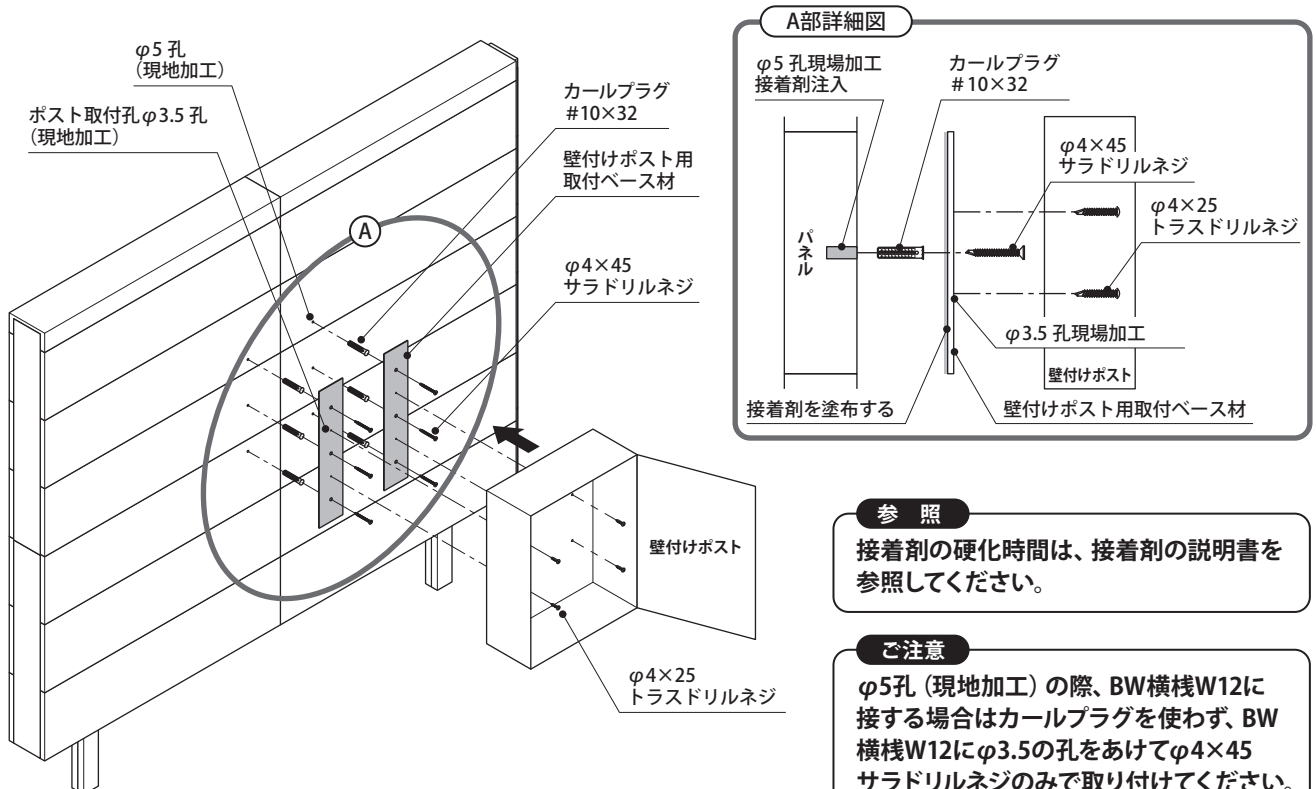
① 壁付けポストの取り付け位置を決めてください。

壁付けポストの位置が決まったら、ポスト取付孔が壁付けポスト用取付ベース材に納まるようにして、取り付け位置を決めてください。壁付けポスト用取付ベース材がポストより大きい場合、下図のように壁付けポストの大きさに合わせてカットしてください。下図は例ですので、壁付けポストに合わせて縦使い横使いを調整して施工してください。



2. 壁付けポストの取付

- ① 壁付けポスト用取付ベース材の孔位置に合わせ、PSパネルW08にφ5の孔をあけてください。
- ② 孔あけ後、接着剤を孔に注入し、カールプラグ#10×32を挿入してください。
- ③ カールプラグの接着剤が固まったら、壁付けポスト用取付ベース材のパネル取付面側に接着剤を塗布して、壁付けポスト用取付ベース材をφ4×45サラドリルネジでカールプラグに取り付けてください。
- ④ ポストの取付孔に合わせ、壁付けポスト用取付ベース材にφ3.5の下孔をあけてください。
- ⑤ φ4×25トラスドリルネジで、壁付けポストを壁付けポスト用取付ベース材に取り付けてください。



参照

接着剤の硬化時間は、接着剤の説明書を参照してください。

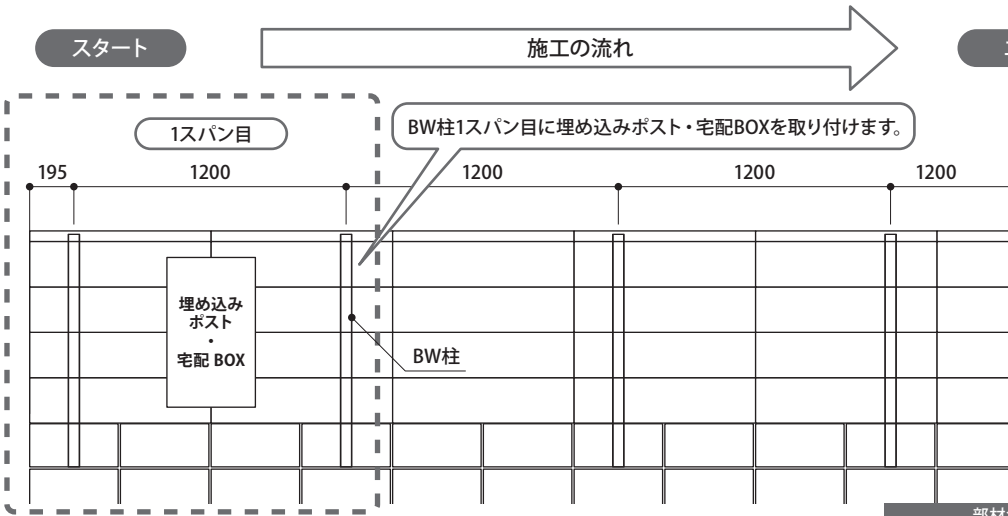
ご注意

φ5孔 (現地加工) の際、BW横棧W12に接する場合はカールプラグを使わず、BW横棧W12にφ3.5の孔をあけてφ4×45サラドリルネジのみで取り付けてください。

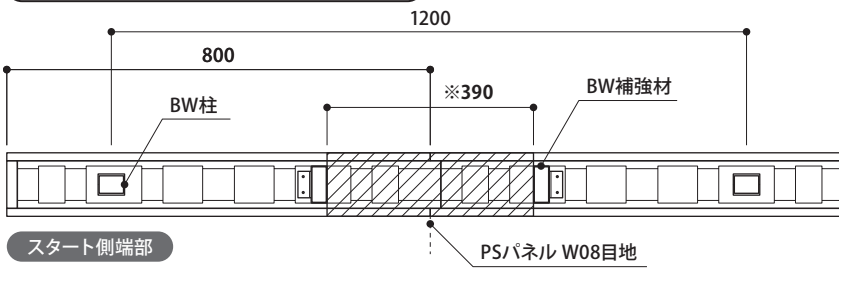
15.開口部の現場加工

1. 埋め込みポスト・宅配BOX開口部 (BW補強材による取付)

- 埋め込みポスト・宅配BOXは、最初の区間 (1スパン目) に取り付けます。



埋め込みポスト・宅配BOX開口部の断面図



部材名	梱包名称
BW補強材2段用	BW補強材セット30×70 (2段用) (1本入) セット
BW用補強材固定部品A	
BW用補強材固定部品B	
φ4×13トラスドリルネジ	
φ4×45コンクリートビス	BW補強材セット30×70 (4段用) (1本入) セット
BW補強材4段用	
BW用補強材固定部品A	
BW用補強材固定部品B	
BW横棧・ベース材取付部品	φ4×13トラスドリルネジ
φ4×45コンクリートビス	

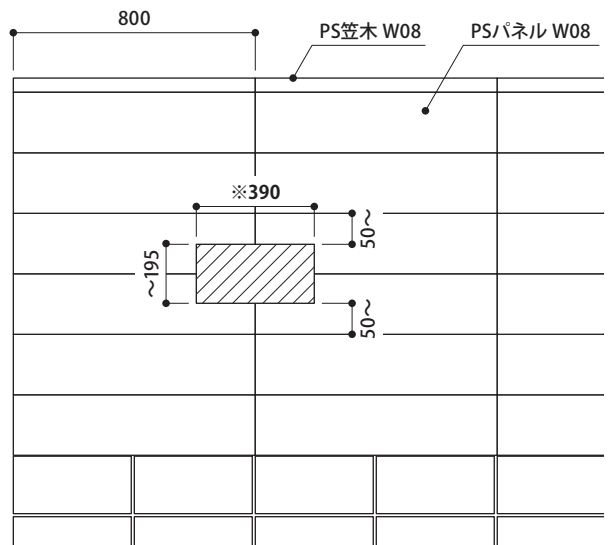
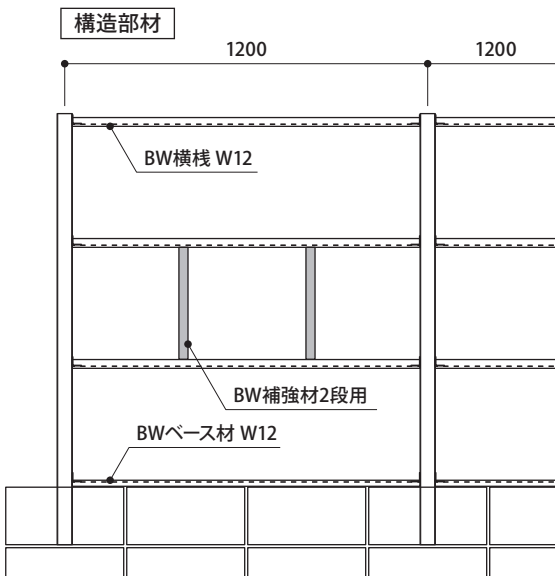
- ※390mmは一般的な埋め込みポスト幅・宅配BOX幅として表記しています。
- ※取り付けるポスト幅寸法を確認してください。取り付け可能なポスト幅は300~400mmです。

ご注意

2スパン目・4スパン目といった偶数スパンは、BW柱とPSパネルW08との取り合いが変わるため、取り付けできません。

1-1. 埋め込みポスト・宅配BOX開口部の納まり図

- 埋め込みポスト1Bの場合 (BW補強材2段用)

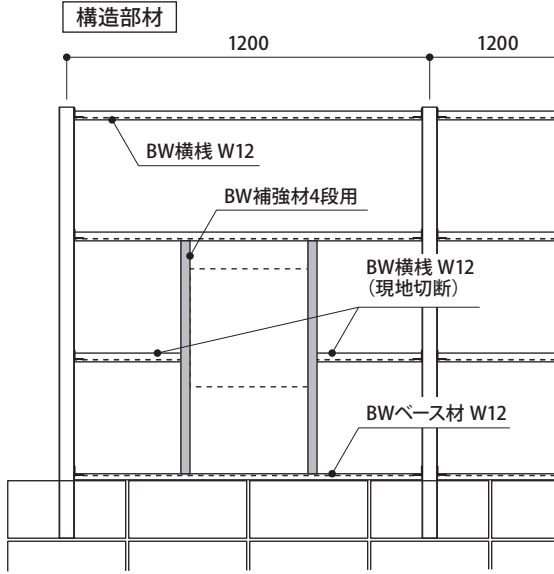


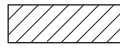
はポスト取付開口部を示しています。

- ※ポストの寸法を確認してから、組み付けを行ってください。
- 開口部はPSパネルW08上部・下部から50mm以上離してください。
- ※図に表示したポスト開口部寸法W390mmは、一般的な埋め込みポストの寸法です。
- 1Bの場合、H寸法は最大195mmまでにしてください。

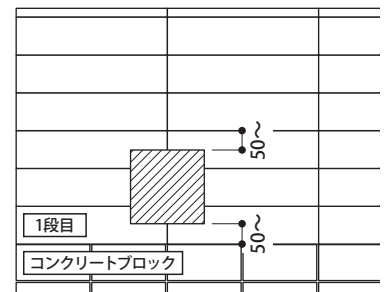
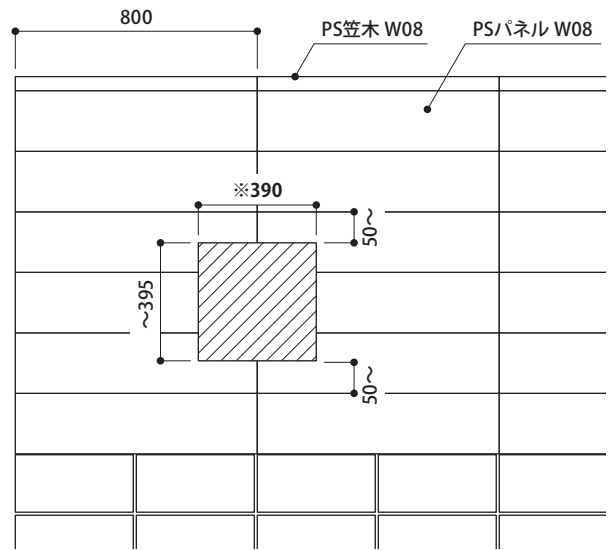
15.開口部の現場加工

●埋め込みポスト2Bの場合 (BW補強材4段用)

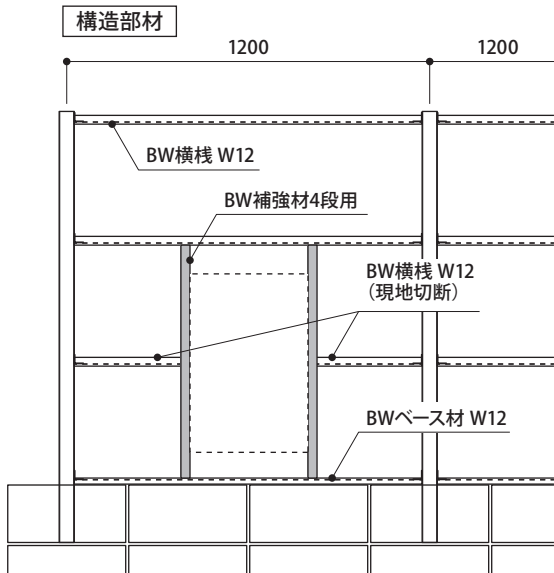


 はポスト取付開口部を示しています。

- ※ポストの寸法を確認してから、組み付けを行ってください。
- 開口部はPSパネルW08上部・下部から50mm以上離してください。
- ※図に表示したポスト開口部寸法W390mmは、一般的な埋め込みポストの寸法です。
- 2Bの場合、H寸法は最大395mmまでにしてください。
- ※200mm (PSパネルW08・1段) 下の配置も可能です。(右図)

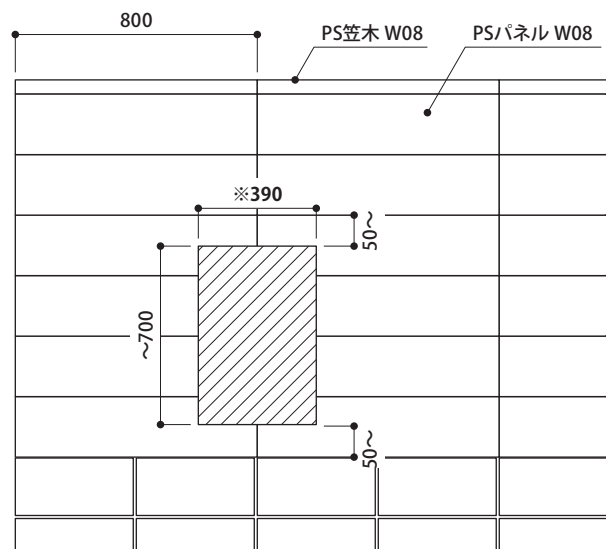


●宅配BOXの場合 (BW補強材4段用)



 は宅配BOX取付開口部を示しています。

- ※宅配BOXの寸法を確認してから組み付けを行ってください。
- 開口部はPSパネルW08上部・下部から50mm以上離してください。
- ※図に表示した宅配BOX開口部寸法W390mmは、一般的な宅配BOXの寸法です。
- H寸法は最大700mmまでにしてください。収納重量は20kg程度までです。



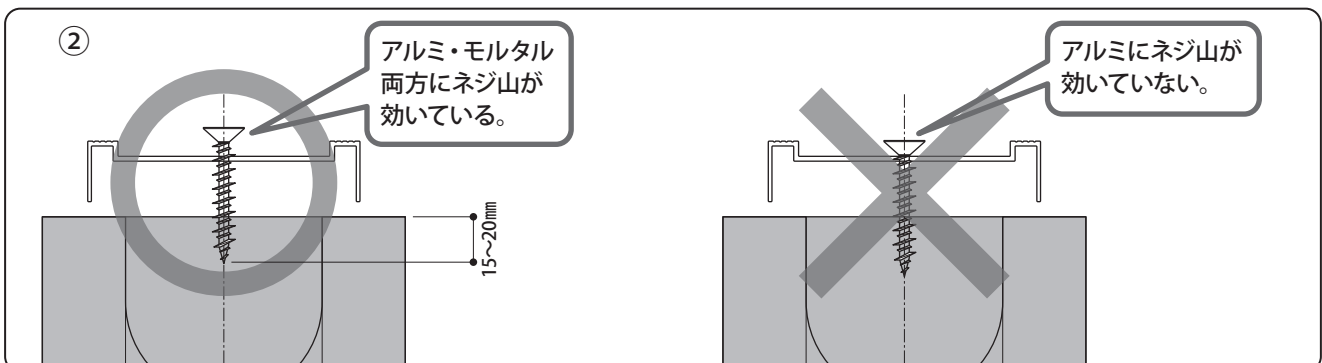
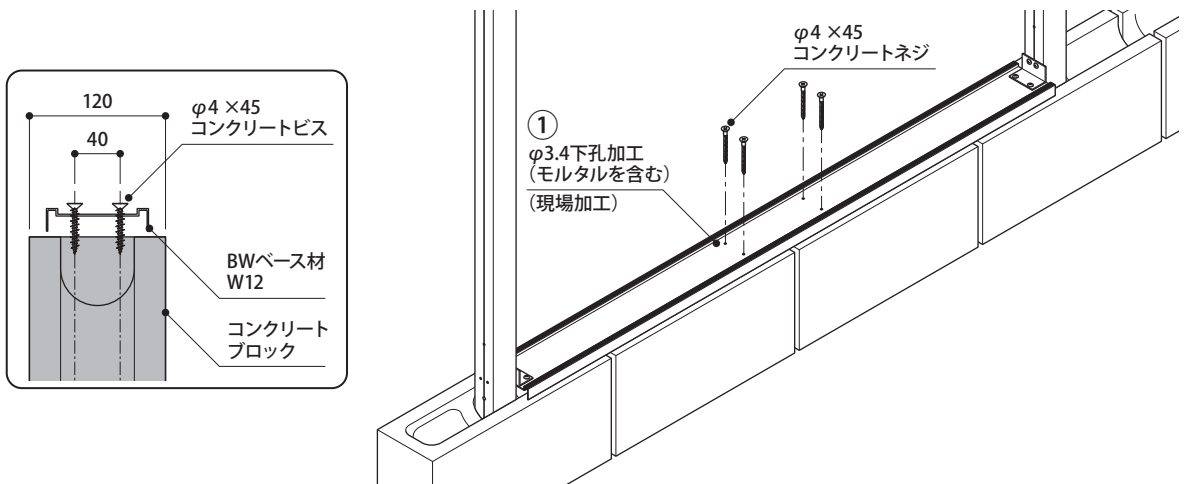
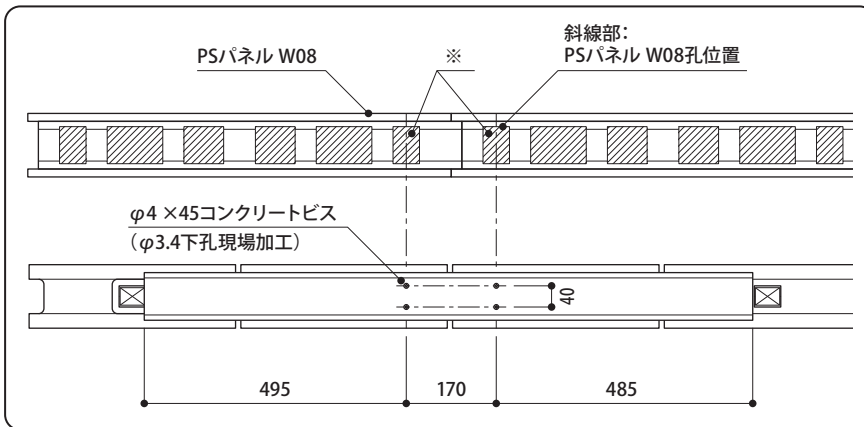
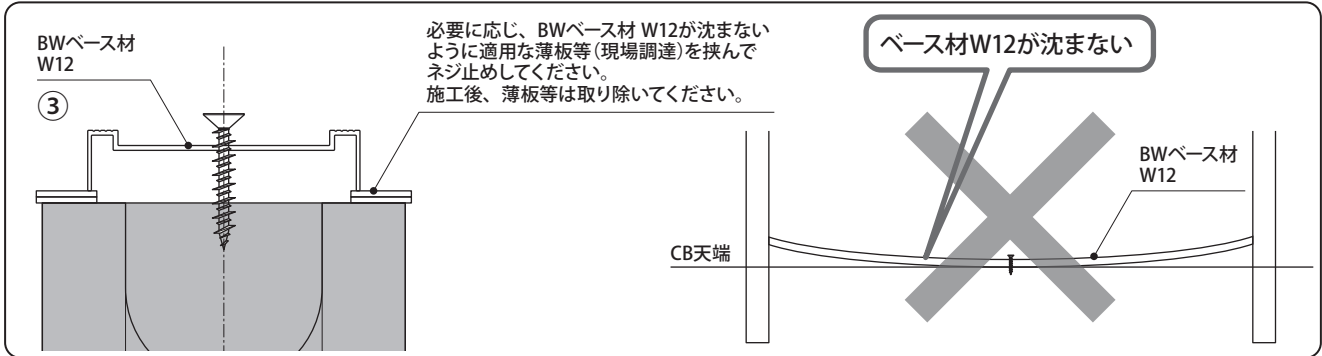
15.開口部の現場加工

1-2. 埋め込みポスト・宅配BOX開口部の取付準備

●BWベース材W12のたわみ防止固定

- ①下図を参照し、BWベース材W12の中心に近いPSパネルW08孔部（斜線部）の位置※で、BWベース材W12と直下のモルタル部に $\phi 3.4$ で下孔加工してください。
- ② $\phi 4 \times 45$ コンクリートビスを用いて、BWベース材W12とモルタル部の両方にネジが効くように固定してください。（4ヶ所）
- ③必要に応じ、BWベース材W12が反らないよう、適当な薄板等（現場調達）を挟み込んで施工してください。
施工後、薄板等は取り除いてください。

※BW補強材とコンクリートビスの位置が干渉する場合、コンクリートビスの位置をずらしてください。



15.開口部の現場加工

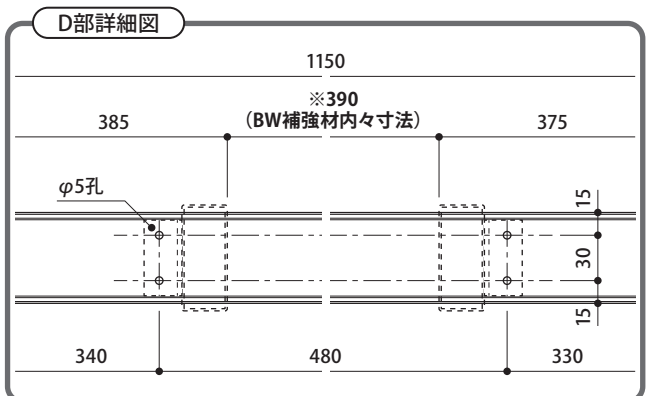
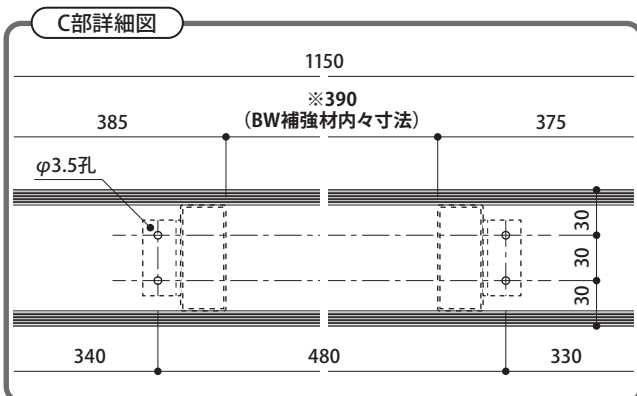
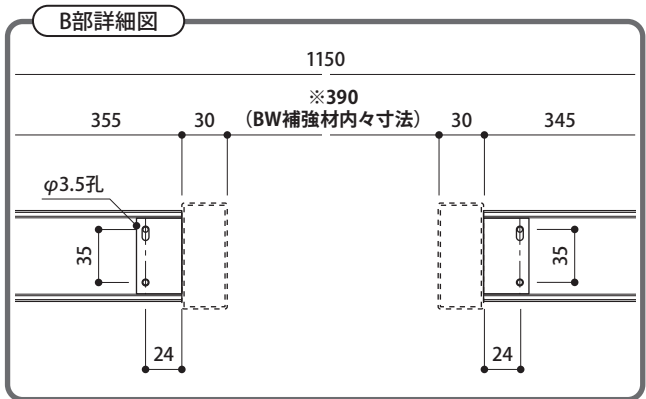
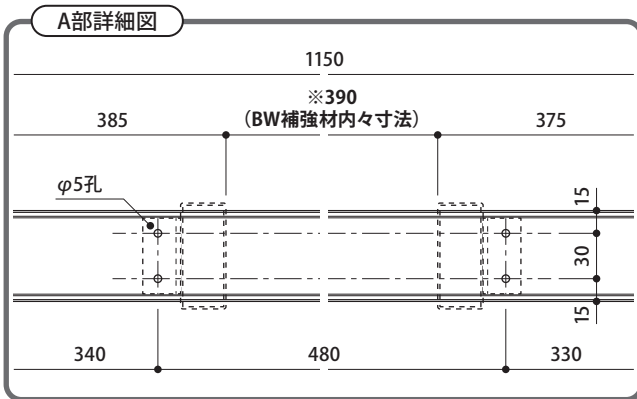
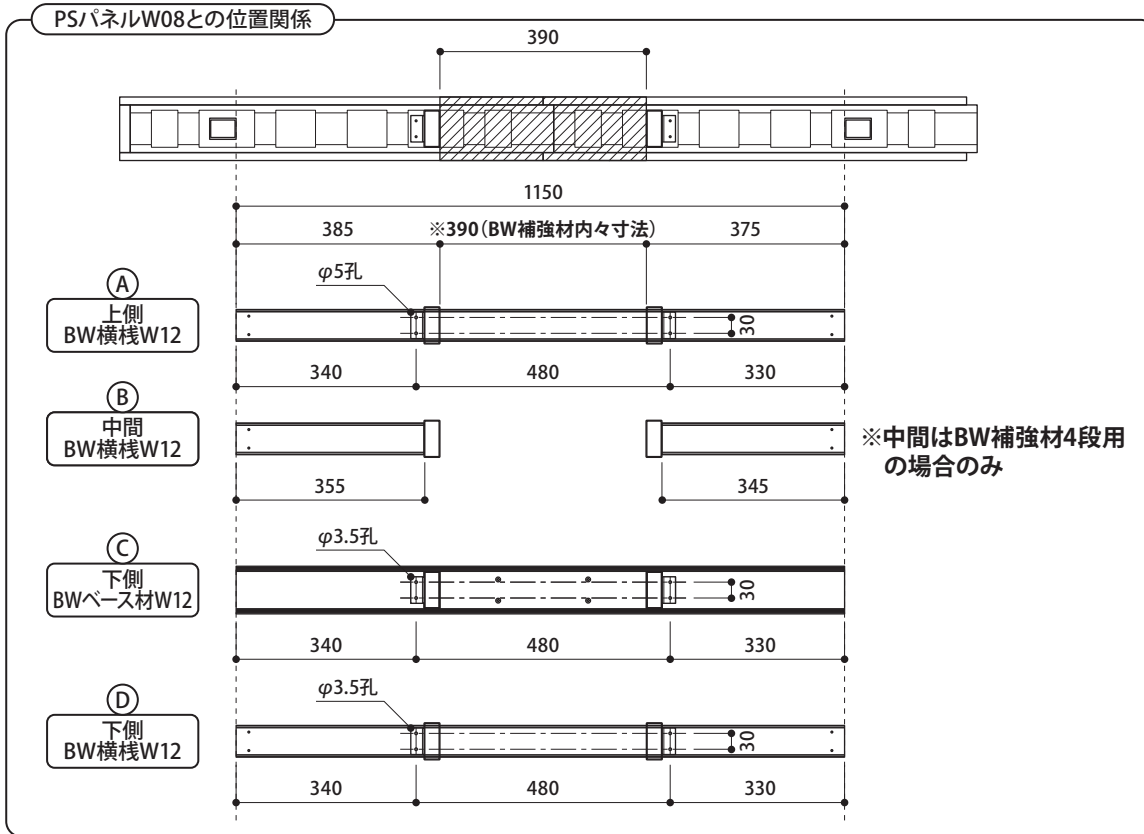
●BWベース材W12・BW横棧W12の加工

①下図を参考に、BW補強材を取り付けるBWベースW12とBW横棧W12に、取付用の加工を現場で行ってください。
 中間BW横棧W12はカット後、B部詳細図を参照しカットした側に孔加工をしてください。

※埋め込みポスト・宅配BOXをBW横棧W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合、下記「D下側BW横棧W12」の孔加工を現場で行ってください。BWベース材W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合、下記「C下側BWベース材W12」の孔加工を行ってください。

※上下のBW横棧W12で加工孔の大きさが違います。ご注意ください。

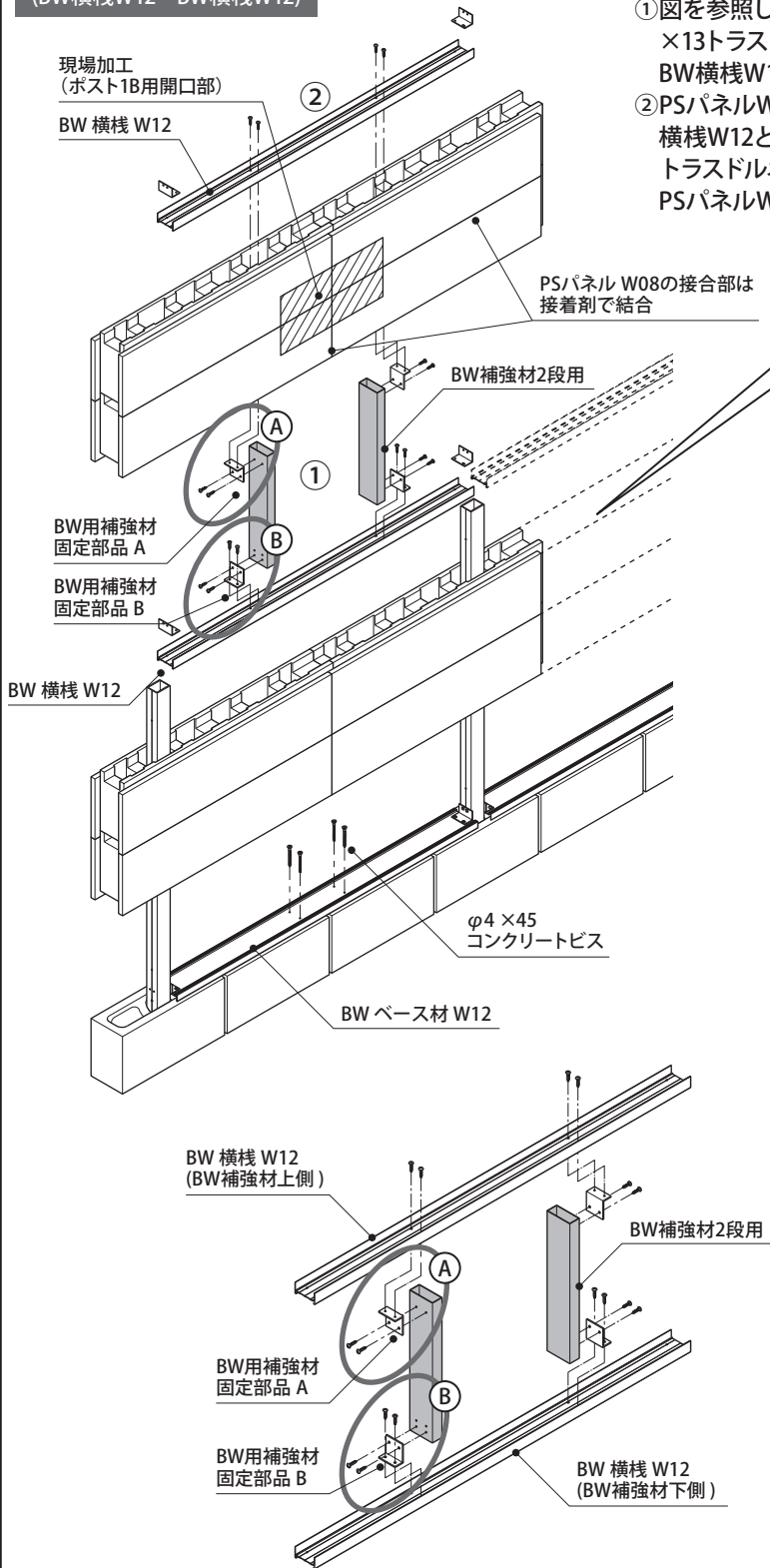
※下記は取付幅が390mmの場合の寸法です。現場状況に合わせて調整してください。



15.開口部の現場加工

1-3.埋め込みポスト・宅配BOXの組付

BW補強材2段用
(BW横棧W12~BW横棧W12)



●埋め込みポスト1Bの場合 (BW補強材2段用)

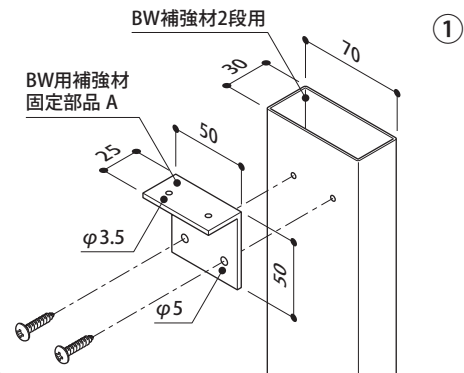
- ①図を参照し、BW補強材2段用にBW用補強材固定部品A・Bをφ4×13トラスドリルネジで組み付け、BW補強材2段用に孔加工したBW横棧W12にφ4×13トラスドリルネジで組み付けてください。
- ②PSパネルW08をBW柱とBW補強材2段用に差し込み、上側のBW横棧W12とBW補強材2段用のBW用補強材固定部品Aをφ4×13トラスドリルネジで組み付けてください。
PSパネルW08の結合部は、接着剤で結合して下さい。

ご注意

上段のPSパネルW08の前に、下の段のBW横棧W12までを先に施工して下さい。隣のBW横棧W12が付けられなくなります。

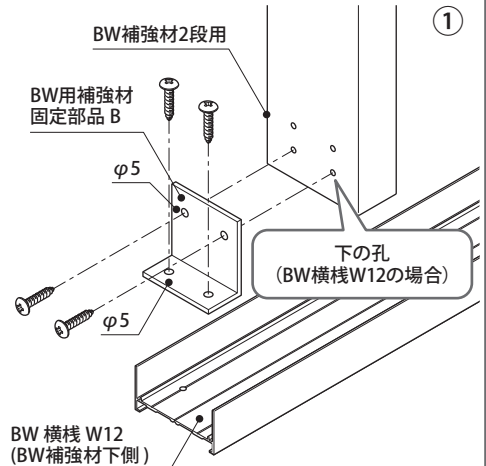
- BW補強材2段用の取り付けには、上下のBW横棧W12に取り付け用の孔加工を現場で行ってください。(P.48)
- 左図は、BW横棧W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合です。BWベース材W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合は、P.50を参照してください。
- PSパネルW08の埋め込み用現場開口部加工は、P.51を参照してください。
- BWベース材W12はP.47を参照し、φ4×45コンクリートビスで中央を固定してください。

A部詳細図・BW補強材2段用上側



B部詳細図・BW補強材2段用下側

●BW横棧W12に取付けの場合



15.開口部の現場加工

BW補強材4段用
(BWベース材W12~BW横棧W12)

現場加工
(宅配BOX用開口部)

BW横棧W12

③

●宅配BOXの場合 (BW補強材4段用)

- ①図を参照し、BW補強材4段用にBW用補強材固定部品A・Bをφ4×13トラスドリルネジで組み付け、BW補強材4段用を孔加工したBWベース材W12にφ4×13トラスドリルネジで組み付けてください。
- ②PSパネルW08を下2段分、BW柱とBW補強材4段用に差し込み、切断加工した中間用のBW横棧W12をBW柱とBW補強材4段用に組み付けてください。
PSパネルW08の結合部は、接着剤で結合して下さい。

ご注意

上段のPSパネルW08の前に、下の段のBW横棧W12までを先に施工して下さい。隣のBW横棧W12が付けられなくなります。

BW横棧W12
(現場切断)

②

PSパネルW08の結合部は接着剤で結合する

BW補強材4段用

①

BW用補強材固定部品A

BW用補強材固定部品B

BWベース材W12
φ4×45
コンクリートビス

BW横棧W12
(BW補強材上側)

BW用補強材固定部品A

BW補強材4段用

BW横棧・ベース材取付アングル

BW横棧W12
(現場切断)

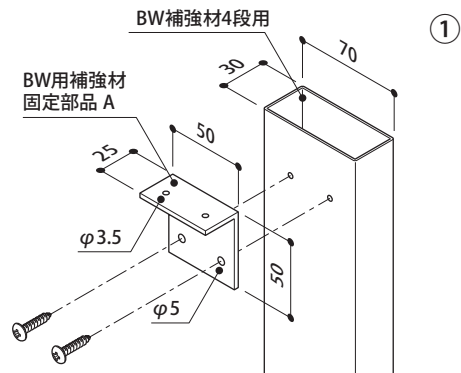
BW用補強材固定部品B

BWベース材W12
(BW補強材下側)

- ③上2段分のPSパネルW08をBW柱とBW補強材4段用に差し込み、上側のBW横棧W12とBW補強材4段用のBW補強材固定部品Aをφ4×13トラスドリルネジで組み付けてください。
PSパネルW08の結合部は、接着剤で結合して下さい。

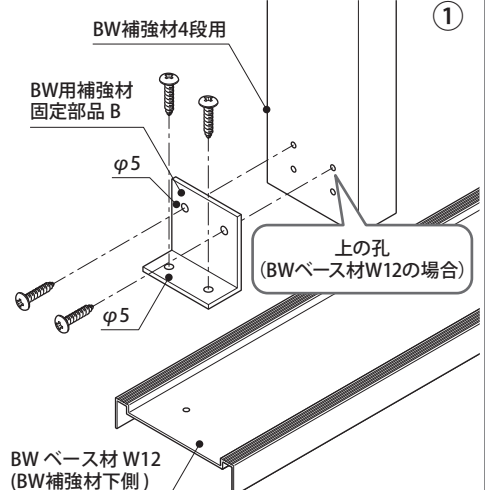
- BW補強材4段用の取り付けにはには、上下のBW横棧W12・BWベース材W12に取り付け用の孔加工を現場で行ってください。(P.48)
- 中段のBW横棧W12はP.48を参照し、取り付け寸法に合わせて現場切断してください。
- 左図は、BWベース材W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合です。BW横棧W12とBW横棧W12の間に取り付ける場合は、P.49を参照してください。
- PSパネルW08の埋め込み用現場開口部加工は、P.51を参照してください。
- BWベース材W12はP.47を参照し、φ4×45コンクリートビスで中央を固定してください。
- BW補強材3段用はP.54を参照してください。

A部詳細図・BW補強材4段用上側



C部詳細図・BW補強材4段用下側

- BWベース材W12に取付けの場合



15.開口部の現場加工

1-4.PSパネルW08の開口部現場加工

①下の図のように埋め込みポスト・宅配BOXの大きさに合わせ、開口部寸法をPSパネルW08の表裏にマーキングしてください。

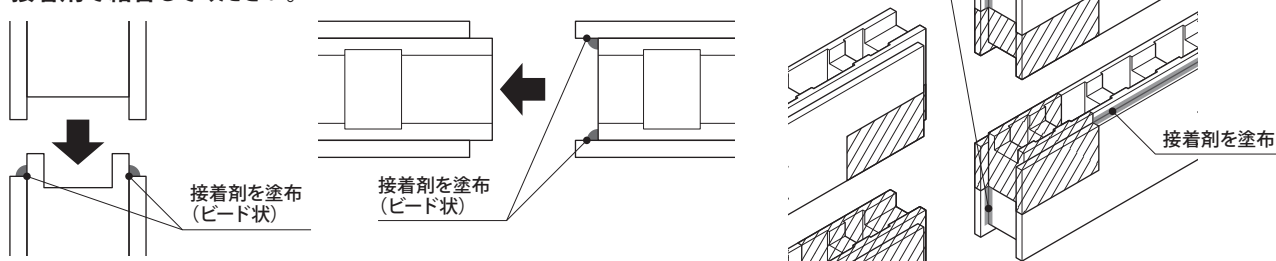
※図に表示した開口部寸法W390mmは一般的な埋め込みポスト・宅配BOXの寸法です。

マーキング前に取付品の寸法を確認してください。埋め込みポスト1Bの場合H寸法は最大195mm、埋め込みポスト2Bの場合H寸法は最大395mm、宅配BOXの場合H寸法は最大700mmまでにしてください。(P.45・46参照)

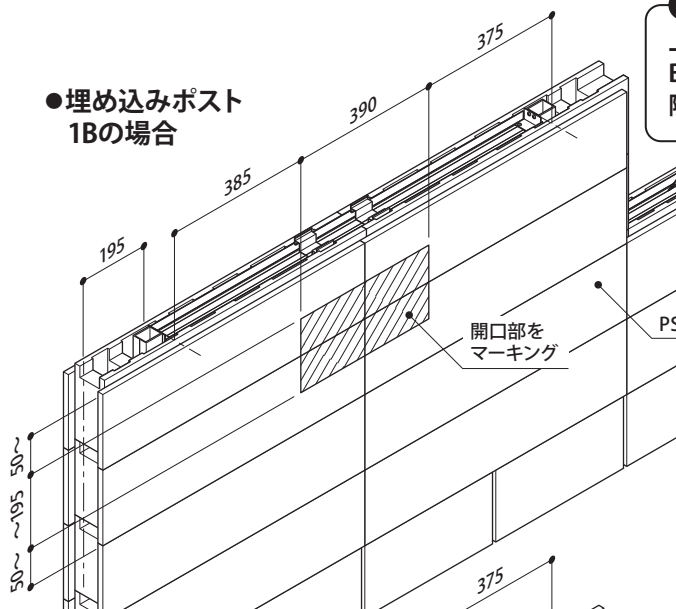
※表裏のマーキング位置を必ず揃えてください。開口部の寸法を間違えたり、PSパネルW08の表裏で位置が違うと、BW補強材と取付品が干渉して取り付けができなくなります。

②開口部のマーキングに合わせて当て板を両面に当て、クランプ等で固定してください。当て板にそってノコギリ等でPSパネルW08をカットしてください。細工用の小さいノコギリを使用すると切欠き加工作業がやりやすくなります。

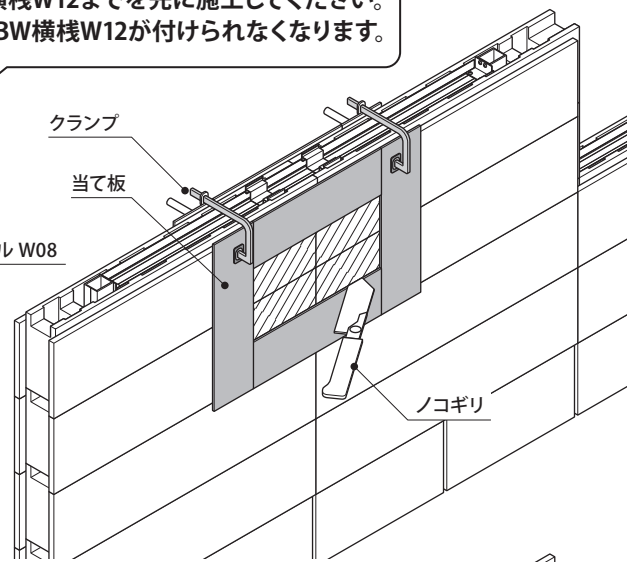
※開口部のPSパネルW08の接合部は、下図を参考に接着剤で結合してください。



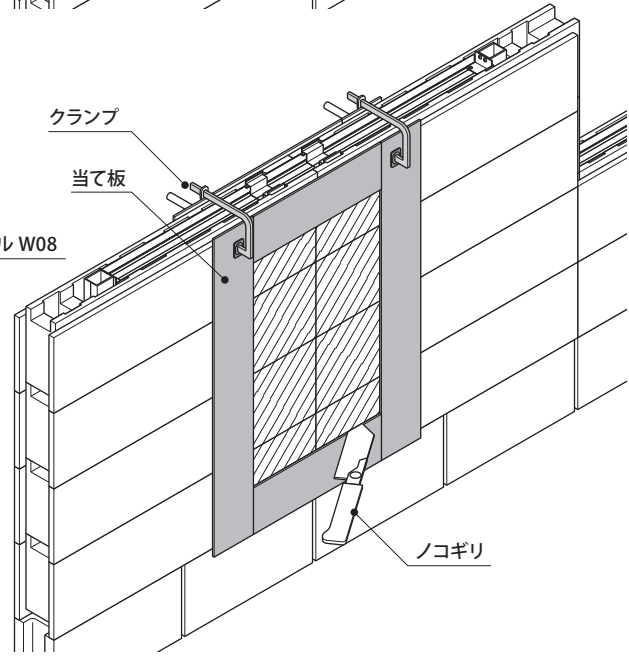
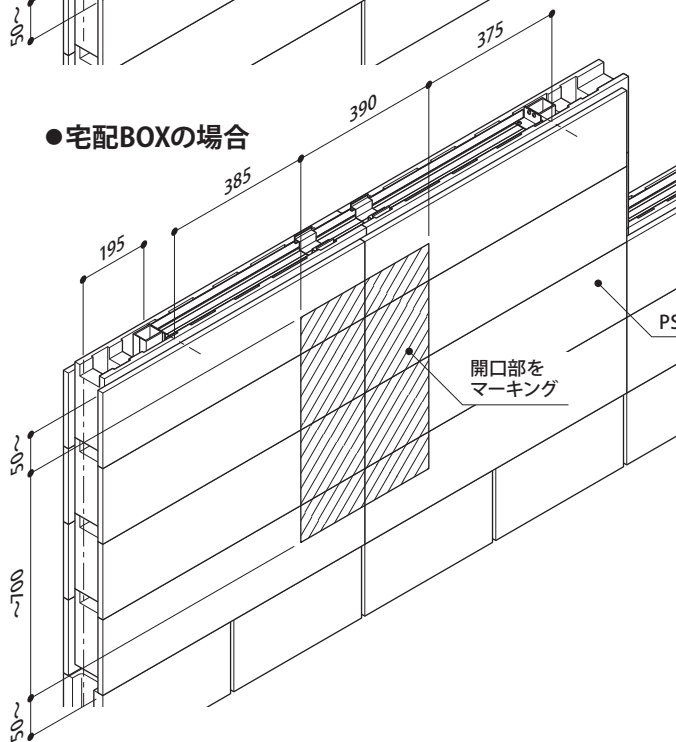
●埋め込みポスト1Bの場合



ご注意
上段のPSパネルW08の前に、下の段のBW横棧W12までを先に施工してください。隣のBW横棧W12が付けられなくなります。



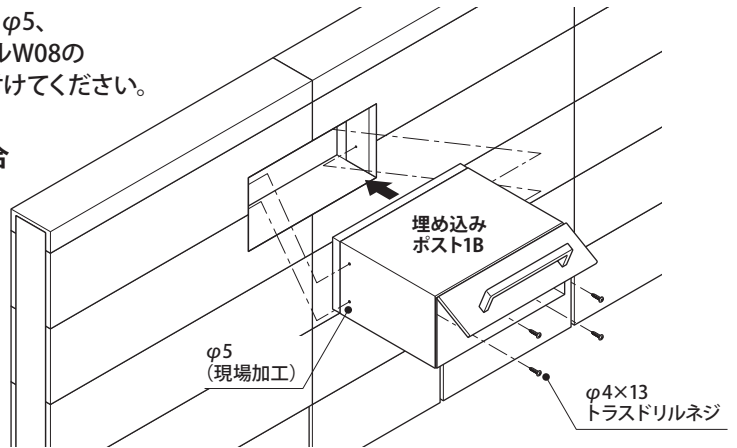
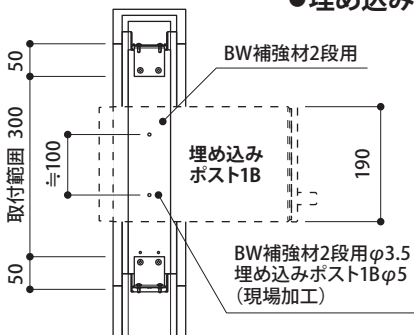
●宅配BOXの場合



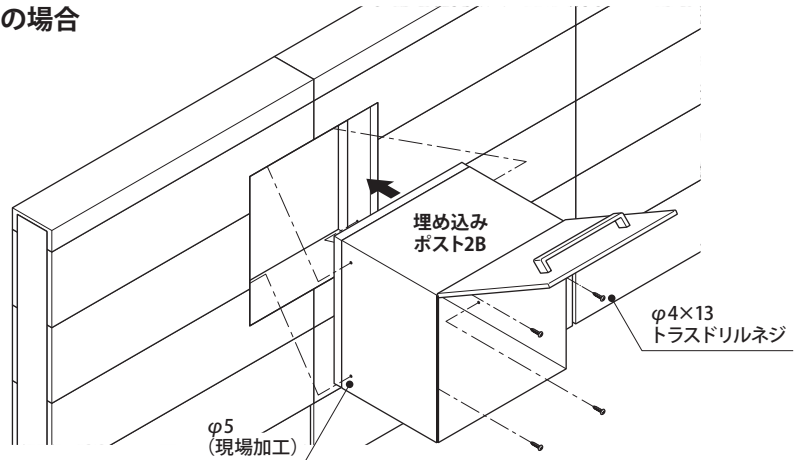
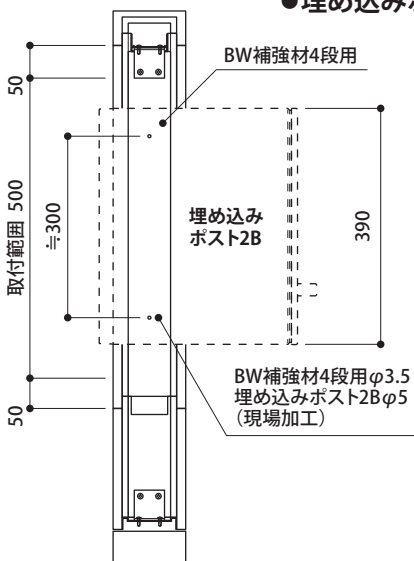
15.開口部の現場加工

③下の図を参考に、埋め込みポスト・宅配BOXの側面に $\phi 5$ 、BW補強材に $\phi 3.5$ の取付用の孔加工を行い、PSパネルW08の開口部に差し込み、 $\phi 4 \times 13$ トラストリルネジで組み付けてください。

●埋め込みポスト1Bの場合

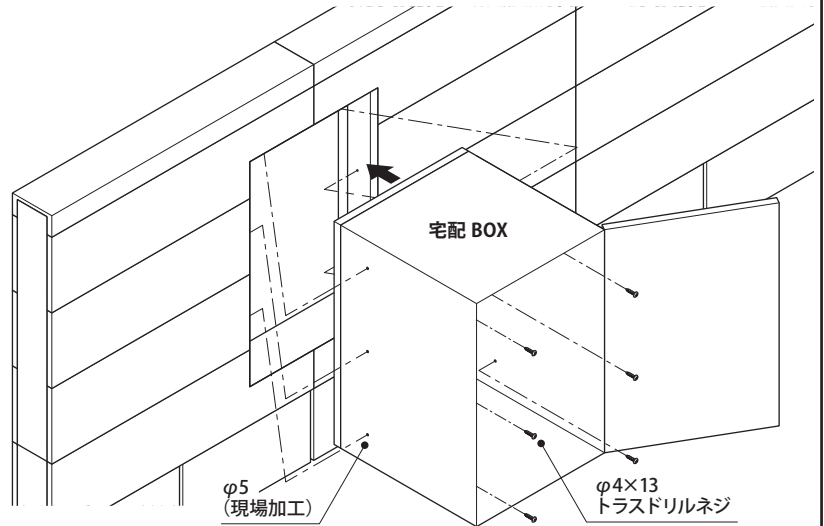
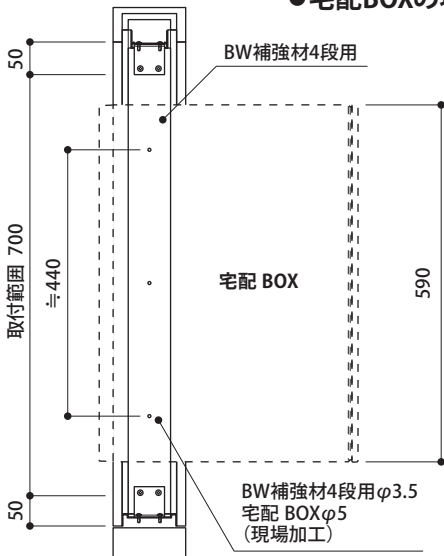


●埋め込みポスト2Bの場合

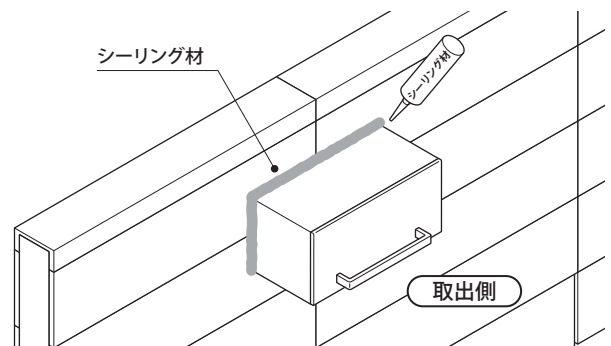


※200mm (PSパネル1段) 下の配置も可能です。(P.46参照)

●宅配BOXの場合



④埋め込みポスト・宅配BOXの組み付け後、塗装下地処理もしくは貼り物を貼り付ける前に、埋め込みポストと開口部の隙間にシーリング (コーキング材ノンブリード) 処理を行ってください。

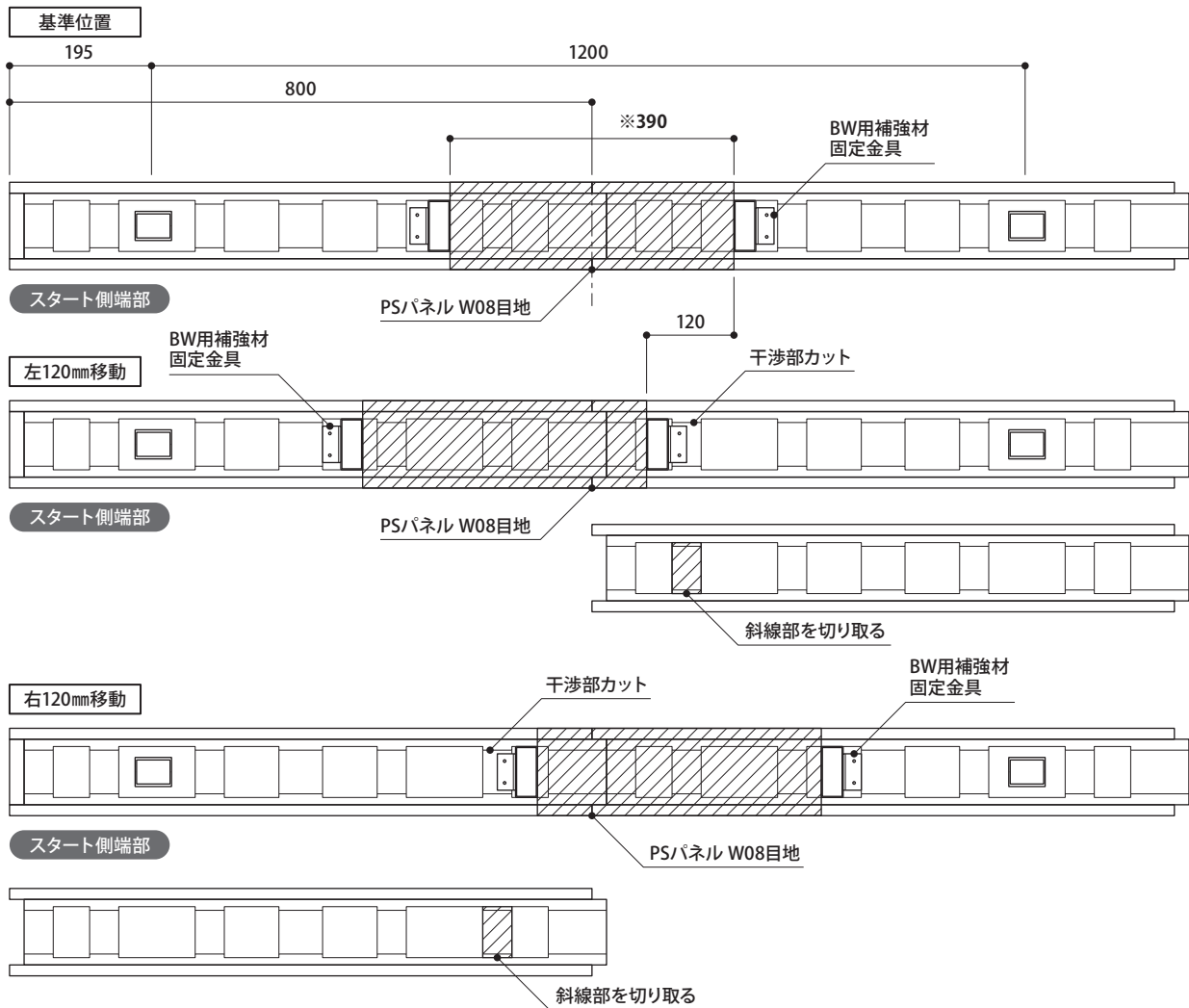


15.開口部の現場加工

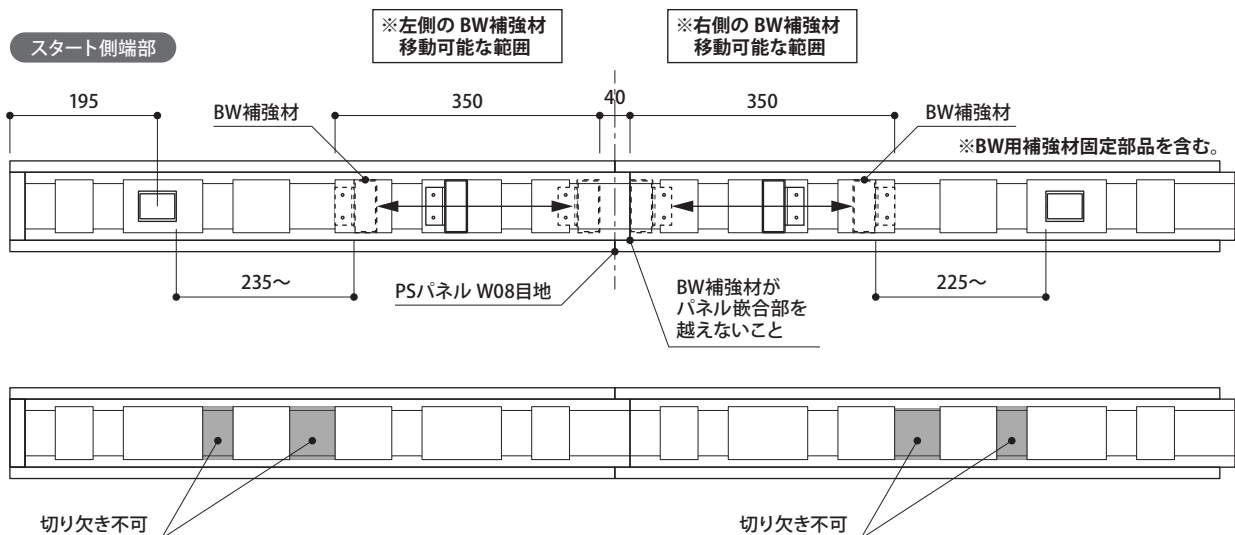
1-5. 埋め込みポスト・宅配BOXの開口部位置の移動

- 開口部の位置を左右120mmまで移動することができます。(取付製品幅390mmの時)
- 開口部を移動した場合は、BW用補強材固定部品の取付位置が変わります。
下の図を参考に取付けてください。

埋め込みポスト・宅配BOX開口部の移動断面図



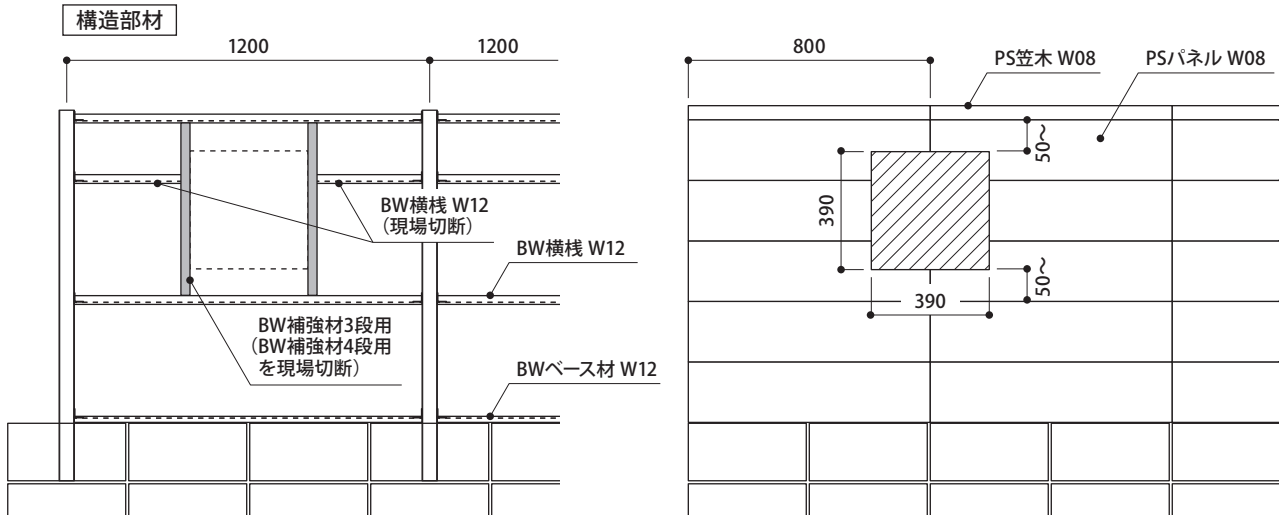
※上記以外の場合は、下記を参考にBW補強材の位置、取付物の大きさをご確認ください。
上記は埋め込みポスト・宅配BOX幅が390mmの時の標準的な納まりルールです。



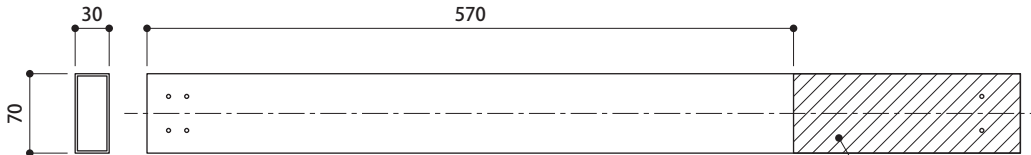
15.開口部の現場加工

1-6. BW補強材3段用の場合

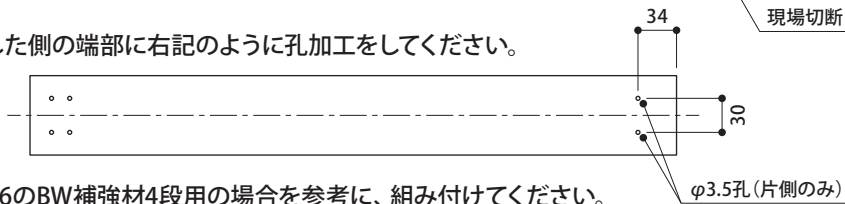
●T10タイプ（5段）の上3段にBW補強材を取り付ける場合、BW補強材4段用に下記加工をして用いてください。



①BW補強材4段用の30×70アルミ形材を下記のように切断加工してください。



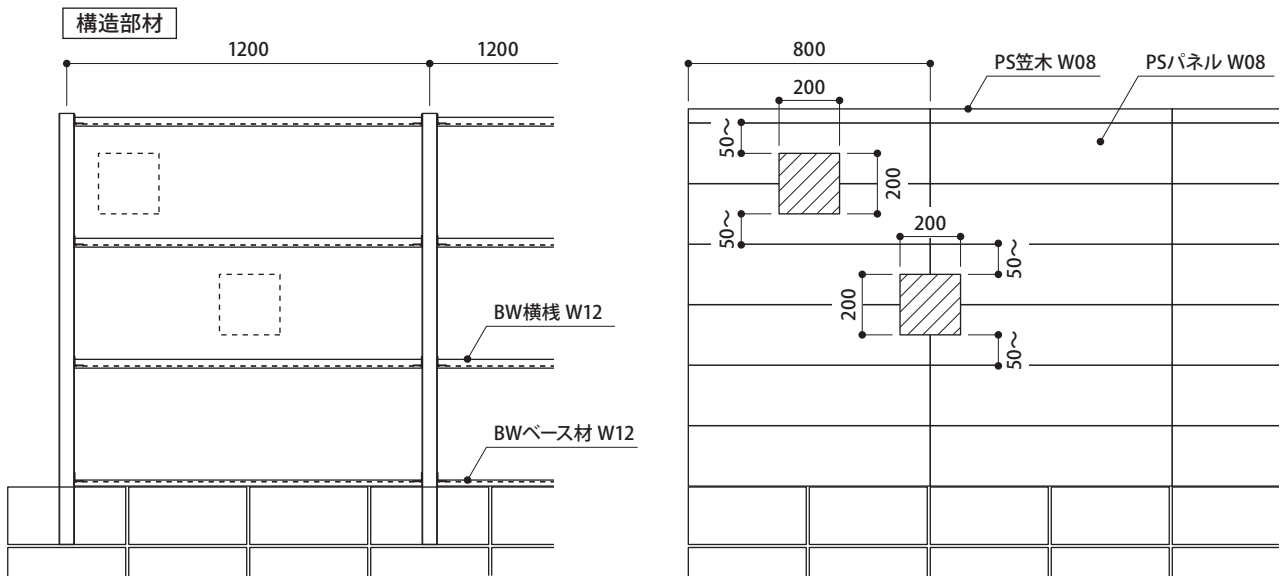
②切断した側の端部に下記のように孔加工をしてください。



③P.2・P.6のBW補強材4段用の場合を参考に、組み付けてください。

2. 開き窓開口部

●下記のようにBW横棧W12がない位置で、開き窓（開口部）を設けることができます。



は空き窓開口部を示しています。

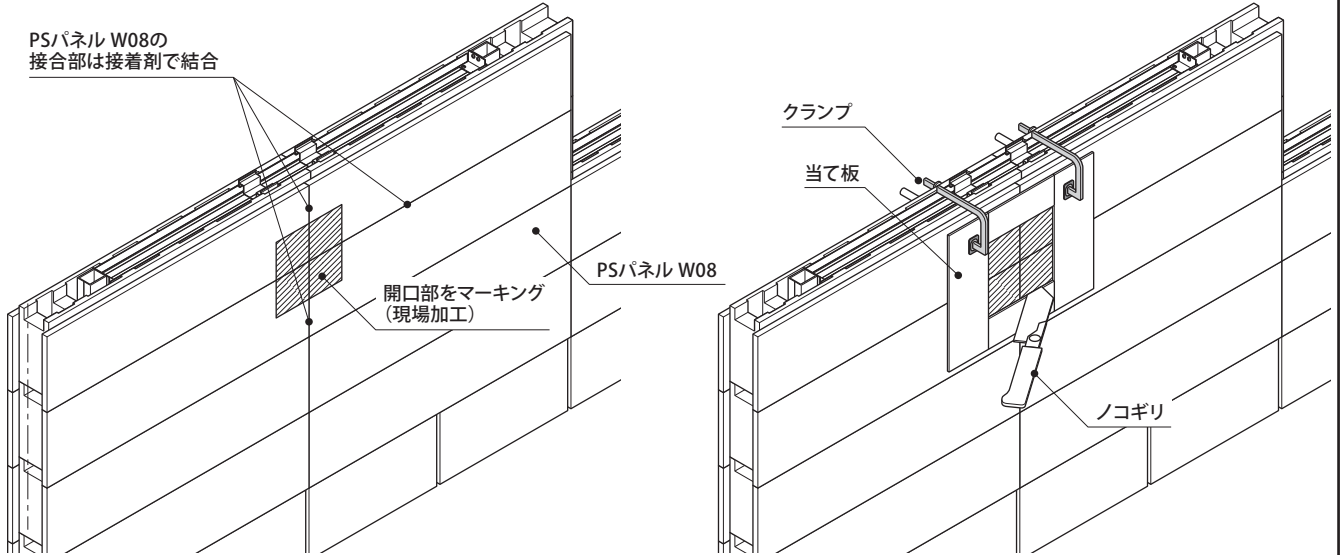
※開口部を設けるPSパネルW08同士は、接着してください。
 ※開口部は1パネルに1か所までとしてください。

※開口部のサイズは200×200までにしてください。
 ※開口部位置はPSパネルW08の端部から50mm以上離してください。

15.開口部の現場加工

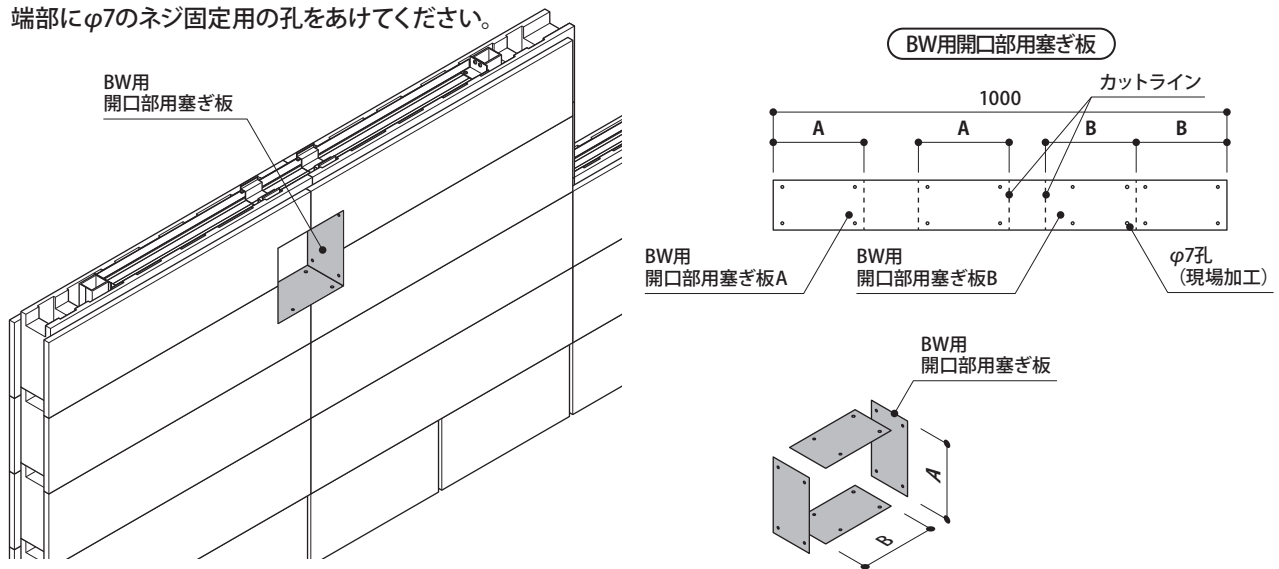
2-1.PSパネルW08の開口部現場加工

- ①下の図のように開き窓開口部寸法をPSパネルW08の表裏にマーキングしてください。
※表裏のマーキング位置を必ず揃えてください。
- ②開口部のマーキングに合わせて当て板を両面に当て、クランプ等で固定してください。
当て板にそってノコギリ等で、PSパネルW08をカットしてください。
細工用の小さいノコギリを使用すると切欠き加工作業がやりやすくなります。

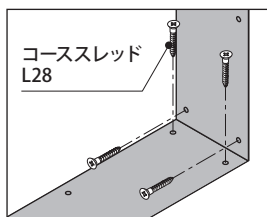


- ③開口部の内部をBW用開口部用塞ぎ板で塞いでください。
BW用開口部用塞ぎ板は、1mのものを開口部の寸法に合わせ
カットしてください。
端部にφ7のネジ固定用の孔をあけてください。

部材名	梱包名称
BW用開口部用塞ぎ板 L=1000	BW用塞ぎ板セット
コーススレッドビスL28	(開口部現場加工共通部材)

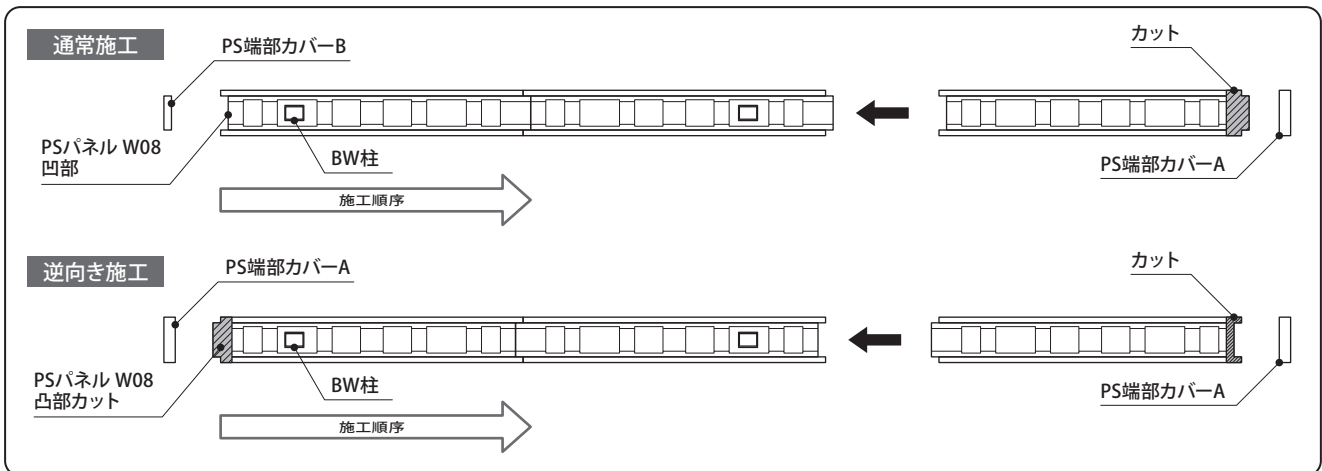


- ④開口部にカットしたBW用開口部用塞ぎ板を接着剤で貼り付け、
コーススレッドL28で固定してください。

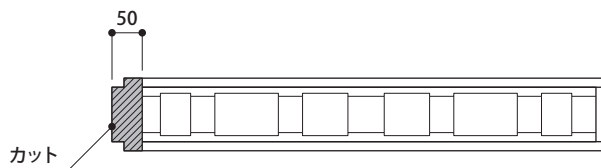


16.PSパネルW08の逆向き施工

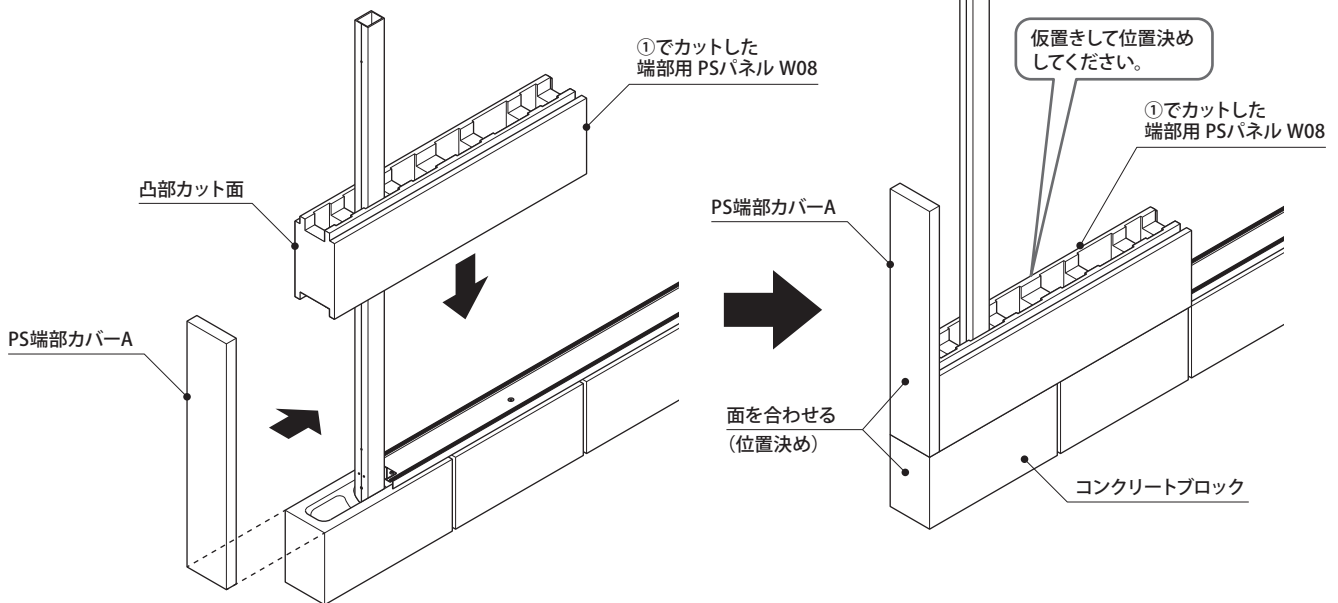
- このページでは、逆向きでPSパネルW08を施工する場合の方法を説明します。
逆向き施行の場合、PS端部カバーセットは2セット必要です。



- ① 端部用のPSパネルW08の凸部を50mmカットしてください。



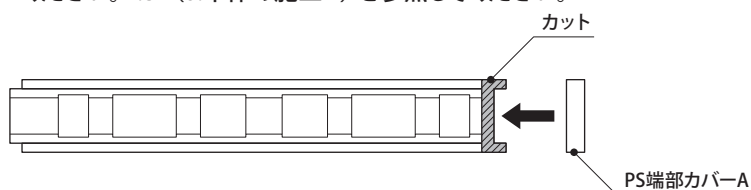
- ② 下図のように、PS端部カバーAとコンクリートブロック端部の面が合う位置で、端部用のPSパネルW08の位置決めをしてください。



- ③ 2段目以降の端部のPSパネルW08、PS笠木W08も同様にカットしてください。
- ④ 以降、P.26 (5.本体の施工-2~) を参照し、②で決めた位置で最初のPSパネルW08を接着し、通常施工と同じ要領で組み立ててください。
PS端部カバーAは、P.36 (8.PS笠木W08・PS端部カバーの取付-2) を参照して取り付けてください。
- ⑤ エンド側 (反対側) の端部は、下図のようにPSパネルW08凹部をカットし、PS端部カバーAを用いて納めてください。P.31 (6.本体の施工-2) を参照してください。

参照

位置決め後の施工は、P.26以降を参照してください。

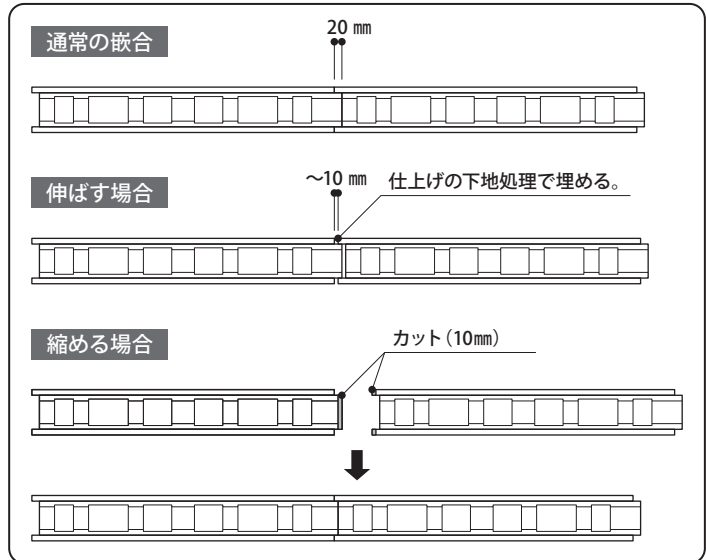


17.PSパネルW08の嵌合（横方向）の微調整

●長く連続する施工現場では、コンクリートブロックやBW柱の施工誤差、PSパネルW08の製造上の誤差などが累積することがあります。

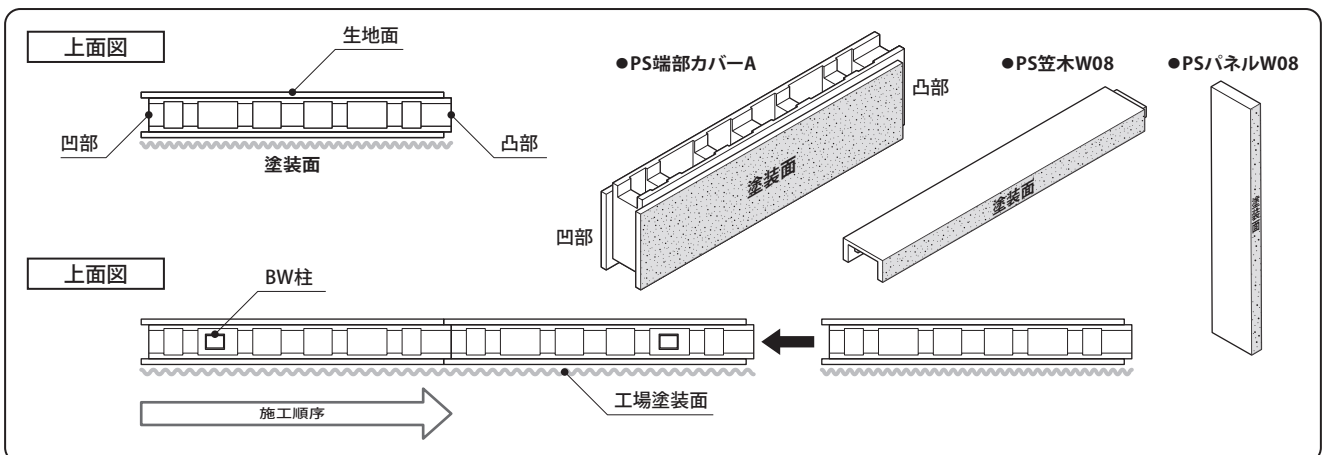
①右記を参照し、必要に応じPSパネルW08の嵌合部で微調整をしてください。この方法による微調整は1ヶ所10mm程度までとしてください。

※微調整すき間は仕上げ時の下地処理で、コーキング材（現場塗装タイプ）または貼り物用接着剤（現場貼付タイプ）で埋めてください。P.58・61参照。



18.片面工場塗装の注意点

●工場塗装面に向きがあります。ご注意の上、施工をご計画ください。

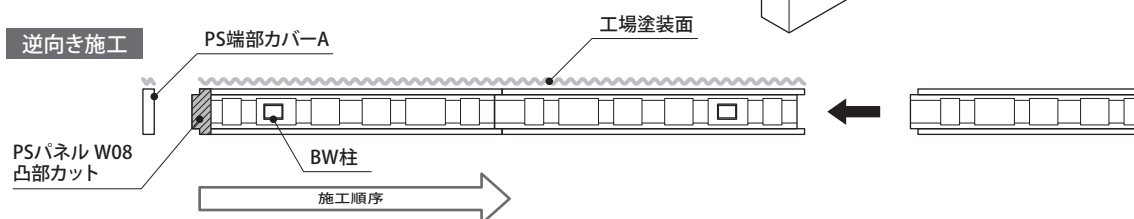
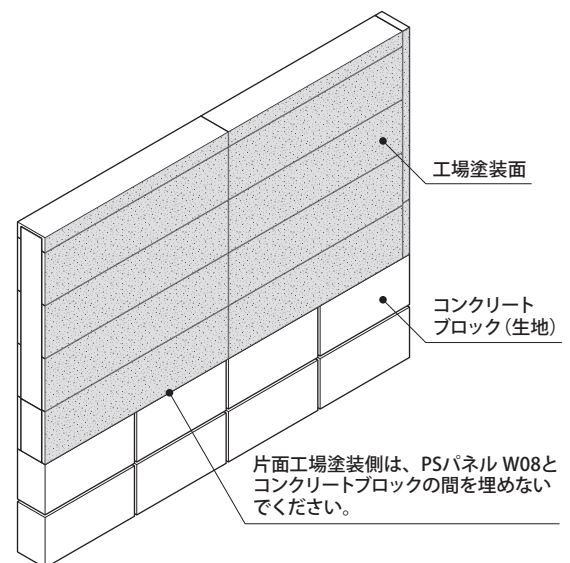


※工場塗装面側のコンクリートブロックは素材のままの意匠となります。（右図）

※本仕様は、片側に障害物があり仕上施工が難しく、簡易な意匠で良い場合を想定しています。

※コーナーの片面工場塗装が必要な場合は「スマート・Fウォール」をご検討ください。「ブロックオンウォール」の片面工場塗装タイプは、コーナー対応は不可となります。

※下図のようにPSパネルW08を逆向きで施工する場合、「BW用PS端部カバー片面塗装セット」が2セット必要です。PSパネルW08の逆向き施工は、P.56を参照してください。

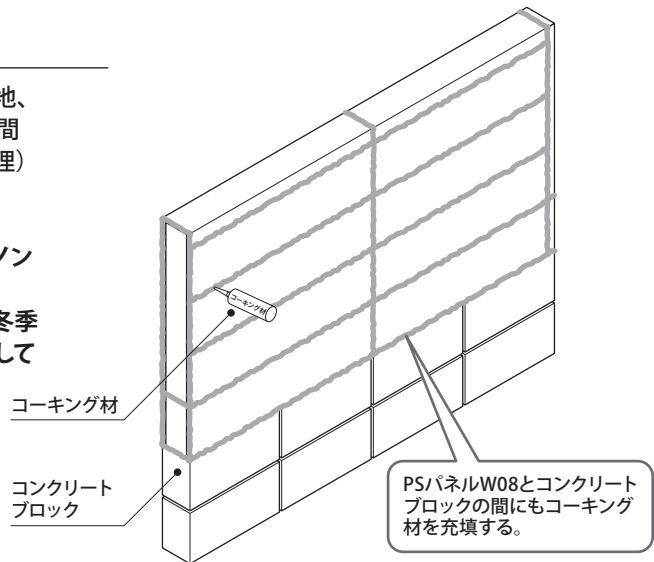


19.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

1. コーキング材の充填 (目地)

- ① 塗装仕上部分のコンクリートブロックとPSパネルW08の目地、PSパネルW08とPS笠木W08・PS端部カバーの接合部の隙間 (縦横目地) に、コーキング材を充填してください。(止水処理) 充填後、表面はヘラでならして平滑にしてください。
- ※打痕等による凹みも一緒に埋めてください。
 - ※コーキング材は必ず、当社規格品または変性シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
 - ※当社規格コーキング材は施工後、春・夏季・秋季は1日後、冬季は4日後から、いずれも7日以内を目安として次工程を施工してください。

部材名	梱包名称
コーキング材セット	コーキング材 (ノンブリードタイプ)

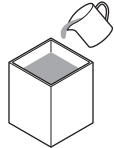


2. 汎用プライマーの塗布 (PS部分のみ)

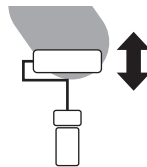
- 塗装仕上をするPS部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- ※コンクリートブロック部分と現場貼り部分には汎用プライマーを塗らないでください。
- ※汎用プライマー無で仕上塗装したり、当社以外のプライマーを使用すると剥離の原因になります。
- ※汎用プライマーは成分の骨材が沈殿しますので、よく攪拌してください。
- 十分に乾燥してから次の工程に移ってください。

部材名	梱包名称
汎用プライマー (100ml) 刷毛	汎用プライマー (100ml) ・刷毛セット
汎用プライマー (1.5kg)	汎用プライマーセット (1.5kg)
汎用プライマー (15kg)	汎用プライマーセット (15kg)
汎用プライマー用 ローラー刷毛 (6インチ)	汎用プライマー用ローラー刷毛 (1本入り)

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。
清水もしくは水道水で0~3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。
1.5kgの場合は清水0~45cc
15kgの場合は清水0~0.4ℓ



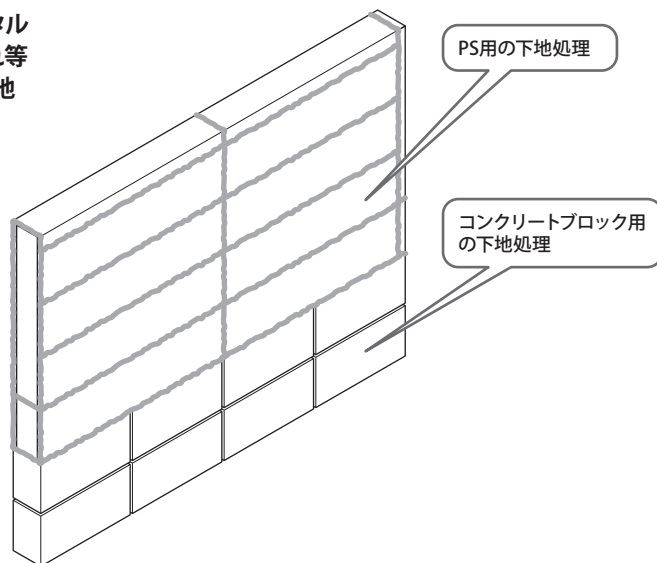
汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2~0.3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー1.5kgで約2~3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20~30㎡塗布できます。塗装する面積に応じて汎用プライマーセット (100ml・1.5kg・15kg) から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

ご注意

- コンクリートブロック部は、軽量セメントモルタル施工する前に、脆弱部・レイトンス・油分・汚れ等を除去の上、吸水調整材の塗布等の適切な下地処理を行ってください。
- コンクリートブロック部の目地は平滑に埋めてください。



19.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

3.下地調整材・グラスファイバーネットの施工

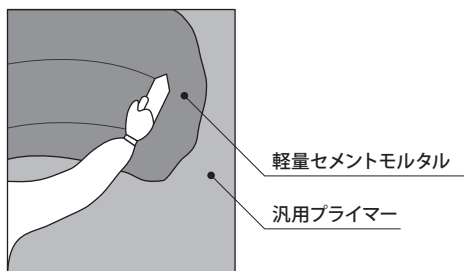
- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから塗装仕上げをする全面に下地調整材・グラスファイバーネットを施工してください。
- 下地調整材は、軽量セメントモルタル（JIS A 6918）を用いてください。
- グラスファイバーメッシュは200mm以上コンクリートブロックにかぶせてください。PSパネルW08とコンクリートブロック部で下地・仕上げが連続しない場合は、完全に縁を切ってください。

部材名	梱包名称
グラスファイバーネット (1000mm×50m)	グラスファイバーネット
グラスファイバーネット (1000mm×10m)	

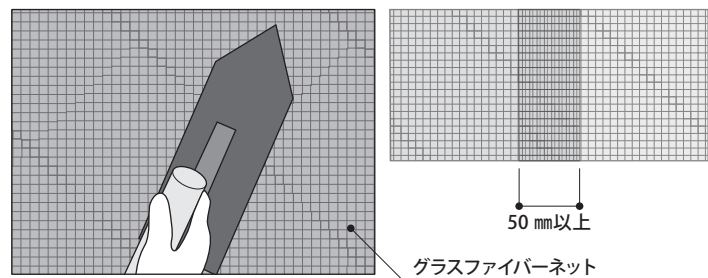
■基本の施工

- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから、軽量セメントモルタルを施工してください。
- 塗厚5～10mm程度で仕上げてください。
- モルタル接着増強剤を混入工法で使用し、各メーカー指定の量にて混入してください。
- 軽量セメントモルタルは、施工後メーカーの指定する期間養生してください。

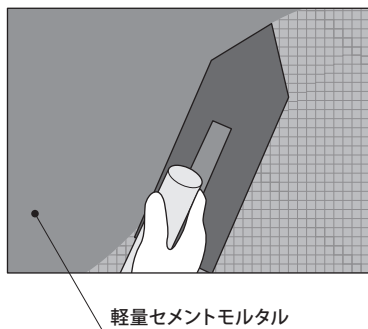
① 予定塗厚より少し薄い程度の軽量セメントモルタルを下塗りしてください。



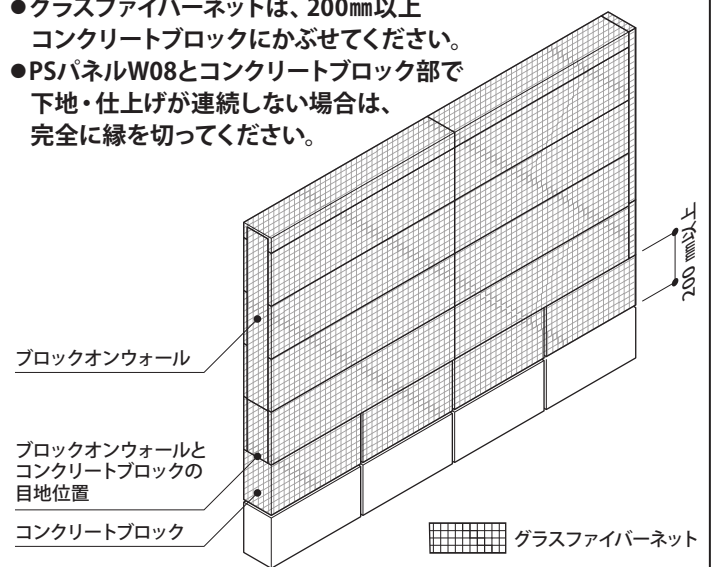
② 直後に、グラスファイバーネットを壁面に軽く圧着してください。ネットの重ね代は50mm以上とってください。



③ 最後に軽量セメントモルタルを上から薄く塗りこみ、合計塗厚5mm～10mmで仕上げてください。グラスファイバーネットがモルタル表層側に伏せてこまれるようにしてください。

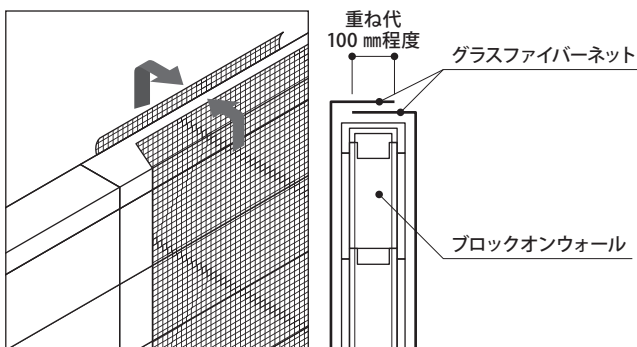


- グラスファイバーネットは、200mm以上コンクリートブロックにかぶせてください。
- PSパネルW08とコンクリートブロック部で下地・仕上げが連続しない場合は、完全に縁を切ってください。

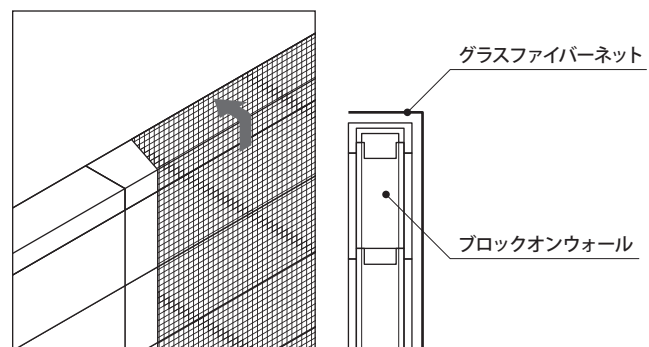


■天端の施工

- 天端は下図のようにグラスファイバーネットを回し張りしてください。
- 両面現場塗装の場合、天端の重ね代は100mm程度とってください。
- 片面工場塗装の場合、グラスファイバーネットは塗装面の端まで張ってください。



両面現場塗装の場合

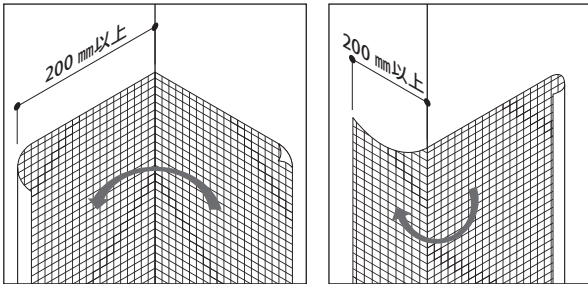


片面工場塗装の場合

19.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

■角部の施工

- 入隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。グラスファイバーネットは200mm以上回して伏せこんでください。
 - 出隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。グラスファイバーネットは200mm以上回して伏せこんでください。突き付け貼りはしないでください。
- ※塀の端部で幅120mm分しかとれない場合は、100mm程度回して伏せこんでください。(P.59の天端の施工の場合と同様)



入隅部(回し張り)

出隅部(回し張り)

- ※下地調整材は、ママコ等残らぬよう、しっかりと練り上げてください。練り上げが足りない場合、本来の性能を発揮できないことがあります。
- ※下地調整材は膜厚(軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げてください。

4.仕上げ塗材の施工

- 仕上げ塗材を施工してください。
仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。
[水性塗材]四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG/
アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)
- 仕上げ塗材の前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避ける等、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。
- 上記「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。

ご注意

仕上げ塗材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

ご注意

ヒートガン・バーナー等による下地の強制乾燥は避けてください。

■膜厚を確保できる仕上げパターン

パレットHG・パレットクリームHG

- ・ランダム仕上げ
- ・ウェーブ仕上げ(パラミックス配合)
- ・ウェーブL仕上げ(粗目)
- ・扇L仕上げ
- ・ラフ仕上げ(パラミックス配合)
- ・かき落としM仕上げ
- ・かき落としL仕上げ
- ・木鏝押さえ仕上げ
- ・木鏝仕上げ
- ・スパニッシュL仕上げ
- ・吹上スタッコ仕上げ
- ・吹上スタッコヘッドカット仕上げ
- ・吹上スタッコくし引き仕上げ

ジョリパットアルファ

- ・エンシェントブリック
- ・校倉
- ・ワイルドランダム
- ・ブロックダムR
- ・アールテスタ
- ・モアプレーン
- ・小粒ロック
- ・ミーティア
- ・ゲラーデ
- ・ロック
- ・玉石エンシェントブリック
- ・スタッコ
- ・アンティークストーン

- ※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。
- ※指定仕上げパターンでの塗装においても、陽の当たり方等によって下地の影響が浮き出ることがあります。
- ※施工は必ず各塗材メーカーの指示・注意事項に従って行ってください。
- ※塗材や各パターンの施工方法・専用道具など詳細については各塗材メーカーにお問い合わせください。

20.現場貼り仕上げ手順〈現場貼付タイプ〉

1.接着剤による目地埋め、目地テープ貼り

- ①コンクリートブロックとPSパネルW08の目地（隙間）を貼り物用接着剤で埋めてください。
- ②コンクリートブロックとPSパネルW08の目地部に目地テープ（巾100）を貼り、接着剤で伏せこんでください。（止水処理）
- ③PSパネルW08とPS笠木W08・PS端部カバーの接合部の隙間（縦横目地）を接着剤で埋めてください。

※15cmブロックの施工で段差がある場合など、コンクリートブロック部とPS部で仕上げの縁を切る場合、目地テープは不要です。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット
目地テープ（巾100）	目地テープセット

目地を貼り物用接着剤で埋める

目地テープ（巾100）

コンクリートブロック

隙間を埋めた後、目地テープ（巾100）を貼り、貼り物用接着剤で伏せこむ。

■コーナー部の処理

- コーナー部のパネルを突き当てている目地に、目地テープ（巾100）を貼り付け、貼り物用接着剤で伏せこんで下さい。

90° コーナーの場合

目地テープ（巾100）

突き当て面

フリーコーナー（鈍角）の場合

目地テープ（巾100）

突き当て面

2.タイル・外壁用シート材等の貼付け方法

- ①当社指定の貼り物用接着剤を塗布してください。
下地によくなじませるように塗りつけた後、くし目ごてを用いてしっかりくし目を立ててください。貼り物を所定の時間内に張り付けてください。
貼付け物の重量に制限があります。最大貼付け重量は35kg/m²です。

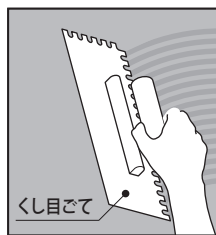
ご注意

- 接着は乾式接着剤貼り工法です。接着剤・貼り物の施工要領書を確認し、使用上の指示に従って施工してください。
- タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布・団子貼りは避けてください。
- 接着剤は必ず生地の状態に貼り付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼り付けしないでください。

ご注意

〈コンクリートブロック部のご注意〉

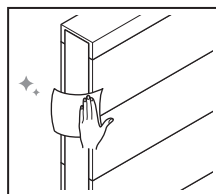
- 施工面は平滑で汚れや油分・ごみの付着物が無いようにしてください。
- 付着しているゴミ・土砂・油分・レイタンス・モルタルや骨材等の突起物は、スクレーパー・金属ブラシ・グラインダー等で除去し、ブラシや洗浄機で清掃してください。
- コンクリートブロックがしっかり乾燥してから、施工を行ってください。
- コンクリートブロック部の目地は平滑に埋めてください。



くし目ごて

●接着剤の塗布

くし目ごてでくし目を立ててください。貼付け物によりくし目の大きさを調整してください。（くし目3・5・7mm）

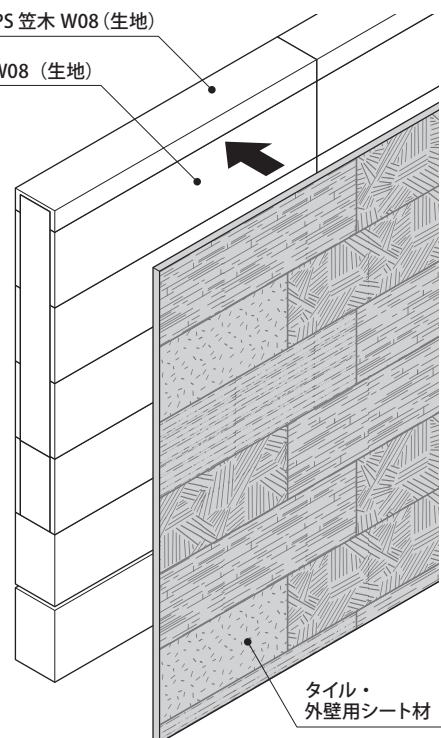


- 接着剤は、表面に付着しているゴミ・土砂・油分等を除去してから塗布してください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット

■接着剤の指定品	
商品名	会社名
タイルエースPRO	セメダイン
EY-21	ニッタイ

PS 笠木 W08（生地）
PS パネル W08（生地）



タイル・外壁用シート材